

南海トラフ巨大地震の被害想定について (建物被害・人的被害)

(被害想定結果の位置付け)

今回の被害想定は、南海トラフ巨大地震の被害想定（平成 24 年 8 月公表）について、最新のデータ（建築物や人口、ライフライン等のデータ、津波避難意識アンケート結果等）に基づき、再計算したものである。

令和元年 6 月

内閣府政策統括官（防災担当）

(各被害想定結果の数値に関する留意点)

今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はその計算根拠を明確にするために示したものであるため、ある程度幅をもって見る必要がある。各都府県において地域の実情に応じて実施されている被害想定に影響を与えるものではない。

また、津波浸水の計算に用いる堤防・防潮堤のデータ及び潮位の設定方法を精査している。

なお、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。「－」の表記は、「わずか」を意味する。

目次

I	被害想定概要	1
1.	被害想定意義について	1
2.	被害想定への今後の対応について	1
3.	今回の被害想定について	2
(1)	想定する地震動・津波	2
(2)	被害想定項目及び内容	2
4.	被害想定結果	3
(1)	被害想定概要	3
(2)	防災対策による被害軽減	3
5.	本被害想定性格について	4
(1)	被害想定手法について	4
(2)	地方公共団体の被害想定について	5
II	総括表	14
1.	建物等被害	14
(1)	東海地方が大きく被災するケース	14
(2)	近畿地方が大きく被災するケース	15
(3)	四国地方が大きく被災するケース	16
(4)	九州地方が大きく被災するケース	17
2.	人的被害	19
(1)	東海地方が大きく被災するケース	19
(2)	近畿地方が大きく被災するケース	21
(3)	四国地方が大きく被災するケース	23
(4)	九州地方が大きく被災するケース	25
III	防災対策の効果	29
1.	強震動に対する防災対策	29
(1)	建物の耐震性の強化	29
(2)	家具等の転倒・落下防止対策の強化	30
2.	津波に対する防災対策	31
3.	火災に対する防災対策	34
	【参考】各都府県で全壊棟数が最大となるケースの要因別内訳	35
	【参考】都道府県別の全壊棟数	36

(1) 東海地方が大きく被災するケース	36
(2) 近畿地方が大きく被災するケース	48
(3) 四国地方が大きく被災するケース	60
(4) 九州地方が大きく被災するケース	72
【参考】 各都府県で死者数が最大となるケースの死者内訳	92
【参考】 各都府県で負傷者数が最大となるケースの負傷者内訳	93
【参考】 各都府県で要救助者数が最大となるケースの要救助者内訳 ..	94
【参考】 都府県別の死者数	95
(1) 東海地方が大きく被災するケース	95
(2) 近畿地方が大きく被災するケース	107
(3) 四国地方が大きく被災するケース	119
(4) 九州地方が大きく被災するケース	131
【参考】 都府県別の負傷者数	143
(1) 東海地方が大きく被災するケース	143
(2) 近畿地方が大きく被災するケース	155
(3) 四国地方が大きく被災するケース	167
(4) 九州地方が大きく被災するケース	179
【参考】 都府県別の揺れによる建物被害に伴う要救助者数（自力脱出困難者数）	191
【参考】 都道府県別の津波被害に伴う要救助者数	192
【参考】 全員が発災後避難を開始した場合の都府県別の津波による死者数 ...	194

I 被害想定概要

1. 被害想定意義について

- (1) 従来より、中央防災会議において、地震・津波対策を講ずるにあたっては、まず、対象地震に対する地震動と津波を推計し、それらに基づき被害想定を行った上で、地震対策大綱、地震防災戦略、応急対策活動要領等を作成するなど、国として実施すべき各種の防災対策を立案し、施策を推進してきたところである。
- (2) 被害想定は、具体的な被害を算定し被害の全体像を明らかにすること、被害規模を明らかにすることにより防災対策の必要性を国民に周知すること、広域的な防災対策の立案、応援規模の想定に活用するための基礎資料となるものである。
- (3) あわせて、防災対策を講ずることによる具体的な被害軽減効果を示すことで、防災対策を推進するための国民の理解を深めるものである。

2. 被害想定への今後の対応について

- (1) 今回の被害想定に用いる地震動・津波高等については、平成 23 年 8 月に内閣府に設置された「南海トラフの巨大地震モデル検討会」（座長：阿部勝征東京大学名誉教授。以下、「モデル検討会」という。）において、科学的知見に基づき、南海トラフの巨大地震対策を検討する際に想定した最大クラスの地震・津波である。ただし、現状における堤防・防潮堤等の整備状況を踏まえたものとして津波浸水計算を行っている。
- (2) この地震・津波は、次に必ず発生するというものではなく、現在の知見では発生確率を想定することは困難であるが、その発生頻度は極めて低いものである。
- (3) 東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告において、このような最大クラスの津波に対しては、住民等の避難を軸に、土地利用、避難施設、防災施設などを組み合わせて、総合的な津波対策により対応する必要があるとされているところである。
- (4) このように最大クラスの地震・津波による被害想定であることから、これまで中央防災会議で検討してきたいずれの地震による被害想定よりも大きなものとなっている。
- (5) このような甚大な被害想定結果を目の当たりにして、ともすれば、不安感を募

らせ、これまでの防災対策が無意味であるかのような風潮が出てくる可能性もあるが、後述するように、しっかりとした対策を講ずれば想定される被害も大きく減少することは明らかである。

(6) したがって、ハード・ソフト対策を総動員して地震・津波対策を推進することが必要である。

(7) さらに、国民一人一人が、今回の被害想定に何ら悲観することなく、

- ① 強い揺れや弱くても長い揺れがあったら迅速かつ主体的に避難する
- ② 強い揺れに備えて建物の耐震診断・耐震補強を行うとともに、家具等の固定を進める
- ③ 初期消火に全力をあげる

等の取組を実施することにより、一人でも犠牲者を減らす取組を実施することが求められる。

3. 今回の被害想定について

(1) 想定する地震動・津波

今後の防災対策の立案等の基礎資料となることから、地震動はモデル検討会で検討された地震動5ケースのうち「基本ケース」と揺れによる被害が最大となると想定される「陸側ケース」について、また、津波はモデル検討会で検討された津波11ケースのうち、東海地方、近畿地方、四国地方、九州地方それぞれで大きな被害が想定されるケースとなる「ケース1」、「ケース3」、「ケース4」、「ケース5」について、それぞれ地震動と津波を組合わせて被害想定を実施した。被害想定に用いた震度分布図を図1（基本ケース）・図2（陸側ケース）に、津波断層モデルのすべり量設定を図3に、津波高分布図を図4（ケース1）、図5（ケース3）、図6（ケース4）、図7（ケース5）に示す。

(2) 被害想定項目及び内容

今回想定する地震・津波は最大クラスのものであり、かつ、その被害は広域にわたることから、南海トラフ巨大地震発生時の人的被害の発生については、様々なシナリオが想定される。このようなシナリオについて、想定されるハザード・フェー

ズ毎にまとめたシナリオを図8に示す。

今回はこれらのうち、図9に示すように、基本的に定量的に推計が可能な項目について、「建物被害・人的被害」と「施設等の被害」に分けてとりまとめる。なお、本報告は、平成24年～25年に公表した被害想定結果について、現状における社会構造の変化や対策の進捗等を踏まえて再計算したものである。

4. 被害想定結果

(1) 被害想定概要

被害想定結果は、発生時刻や風速等想定に当たっての前提条件により大きく異なるが、東海地方、近畿地方、四国地方、九州地方がそれぞれ大きく被災するケースを想定した場合、次のとおりとなる。

(ア) 東海地方が大きく被災するケース

全壊及び焼失棟数：795千棟～2,084千棟 死者：124千人～231千人

(イ) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊及び焼失棟数：799千棟～2,077千棟 死者：87千人～179千人

(ウ) 四国地方が大きく被災するケース

全壊及び焼失棟数：783千棟～2,069千棟 死者：61千人～145千人

(エ) 九州地方が大きく被災するケース

全壊及び焼失棟数：811千棟～2,094千棟 死者：60千人～144千人

注) 数値は、地震動に対して堤防・水門が正常に機能したケースを記載。

(2) 防災対策による被害軽減

(ア) 地震動に対する防災対策

① 建物の耐震性の強化

昭和56年以前の耐震基準で建築された建物の耐震化を推進し、耐震性を持たせることにより、死者数は現時点で約65,000人と想定されるものが、約80%減の約13,000人に大きく減少するものと推計される。(地震動は陸側ケース、冬深夜の場合)

このことから、今後も、建物の耐震性の強化を推進する必要がある。

② 家具等の転倒・落下防止対策の強化

家具等の転倒・落下防止対策が進むことにより、死者数は現時点で約 4,400 人と想定されるものが、約 60-70%減の約 1,600 人と大きく減少するものと推計される。（地震動は陸側ケース、冬深夜の場合）（建物被害による死者数と区別が難しいため参考値）

このことから、今後も、家具等の転倒・落下防止対策を進める必要がある。

（イ）津波に対する防災対策

現状の避難開始率の場合と、早期避難率が高く効果的な呼びかけがあった場合を比較すると、津波による死者数に約 1.7 倍～約 5.3 倍の差が想定される。また、現状の避難開始率の場合と全員が発災後すぐに避難を開始した場合を比較すると、津波による死者数に約 2.3 倍～約 8.6 倍の差が想定される。

このことから、住民等の自主的かつ迅速な避難のための意識啓発、避難計画策定や防災教育の推進が急務である。

（ウ）火災に対する防災対策

地震時の電気火災の発生を抑制する感震ブレーカーの設置を促進することで、死者数は現時点で約 14,000 人と想定されるものが、約 55%減の約 6,300 人に大きく減少するものと推計される。（地震動は陸側ケース、冬夕方、風速 8m/s の場合）

このことから、今後も、感震ブレーカーの設置を推進する必要がある。

5. 本被害想定性格について

（1）被害想定手法について

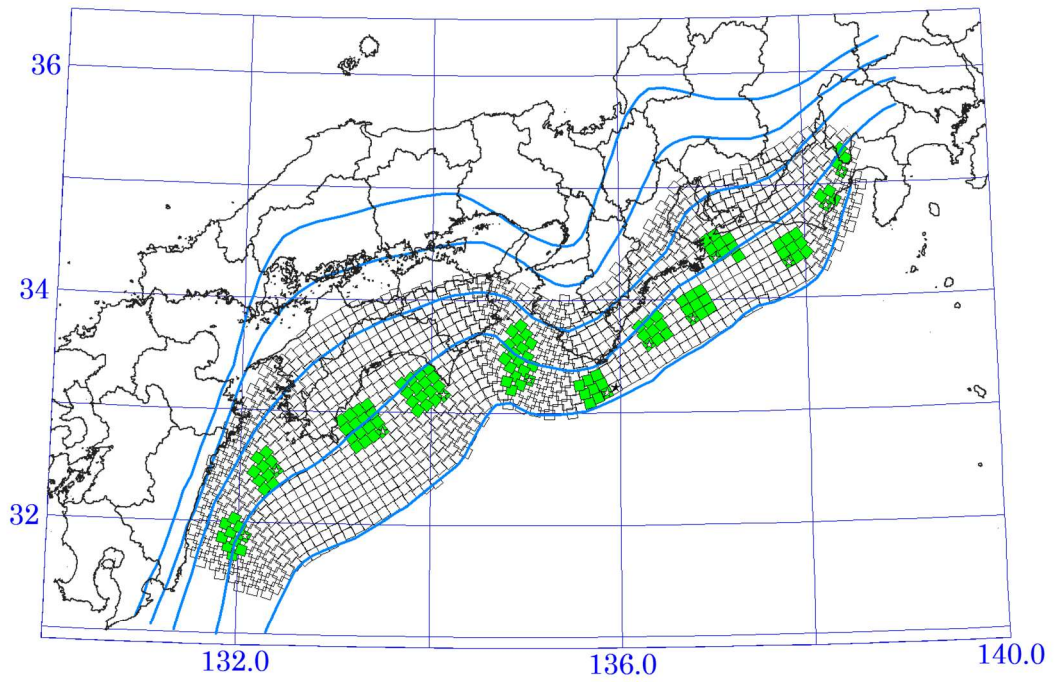
今回の被害想定は、前回の被害想定（平成 24 年 8 月、平成 25 年 3 月公表）の手法（阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大きな地震による被害状況等を踏まえて検討してきた手法により推計を行ったものであるが、各項目の被害想定手法は必ずしも確立されたものではない。）を基本として、最新のデータ（建築物や

人口、ライフライン等のデータ、津波避難意識アンケート結果等)に基づき、再計算したものである。

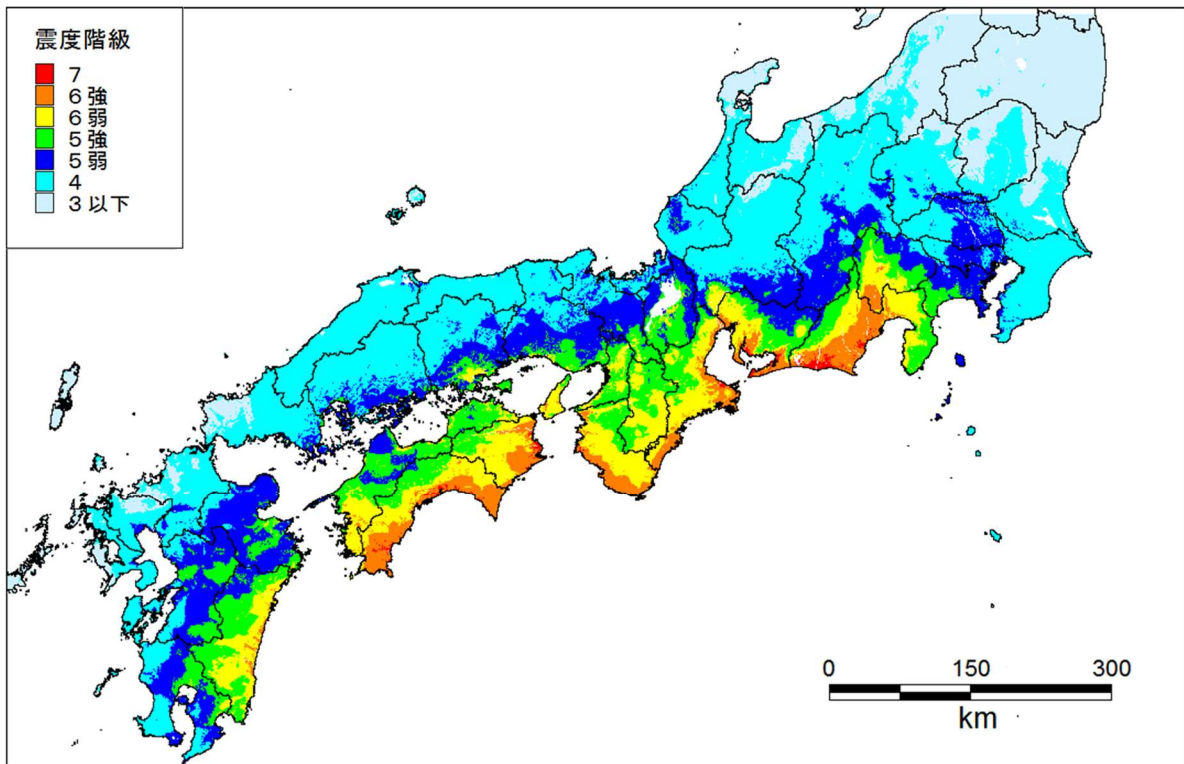
なお、引き続き、被害想定手法についても不断の点検・見直しを行い、必要に応じて、被害想定は修正すべきものである。

(2) 地方公共団体の被害想定について

今回の被害想定は、主として広域的な防災対策を検討するためのマクロの被害の想定を行ったものである。都府県別の数値を示しているが、今回被害想定の新計算結果を示す上で計算根拠を明確にするために示したものであり、各都府県において地域の実情に応じて実施されている被害想定に影響を与えるものではない。

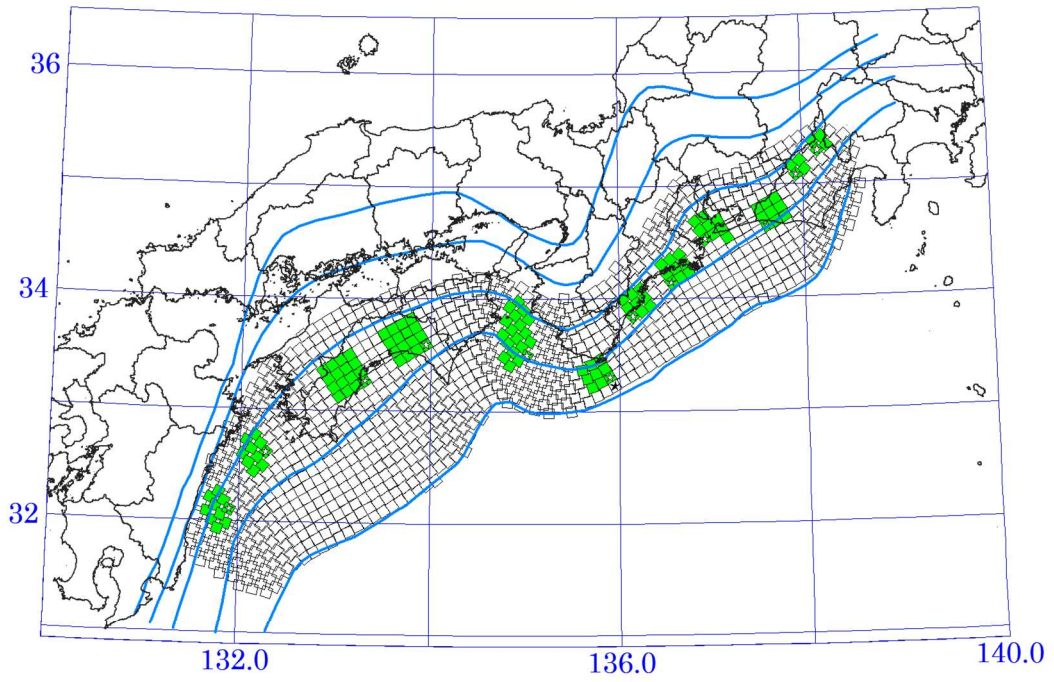


強震動生成域の設定の検討ケース(基本ケース)

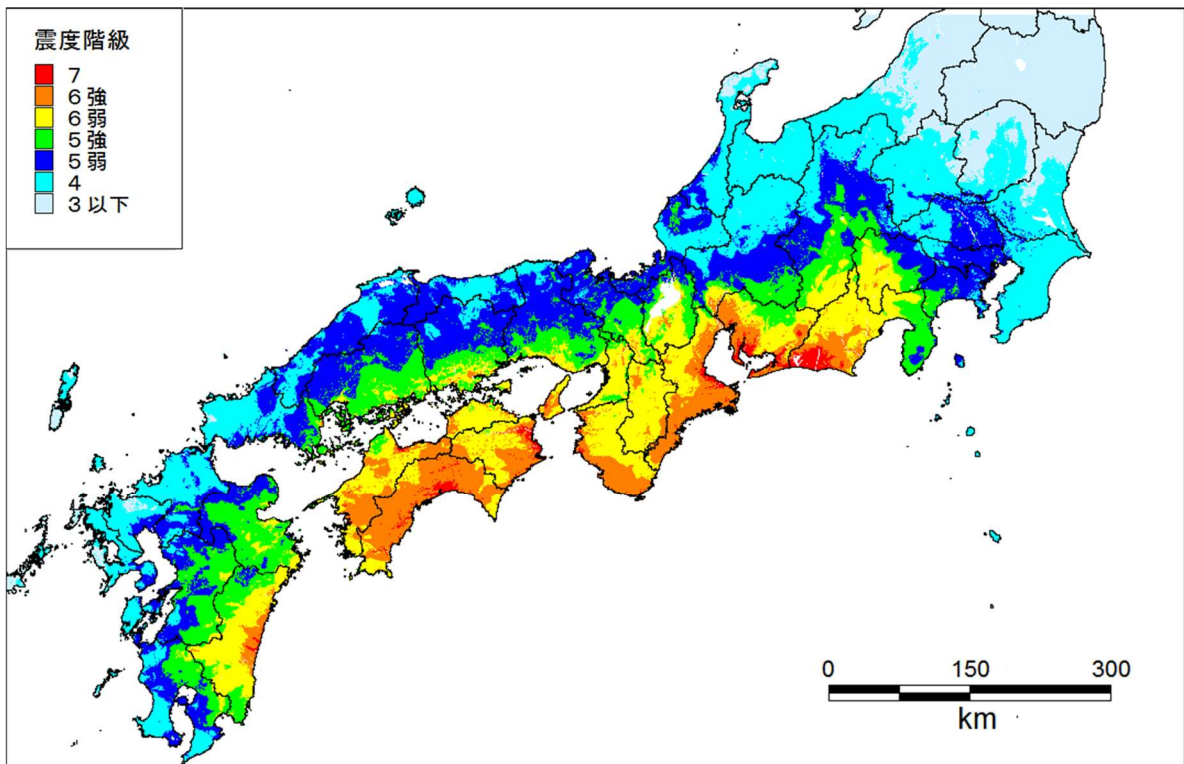


基本ケースの震度分布

図1 震度分布図(基本ケース)



強震動生成域の設定の検討ケース(陸側ケース)



陸側ケースの震度分布

図2 震度分布図(陸側ケース)

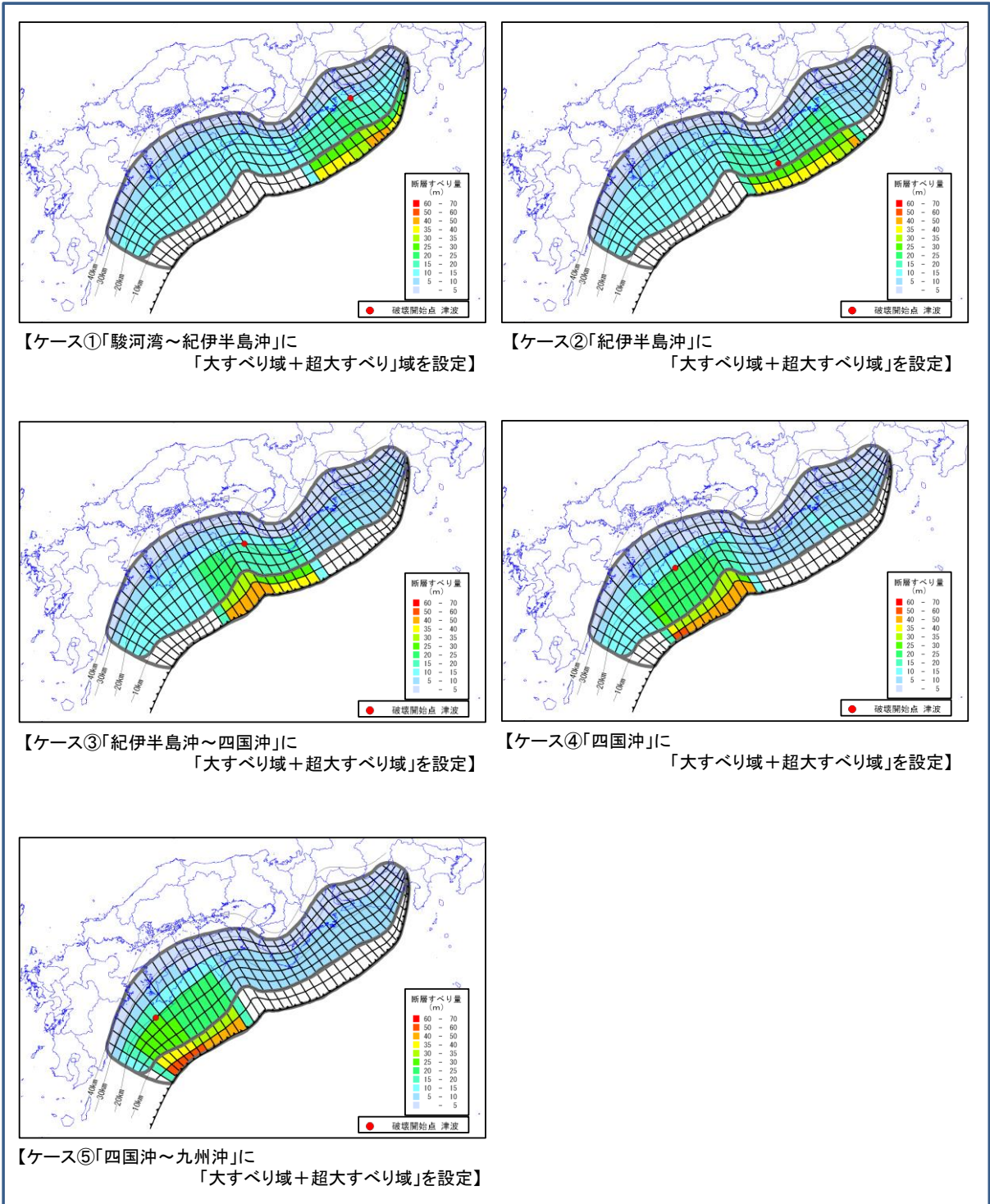
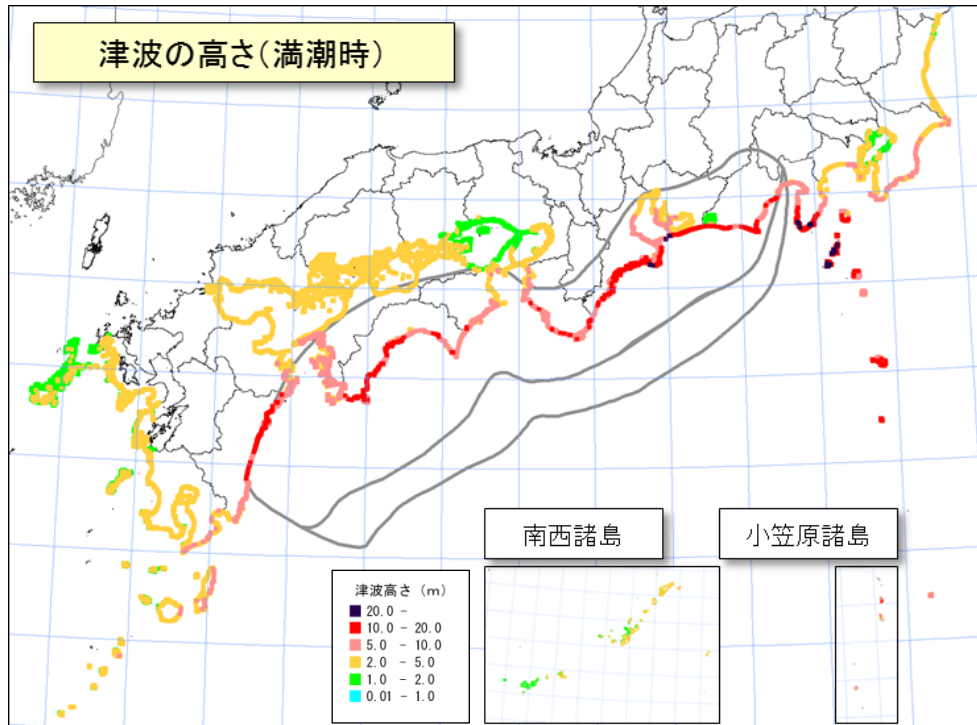
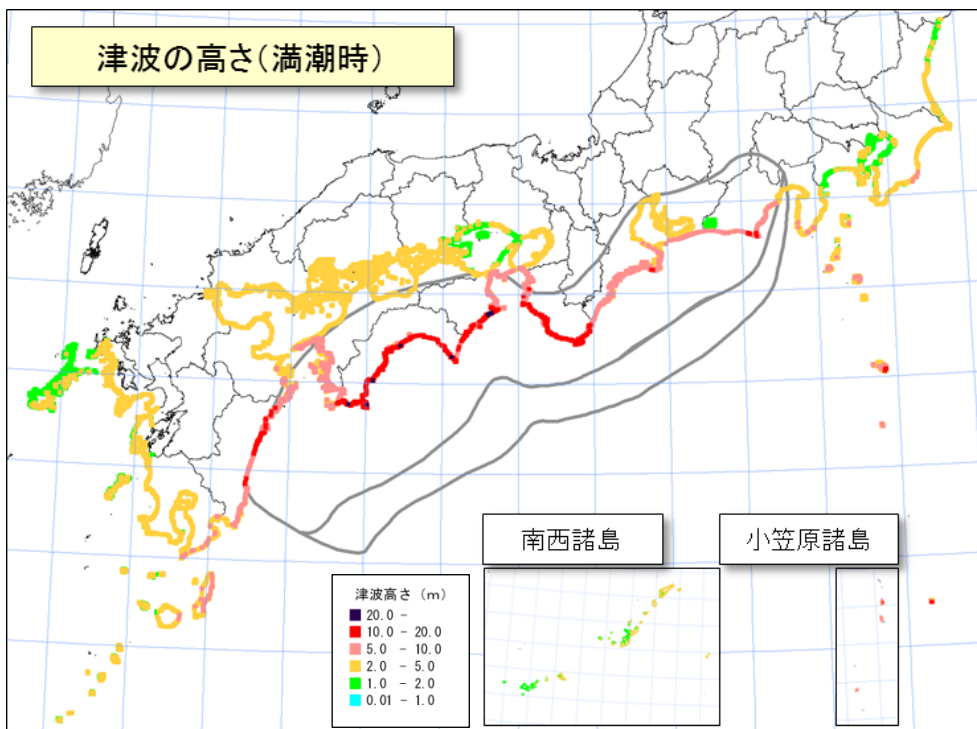


図3 津波断層モデルのすべり量設定



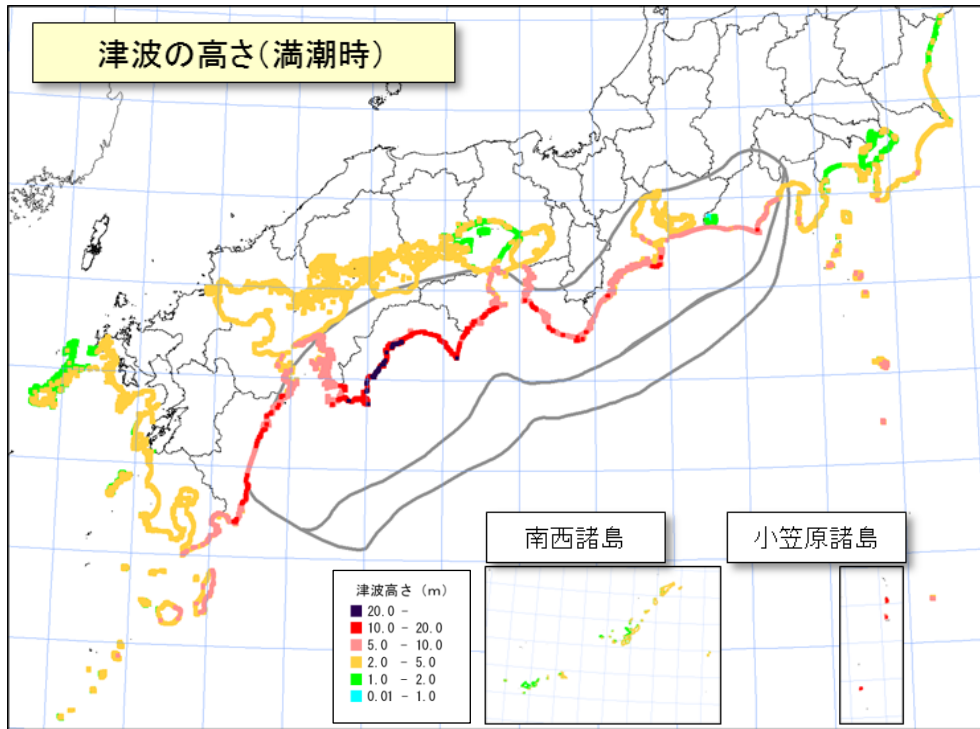
【ケース①「駿河湾～紀伊半島沖」に大すべり域を設定】

図4 津波高分布図 (ケース1)



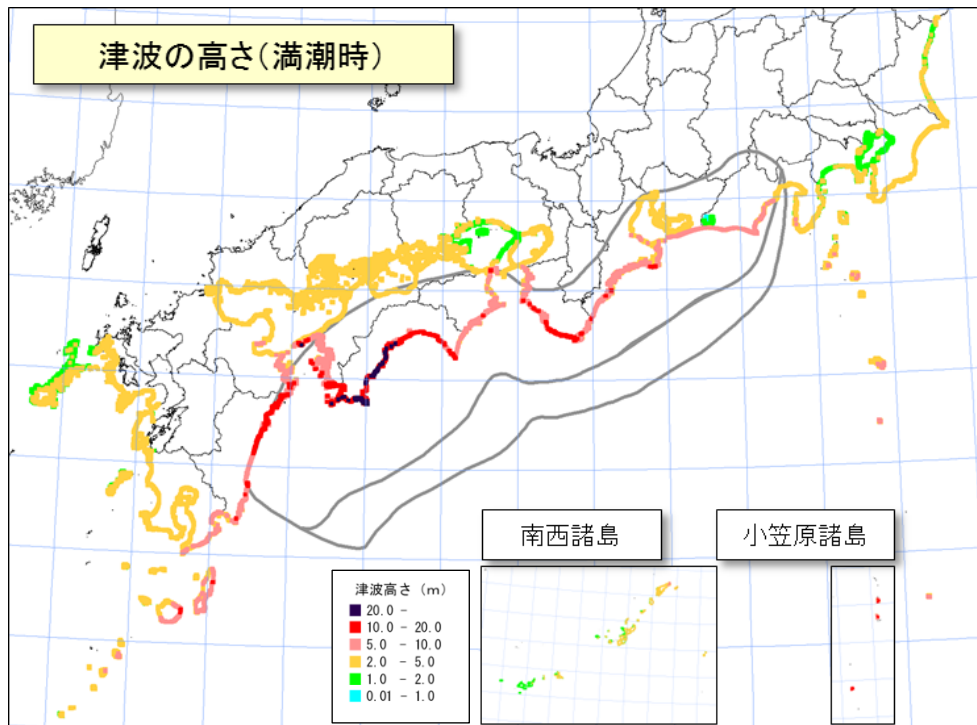
【ケース③「紀伊半島沖～四国沖」に大すべり域を設定】

図5 津波高分布図 (ケース3)



【ケース④「四国沖」に大すべり域を設定】

図6 津波高分布図（ケース4）



【ケース⑤「四国沖～九州沖」に大すべり域を設定】

図7 津波高分布図（ケース5）

南海トラフ巨大地震発生時に想定される人的被害のシナリオ

地震発生直後の人的被害 (下線部は被害想定(第1次)において可能な定量的評価を行うもの)		地震発生から概ね72時間の人的被害	数日後以降の人的被害	
地震動	建物倒壊	・自宅や職場等で、老朽化していたり、耐震性の低い木造建築物が倒壊し、下敷きになり死傷 ・自宅や職場等で、ビルやマンションの中間階の圧潰や建物の倒壊により、下敷きになり死傷	・倒壊した建物の生き埋めとなり、救出が間に合わず死亡 ・前壊した建物の下敷きから救出された後、治療中に死亡	余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷
	屋内転倒物	・自宅や職場等で、家具や什器が転倒し、その下敷きとなり死傷 ・自宅や職場等で、本棚や食器棚等から内容物が飛散し負傷 ・自宅や職場等で、窓ガラス等が割れて飛散し死傷 ・自宅や職場等で、薪溜の入ったやかんや、ストーブ等が転倒して負傷(熱傷) ・商店や建物等でも、ディスプレイや展示物が転倒し下敷きとなり死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	屋外転倒物	・路上等で、街路樹や電柱、自動販売機等が倒れて直撃し死傷 ・路上で、沿道の建物の倒壊に巻き込まれて死傷 ・路上で、ブロック塀やレンガ塀、石塀が倒れて下敷きとなり死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	屋内落下物	・体育館やプール、集会場等で、吊り天井等が落下し下敷きとなり死傷 ・建物内で、額縁等の掲示物が落下し、直撃により死傷 ・建物内で、照明が落下し直撃により死傷、あるいは割れて飛散したガラス片等を踏み負傷 ・商店や建物等でも、天井から吊り下げられていた飾り等が落下し直撃して死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	屋外落下物	・路上で、外壁パネルやコンクリート片が直撃し死傷 ・自宅や路上で、落下した屋根瓦に当たり死傷 ・路上で、ビルのショーウィンドウや窓ガラスが落下し死傷 ・斜面周辺で落石が直撃し死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	転倒、転落	・自宅や職場、路上等で転倒して死傷 ・階段や駅のホーム等から転落して死傷 ・建築現場等、高所の足場から転落して死傷 ・路上や階段、駅、大規模集客施設等で、集団転倒により死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	長周期地震動	・長周期地震動により高層建築物の高層階で揺れが大きくなり、家具や什器の下敷きとなり、転倒、階段から落下する等により死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	道路・自動車被害	・走行中、強い揺れにハンドルを取られる等により事故を起こし死傷 ・路肩の崩壊や橋梁、高架橋の倒壊等により、車両が転覆、落下し死傷 ・高架橋から橋げた等が落下し、高架橋下の道を走っている車が直撃又は衝突して死傷 ・道路上やトンネル天井に設置された案内板、空調設備等が落下し、直撃又は衝突して死傷 ・橋梁部のすれ等、道路上に発生する段差等に衝突して死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	鉄道被害	・走行中に揺れにより列車が脱線し、建物や対向車、斜面等に衝突又は列車が転覆し死傷 ・路肩の崩壊や橋梁、高架橋の倒壊等により、列車が転覆、落下して死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	津波	・自宅や職場等で逃げ遅れ、津波にのまれて死傷 ・徒歩で避難中に、津波に足をすくわれて転倒し死傷 ・自動車の運転中や列車乗車中に逃げ遅れ津波に巻き込まれて死傷 ・海上で、船が転覆し死傷 ・地下鉄や地下街が浸水して死傷 ・夏季に地震が発生した場合、多数の海水浴客が避難しきれずに津波にのまれて死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	津波火災	・建物の上階に避難していた人が、津波火災に巻き込まれ避難できず死傷 ・石油コンビナート地区で、海上の火災が施設に引火、爆発し死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
	火災	・建物倒壊等により生き埋め等になり、延焼から逃げられず死傷 ・路上で火災に遭遇し死傷 ・集合住宅や高層ビル、地下鉄・地下街等で煙にまかれて死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷	
斜面崩壊	・山崩れ、崖崩れ等に巻き込まれ、生き埋めとなり死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷		
建物倒壊	・造成地で、盛土の崩壊により、建物が倒壊し、下敷きになり死傷 ・たわみの堤防が決壊し土石流や洪水に巻き込まれて死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷		
道路・自動車被害	・沿道の土砂崩れ・崖崩れ等に巻き込まれて死傷 ・液状化によるマンホールの浮き上がり等、道路上に発生する段差等に衝突して死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷		
鉄道被害	・列車が大規模な斜面崩壊に巻き込まれて死傷 ・線路の踏断等の地震変状により列車が脱線し、建物や対向車、斜面等に衝突又は列車が転覆し死傷	・余震や他の地震により、最初の地震(揺れ、液状化、津波等)によりダメージを受けていた建物物が崩壊し、内部にいた人(居住者や救出・救助隊員、応急危険度判定、被害認定等の調査員)が下敷きになり死傷		

図8 南海トラフ巨大地震発生時に想定される人的被害のシナリオ

地震発生直後の人的被害	下線部は被害想定(第1次)において可能な定量的評価を行うもの	地震発生から概ね72時間の人的被害	数日後以降の人的被害
<p>停電</p> <p>転倒・転落 ・夜間の停車時につまづいたり、階段で足を踏み外す等により転倒、落下し死傷</p>	<p>医療機器等の停止 ・手術に必要な医療機器等が停止し、手術中の患者が死亡又は容態悪化 ・生命維持装置(人工呼吸、人工心臓等)を使用している入院患者等が死亡又は容態悪化</p>	<p>閉じこめ ・停電により、エレベーター等に閉じこめられた高齢者、乳幼児等が体調不良</p>	<p>医療機器等の停止 ・手術に必要な医療機器等が停止し、手術中の患者が死亡又は容態悪化 ・生命維持装置(人工呼吸、人工心臓等)を使用している入院患者等が死亡又は容態悪化</p>
<p>システム障害</p> <p>航空交通管制情報処理システム等に障害が発生し、飛行機の離着陸や飛行経路、飛行高度の指示等の管制業務が不能となり、墜落等により死傷 ・交差点の信号管理システムに障害が発生し、交通事故が発生し死傷 ・電車や地下鉄の管理システムに障害が発生し、電車の衝突等により死傷</p>	<p>断水</p> <p>燃料不足</p> <p>広域災害</p> <p>パニック等 ・自宅や職場、歩道等から、揺れに驚いて車道等に飛び出し、交通事故に遭い死傷 ・避難しようとした人々が出入口や階段、狭い通路(橋上等)に殺到し、死傷</p> <p>ショック ・高齢者が、揺れ(本震・余震)に驚いてショック死又は体調を崩す</p>	<p>救助・救急要請の困難 ・救助・救急要請が伝達できず、生き埋め者や重症者の応急手当ができず死傷</p>	<p>健康状態の悪化 ・病院等で医療用の水が不足し、人工透析等で真水が必要な患者が容態悪化 ・夏季に地震が発生した場合、脱水症状や熱中症による死亡者が発生 ・水分を十分に摂取出来ない避難者が静脈血栓塞栓症(エコノミー症候群)を発症(悪化すると死亡)</p>
<p>病気・ストレス等</p>	<p>危険物等</p> <p>危険物施設 ・揺れや液状化、津波により危険物施設から有毒なガス・物質が流出・放出され、その吸引等により死傷又は健康の悪化 ・揺れや液状化、津波により危険物施設から引火性のあるガス等が漏えいし、火災等により爆発して死傷</p> <p>風水害 ・揺れや液状化、地盤沈下により、堤防機能が脆弱化し、河川の増水や高潮時に、堤防決壊や越水による洪水が発生し死傷者が発生 ・浸水する可能性のある避難所等からの移動が必要となり、高齢者や有病者が疲労・ストレスにより死亡又は容態悪化 ・地震により地盤が緩んでいる斜面で、噴火や火山性地震によって土砂崩れ・崖崩れ等が発生し、死傷者が発生</p> <p>火山災害 ・被災者が、火山側により死傷したり、有毒ガス、火山灰により健康を害する ・避難所や仮設住宅が避難指示範囲となり、移動が必要となって、高齢者や有病者が疲労・ストレスにより死亡又は容態悪化 ・地震により地盤が緩んでいる斜面で、噴火や火山性地震によって土砂崩れ・崖崩れ等が発生し、人的被害が拡大 ・被災した建物が、火山性地震の繰り返しや火山灰の重み等で倒壊し、居住者が死傷</p>	<p>応急対応 ・車両やヘリコプター等の移動手段が限られ、捜索や医療活動等が限定されて人的被害が拡大 ・自家発電機による発電が困難となり、病院や避難所の機能が維持できず人的被害が拡大</p> <p>凍死の発生 ・冬季に地震が発生した場合、暖房用の燃料が枯渇して凍死者が発生</p> <p>人的・物的資源の不足 ・救出作業や搬送の人員や車両、ヘリコプターが不足し、救助の遅れによる死傷者数が拡大 ・負傷者が大量に発生し、病院・救護所、医師、医薬品等が不足し、死亡・重傷者数が拡大</p>	<p>ストレス・過労 ・高齢者等が、避難所生活や移動によるストレスから体調を崩して死亡又は容態悪化</p> <p>感染症の発生 ・衛生環境が整っていない避難所において、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行、体力のない子供や高齢者等が症状を悪化させて死亡</p> <p>生活不活発な状態 ・避難生活や、負傷により一時的に移動が困難な生活を送った影響から、高齢者が生活不活発な状態 ・暴動等が発生し巻き込まれて死傷</p>

被害想定項目(定量的項目・定性的項目) 一覧

<p>1. 建物被害 建物被害・人的被害</p> <p>1.1. 揺れによる被害 1.2. 液状化による被害 1.3. 津波による被害 1.4. 急傾斜地崩壊による被害 1.5. 地震火災による被害 1.6. 津波火災による被害</p> <p>2. 屋外転倒、落下物の発生</p> <p>2.1. ブロック塀・自動販売機等の転倒数 2.2. 屋外落下物の発生</p> <p>3. 人的被害</p> <p>3.1. 建物倒壊による被害 3.2. 津波による被害 3.3. 急傾斜地崩壊による被害 3.4. 火災による被害 3.5. ブロック塀・自動販売機の転倒、 屋外落下物による被害 3.6. 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物 による被害 3.7. 揺れによる建物被害に伴う要救助者 (自力脱出困難者) 3.8. 津波被害に伴う要救助者・要搜索者</p>	<p>6. 生活への影響 施設等の被害</p> <p>6.1 避難者 6.2 帰宅困難者 6.3 物資 6.4 医療機能 6.5 保健衛生、防疫、遺体処理等</p> <p>7. 災害廃棄物等</p> <p>7.1 災害廃棄物等</p> <p>8. その他の被害</p> <p>8.1 エレベータ内閉じ込め 8.2 長周期地震動 8.3 道路閉塞 8.4 道路上の自動車への落石・崩土 8.5 交通人的被害(道路) 8.6 交通人的被害(鉄道) 8.7 要配慮者 8.8 震災関連死 8.9 宅地造成地 8.10 危険物・コンビナート施設 8.11 大規模集客施設等 8.12 地下街・ターミナル駅 8.13 文化財 8.14 孤立集落 8.15 災害応急対策等 8.16 堰堤、ため池等の決壊 8.17 地盤沈下による長期湛水 8.18 複合災害 8.19 時間差での地震の発生 8.20 漁船・船舶、水産関連施設 8.21 治安</p> <p>9. 被害額</p> <p>9.1 資産等の被害 9.2 生産・サービス低下による影響 9.3 交通寸断による影響</p>
<p>4. ライフライン被害</p> <p>4.1. 上水道 4.2. 下水道 4.3. 電力 4.4. 通信 4.5. ガス(都市ガス)</p> <p>5. 交通施設被害</p> <p>5.1. 道路(高速道路、一般道路) 5.2. 鉄道 5.3. 港湾 5.4. 空港</p>	

図9 被害想定項目

※灰色：今回対象外(被害の様相のみ記述されている項目)

II 総括表

1. 建物等被害

(1) 東海地方が大きく被災するケース

地震動ケース（基本） 津波ケース（ケース①）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 480,000 棟		
液状化による全壊		約 102,000 棟		
津波による全壊		約 168,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 4,600 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 40,000 棟	約 56,000 棟	約 260,000 棟
	風速8m/s	約 57,000 棟	約 72,000 棟	約 303,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 795,000 棟	約 810,000 棟	約 1,015,000 棟
	風速8m/s	約 811,000 棟	約 827,000 棟	約 1,057,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 522,000 件		
自動販売機転倒数		約 9,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 274,000 棟		

地震動ケース（陸側） 津波ケース（ケース①）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 1,071,000 棟		
液状化による全壊		約 119,000 棟		
津波による全壊		約 156,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 6,600 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 129,000 棟	約 154,000 棟	約 660,000 棟
	風速8m/s	約 163,000 棟	約 194,000 棟	約 732,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 1,481,000 棟	約 1,506,000 棟	約 2,012,000 棟
	風速8m/s	約 1,515,000 棟	約 1,546,000 棟	約 2,084,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 858,000 件		
自動販売機転倒数		約 16,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 701,000 棟		

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

地震動ケース（基本） 津波ケース（ケース③）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 480,000 棟		
液状化による全壊		約 102,000 棟		
津波による全壊		約 173,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 4,600 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 40,000 棟	約 54,000 棟	約 253,000 棟
	風速8m/s	約 54,000 棟	約 68,000 棟	約 295,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 799,000 棟	約 813,000 棟	約 1,012,000 棟
	風速8m/s	約 813,000 棟	約 827,000 棟	約 1,054,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 522,000 件		
自動販売機転倒数		約 9,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 274,000 棟		

地震動ケース（陸側） 津波ケース（ケース③）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 1,071,000 棟		
液状化による全壊		約 119,000 棟		
津波による全壊		約 157,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 6,600 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 127,000 棟	約 151,000 棟	約 652,000 棟
	風速8m/s	約 159,000 棟	約 189,000 棟	約 724,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 1,480,000 棟	約 1,504,000 棟	約 2,006,000 棟
	風速8m/s	約 1,512,000 棟	約 1,542,000 棟	約 2,077,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 858,000 件		
自動販売機転倒数		約 16,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 701,000 棟		

(3) 四国地方が大きく被災するケース

地震動ケース（基本） 津波ケース（ケース④）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 480,000 棟		
液状化による全壊		約 102,000 棟		
津波による全壊		約 158,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 4,600 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 39,000 棟	約 54,000 棟	約 257,000 棟
	風速8m/s	約 55,000 棟	約 70,000 棟	約 299,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 783,000 棟	約 798,000 棟	約 1,001,000 棟
	風速8m/s	約 799,000 棟	約 814,000 棟	約 1,043,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 522,000 件		
自動販売機転倒数		約 9,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 274,000 棟		

地震動ケース（陸側） 津波ケース（ケース④）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 1,071,000 棟		
液状化による全壊		約 119,000 棟		
津波による全壊		約 144,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 6,600 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 128,000 棟	約 153,000 棟	約 657,000 棟
	風速8m/s	約 161,000 棟	約 192,000 棟	約 728,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 1,468,000 棟	約 1,493,000 棟	約 1,997,000 棟
	風速8m/s	約 1,501,000 棟	約 1,532,000 棟	約 2,069,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 858,000 件		
自動販売機転倒数		約 16,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 701,000 棟		

(4) 九州地方が大きく被災するケース

地震動ケース（基本） 津波ケース（ケース⑤）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 480,000 棟		
液状化による全壊		約 102,000 棟		
津波による全壊		約 185,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 4,600 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 40,000 棟	約 55,000 棟	約 258,000 棟
	風速8m/s	約 55,000 棟	約 71,000 棟	約 300,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 811,000 棟	約 826,000 棟	約 1,029,000 棟
	風速8m/s	約 827,000 棟	約 842,000 棟	約 1,071,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 522,000 件		
自動販売機転倒数		約 9,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 274,000 棟		

地震動ケース（陸側） 津波ケース（ケース⑤）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 1,071,000 棟		
液状化による全壊		約 119,000 棟		
津波による全壊		約 169,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 6,600 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 128,000 棟	約 153,000 棟	約 657,000 棟
	風速8m/s	約 161,000 棟	約 192,000 棟	約 729,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 1,493,000 棟	約 1,518,000 棟	約 2,022,000 棟
	風速8m/s	約 1,527,000 棟	約 1,557,000 棟	約 2,094,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 858,000 件		
自動販売機転倒数		約 16,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 701,000 棟		

(参考) 中央防災会議防災対策推進検討会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ「南海トラフ巨大地震の被害想定について(第一次報告)」
(平成24年8月29日)における建物被害結果

地震動ケース(陸側) 津波ケース(ケース⑤)

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
揺れによる全壊		約 1,346,000 棟		
液状化による全壊		約 134,000 棟		
津波による全壊		約 154,000 棟		
急傾斜地崩壊による全壊		約 6,500 棟		
地震火災による焼失	平均風速	約 154,000 棟	約 192,000 棟	約 678,000 棟
	風速8m/s	約 189,000 棟	約 228,000 棟	約 746,000 棟
全壊及び焼失棟数合計	平均風速	約 1,794,000 棟	約 1,833,000 棟	約 2,318,000 棟
	風速8m/s	約 1,829,000 棟	約 1,868,000 棟	約 2,386,000 棟
ブロック塀等転倒数		約 849,000 件		
自動販売機転倒数		約 19,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 859,000 棟		

※地震動による堤防・水門の機能不全を考慮した場合、津波による建物被害増分は約 19,000 棟

2. 人的被害

(1) 東海地方が大きく被災するケース

地震動ケース（基本） 津波ケース（ケース①）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 (うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		約 29,000 人 (約 2,000 人)	約 13,000 人 (約 900 人)	約 20,000 人 (約 1,300 人)
津波による死者		約 154,000 人	約 110,000 人	約 107,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 400 人	約 200 人	約 300 人
地震火災による死者	平均風速	約 1,500 人	約 900 人	約 4,800 人
	風速8m/s	約 2,000 人	約 1,200 人	約 5,200 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 10 人	約 200 人	約 500 人
死者数合計	平均風速	約 185,000 人	約 124,000 人	約 133,000 人
	風速8m/s	約 186,000 人	約 124,000 人	約 133,000 人
負傷者数		約 269,000 人 ～約 270,000 人	約 240,000 人 ～約 241,000 人	約 232,000 人 ～約 234,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 (自力脱出困難者)		約 104,000 人	約 65,000 人	約 82,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 33,000 人	約 37,000 人	約 35,000 人

地震動ケース（陸側） 津波ケース（ケース①）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 （うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）		約 65,000 人 （約 4,400 人）	約 28,000 人 （約 2,100 人）	約 45,000 人 （約 2,800 人）
津波による死者		約 160,000 人	約 112,000 人	約 111,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 600 人	約 200 人	約 400 人
地震火災による死者	平均風速	約 4,800 人	約 2,600 人	約 13,000 人
	風速8m/s	約 5,800 人	約 3,100 人	約 14,000 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 20 人	約 300 人	約 800 人
死者数合計	平均風速	約 230,000 人	約 143,000 人	約 170,000 人
	風速8m/s	約 231,000 人	約 144,000 人	約 171,000 人
負傷者数		約 523,000 人 ～約 525,000 人	約 477,000 人 ～約 479,000 人	約 462,000 人 ～約 466,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 （自力脱出困難者）		約 240,000 人	約 153,000 人	約 190,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 33,000 人	約 37,000 人	約 35,000 人

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

地震動ケース（基本） 津波ケース（ケース③）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 (うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		約 29,000 人 (約 2,000 人)	約 13,000 人 (約 900 人)	約 20,000 人 (約 1,300 人)
津波による死者		約 103,000 人	約 73,000 人	約 72,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 400 人	約 200 人	約 300 人
地震火災による死者	平均風速	約 1,500 人	約 900 人	約 4,700 人
	風速8m/s	約 2,000 人	約 1,200 人	約 5,100 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 10 人	約 200 人	約 500 人
死者数合計	平均風速	約 134,000 人	約 87,000 人	約 98,000 人
	風速8m/s	約 135,000 人	約 87,000 人	約 98,000 人
負傷者数		約 264,000 人	約 237,000 人 ～約 238,000 人	約 229,000 人 ～約 231,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 (自力脱出困難者)		約 104,000 人	約 65,000 人	約 82,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 35,000 人	約 44,000 人	約 41,000 人

地震動ケース（陸側） 津波ケース（ケース③）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 （うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）		約 65,000 人 （約 4,400 人）	約 28,000 人 （約 2,100 人）	約 45,000 人 （約 2,800 人）
津波による死者		約 109,000 人	約 75,000 人	約 76,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 600 人	約 200 人	約 400 人
地震火災による死者	平均風速	約 4,600 人	約 2,500 人	約 12,000 人
	風速8m/s	約 5,500 人	約 3,000 人	約 13,000 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 20 人	約 300 人	約 800 人
死者数合計	平均風速	約 178,000 人	約 106,000 人	約 134,000 人
	風速8m/s	約 179,000 人	約 107,000 人	約 136,000 人
負傷者数		約 517,000 人 ～約 519,000 人	約 474,000 人 ～約 476,000 人	約 459,000 人 ～約 462,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 （自力脱出困難者）		約 240,000 人	約 153,000 人	約 190,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 35,000 人	約 44,000 人	約 41,000 人

(3) 四国地方が大きく被災するケース

地震動ケース（基本） 津波ケース（ケース④）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 (うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		約 29,000 人 (約 2,000 人)	約 13,000 人 (約 900 人)	約 20,000 人 (約 1,300 人)
津波による死者		約 69,000 人	約 47,000 人	約 47,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 400 人	約 200 人	約 300 人
地震火災による死者	平均風速	約 1,400 人	約 900 人	約 4,700 人
	風速8m/s	約 2,000 人	約 1,200 人	約 5,200 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 10 人	約 200 人	約 500 人
死者数合計	平均風速	約 100,000 人	約 61,000 人	約 73,000 人
	風速8m/s	約 101,000 人	約 62,000 人	約 74,000 人
負傷者数		約 262,000 人 ～約 263,000 人	約 235,000 人 ～約 236,000 人	約 228,000 人 ～約 230,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 (自力脱出困難者)		約 104,000 人	約 65,000 人	約 82,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 31,000 人	約 37,000 人	約 35,000 人

地震動ケース（陸側） 津波ケース（ケース④）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 （うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）		約 65,000 人 （約 4,400 人）	約 28,000 人 （約 2,100 人）	45,000 人 （約 2,800 人）
津波による死者		約 74,000 人	約 50,000 人	約 51,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 600 人	約 200 人	約 400 人
地震火災による死者	平均風速	約 4,700 人	約 2,600 人	約 12,000 人
	風速8m/s	約 5,600 人	約 3,000 人	約 14,000 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 20 人	約 300 人	約 800 人
死者数合計	平均風速	約 144,000 人	約 81,000 人	約 110,000 人
	風速8m/s	約 145,000 人	約 81,000 人	約 111,000 人
負傷者数		約 516,000 人 ～約 517,000 人	約 473,000 人 ～約 475,000 人	約 458,000 人 ～約 461,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 （自力脱出困難者）		約 240,000 人	約 153,000 人	約 190,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 31,000 人	約 37,000 人	約 35,000 人

(4) 九州地方が大きく被災するケース

地震動ケース（基本） 津波ケース（ケース⑤）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 (うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		約 29,000 人 (約 2,000 人)	約 13,000 人 (約 900 人)	約 20,000 人 (約 1,300 人)
津波による死者		約 68,000 人	約 46,000 人	約 46,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 400 人	約 200 人	約 300 人
地震火災による死者	平均風速	約 1,500 人	約 900 人	約 4,800 人
	風速8m/s	約 2,000 人	約 1,200 人	約 5,200 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 10 人	約 200 人	約 500 人
死者数合計	平均風速	約 99,000 人	約 60,000 人	約 72,000 人
	風速8m/s	約 100,000 人	約 60,000 人	約 72,000 人
負傷者数		約 261,000 人	約 235,000 人	約 227,000 人 ～約 229,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 (自力脱出困難者)		約 104,000 人	約 65,000 人	約 82,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 32,000 人	約 36,000 人	約 34,000 人

地震動ケース（陸側） 津波ケース（ケース⑤）

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 （うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）		約 65,000 人 （約 4,400 人）	約 28,000 人 （約 2,100 人）	約 45,000 人 （約 2,800 人）
津波による死者		約 73,000 人	約 48,000 人	約 50,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 600 人	約 200 人	約 400 人
地震火災による死者	平均風速	約 4,700 人	約 2,600 人	約 12,000 人
	風速8m/s	約 5,600 人	約 3,000 人	約 14,000 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 20 人	約 300 人	約 800 人
死者数合計	平均風速	約 143,000 人	約 79,000 人	約 108,000 人
	風速8m/s	約 144,000 人	約 80,000 人	約 109,000 人
負傷者数		約 515,000 人 ～約 516,000 人	約 472,000 人 ～約 474,000 人	約 457,000 人 ～約 460,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 （自力脱出困難者）		約 240,000 人	約 153,000 人	約 190,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 32,000 人	約 36,000 人	約 34,000 人

(参考) 避難の有無、避難開始時期の設定

今回の被害想定においては次表の避難行動を考慮している。

表 避難の有無、避難開始時期の設定

	避難行動別の比率		
	避難する		切迫避難あるいは避難しない
	すぐに避難する (直接避難)	避難するがすぐには避難しない (用事後避難)	
全員が発災後すぐに避難を開始した場合	100%	0%	0%
早期避難者比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合	70% (※1)	30% (※2)	0% (※3)
現状の避難開始率の場合(今回想定)	28.4% (※4)	60.2% (※4)	11.4% (※4)
【参考】早期避難者比率が低い場合(H24)	20% (※5)	50% (※2)	30% (※6)

直接避難： 避難開始時間は発災5分後（昼間）、10分後（夜間）

用事後避難： 避難開始時間は発災15分後（昼間）、20分後（夜間）

切迫避難： 津波を見てから避難

（なお、避難速度は、東日本大震災の実績から昼間の平均速度を 2.65km/h と設定。

夜間の場合は、北海道南西沖地震の実績を踏まえて昼間の8割と設定）

※1: すぐに避難した人の割合が最も高い市で約67%であった。また、従来の被害想定(H18)では北海道南西沖地震の事例から意識の高いケースとして70%としている。これらを踏まえて、従来想定(H18)どおりの70%と設定

※2: 全体から「すぐに避難する」+「切迫避難あるいは避難しない」の割合を引いた数値として設定

※3: 津波情報や避難の呼びかけを見聞きしている中でそれをもって避難のきっかけとなった場合、切迫避難の割合が一番低い市で0%である。また、従来の被害想定(H18)では意識が高い場合に2%としている。

※4: 住民への避難意識調査(平成30年、内閣府)による。

※5: すぐに避難した人の割合が最も低い市で約35%であった。また、従来の被害想定(H18)では日本海中部地震の事例から意識の低いケースとして20%としている。この市は避難意識の高い地域と考えられるが、それでも予想を超えて津波浸水の被害を受けた地区が多いこと等もあり、早期避難率は低い。他の地域は相対的により意識の低い地域が多いと考えられることから、以上を踏まえて、従来想定どおりの20%と設定

※6: 切迫避難(死者含む)の割合が高い市で25%～約27%であった。また、従来の被害想定(H18)では意識が低い場合に32%としている。これらを踏まえて30%と設定

(参考) 中央防災会議防災対策推進検討会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ「南海トラフ巨大地震の被害想定について(第一次報告)」
(平成24年8月29日)における人的被害結果

地震動ケース(陸側) 津波ケース(ケース①)

項目		冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊による死者 (うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		約 82,000 人 (約 6,200 人)	約 37,000 人 (約 3,000 人)	約 59,000 人 (約 3,900 人)
津波による死者	早期避難率高 +呼びかけ	約 117,000 人	約 68,000 人	約 70,000 人
	早期避難率低	約 230,000 人	約 195,000 人	約 196,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 600 人	約 200 人	約 400 人
地震火災による死者	平均風速	約 8,600 人	約 5,200 人	約 21,000 人
	風速8m/s	約 10,000 人	約 5,900 人	約 22,000 人
ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 30 人	約 500 人	約 800 人
死者数合計	平均風速	約 208,000 人 ～約 321,000 人	約 111,000 人 ～約 237,000 人	約 151,000 人 ～約 277,000 人
	風速8m/s	約 209,000 人 ～約 323,000 人	約 111,000 人 ～約 238,000 人	約 152,000 人 ～約 278,000 人
負傷者数		約 606,000 人 ～約 623,000 人	約 507,000 人 ～約 524,000 人	約 516,000 人 ～約 535,000 人
揺れによる建物被害に伴う要救助者 (自力脱出困難者)		約 311,000 人	約 194,000 人	約 243,000 人
津波被害に伴う要救助者		約 29,000 人	約 32,000 人	約 32,000 人

※津波による人的被害は、地震動に対して堤防・水門が正常に機能した場合であり、また津波避難ビル等の効果を考慮していない場合。

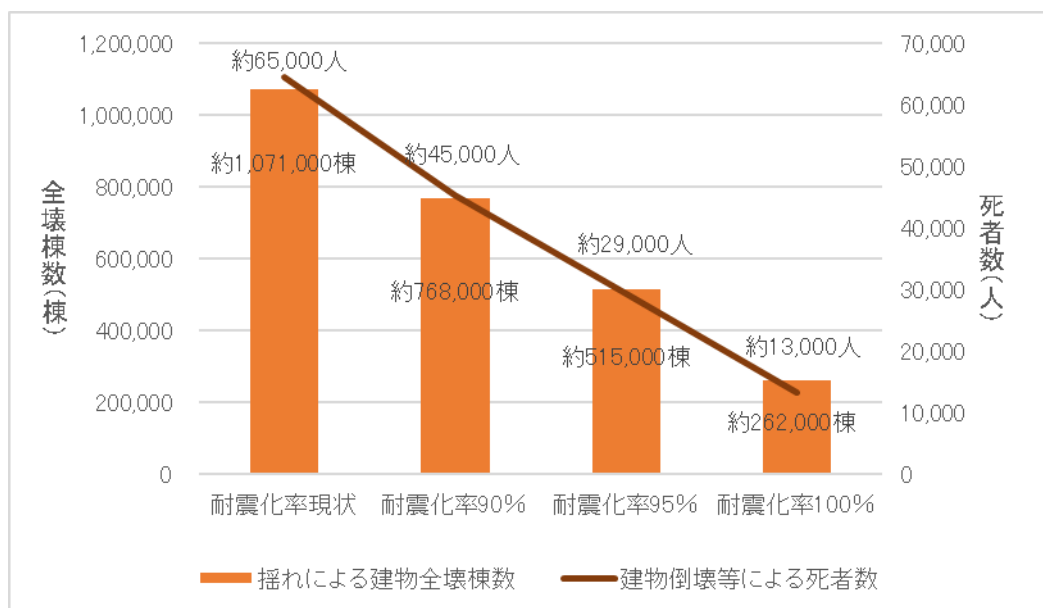
Ⅲ 防災対策の効果

今後、防災対策を推進することによる被害軽減効果を推計した。

1. 強震動に対する防災対策

(1) 建物の耐震性の強化

住宅の耐震化率は全国平均で約 82%（平成 25 年）とされている。旧耐震基準の建物の建替や耐震補強等が行われ、現状よりも建物の耐震性が強化された場合の効果を推計した。



	建物の耐震性強化			
	現状	耐震化率 90%	耐震化率 95%	耐震化率 100%
揺れによる 全壊棟数	約 1,071,000 棟	約 768,000 棟	約 515,000 棟	約 262,000 棟
建物倒壊による 死者数（冬・深夜）	約 65,000 人	約 45,000 人	約 29,000 人	約 13,000 人

※地震動は陸側ケース

(2) 家具等の転倒・落下防止対策の強化

内閣府「防災に関する世論調査」(平成 29 年 11 月)によれば、家具等の転倒・落下防止対策実施率の現状は全国平均で約 40.6%である。現状よりも家具等の転倒・落下防止対策が強化された場合の効果を推計した。

	家具等の転倒・落下防止対策強化			
	現状	実施率 50%	実施率 75%	実施率 100%
屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による死者数(冬・深夜)	約 4,400 人	約 4,000 人	約 2,800 人	約 1,600 人

※地震動は陸側ケース

※屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による死者数は、建物被害による死者数と区別が難しいため、数字は参考である。

2. 津波に対する防災対策

避難の迅速化が図られ、昼間の場合には発災後5分、深夜でも発災後10分で全員が避難開始した場合の死者数の推計を示す。(ただし、設定上の避難開始時間よりも前に津波が襲来する場合には、津波襲来とともに避難開始とした。)

①東海地方が大きく被災するケース (津波ケース①)

		避難の迅速化	
		現状の避難開始率の場合	全員が発災後すぐに避難を開始した場合
津波による死者数	深夜	約 160,000 人	約 70,000 人
	昼間	約 112,000 人	約 26,000 人

②近畿地方が大きく被災するケース (津波ケース③)

		避難の迅速化	
		現状の避難開始率の場合	全員が発災後すぐに避難を開始した場合
津波による死者数	深夜	約 109,000 人	約 41,000 人
	昼間	約 75,000 人	約 14,000 人

③四国地方が大きく被災するケース (津波ケース④)

		避難の迅速化	
		現状の避難開始率の場合	全員が発災後すぐに避難を開始した場合
津波による死者数	深夜	約 74,000 人	約 20,000 人
	昼間	約 50,000 人	約 5,800 人

④九州地方が大きく被災するケース (津波ケース⑤)

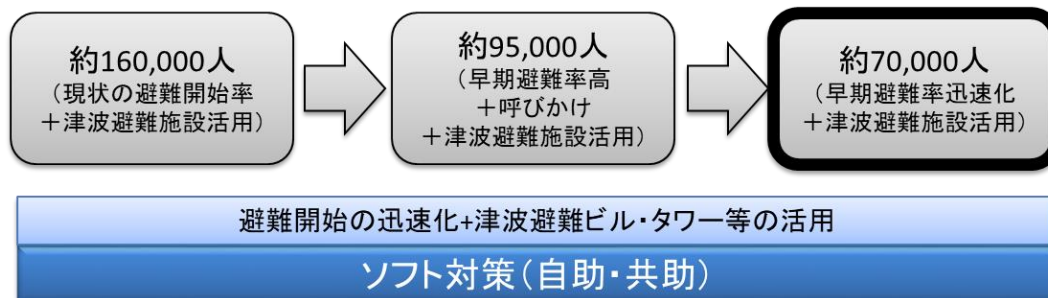
		避難の迅速化	
		現状の避難開始率の場合	全員が発災後すぐに避難を開始した場合
津波による死者数	深夜	約 73,000 人	約 19,000 人
	昼間	約 48,000 人	約 6,500 人

※地震動に対して堤防・水門が正常に機能し、現状で指定されている津波避難ビル等の活用を考慮した場合

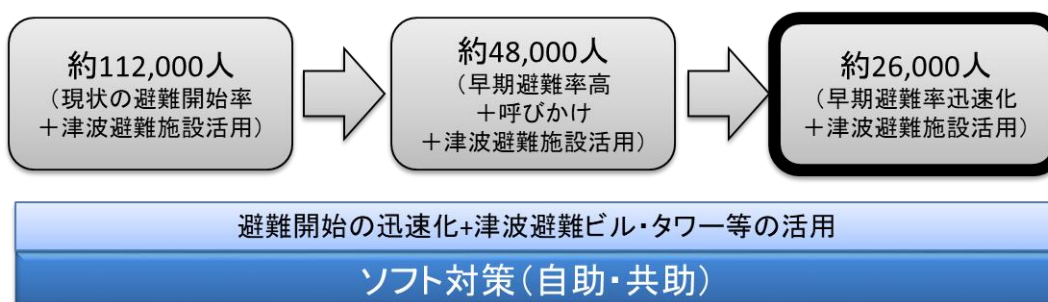
※地震動は陸側ケース

(1) 東海地方が大きく被災するケース

(地震動ケース (陸側)、津波ケース (ケース①)、冬・深夜)

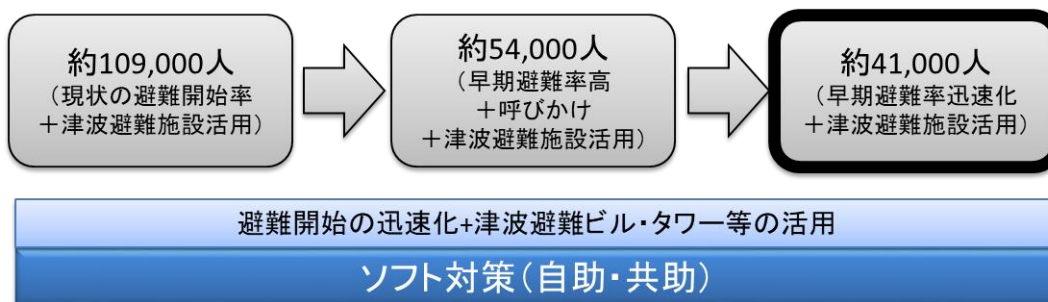


(地震動ケース (陸側)、津波ケース (ケース①)、夏・昼)

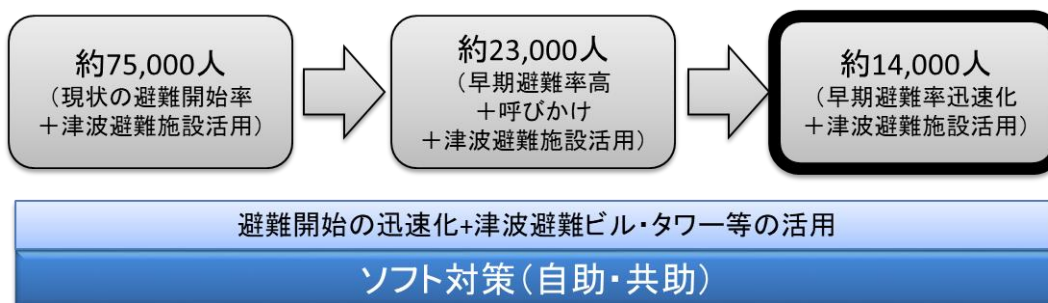


(2) 近畿地方が大きく被災するケース

(地震動ケース (陸側)、津波ケース (ケース③)、冬・深夜)

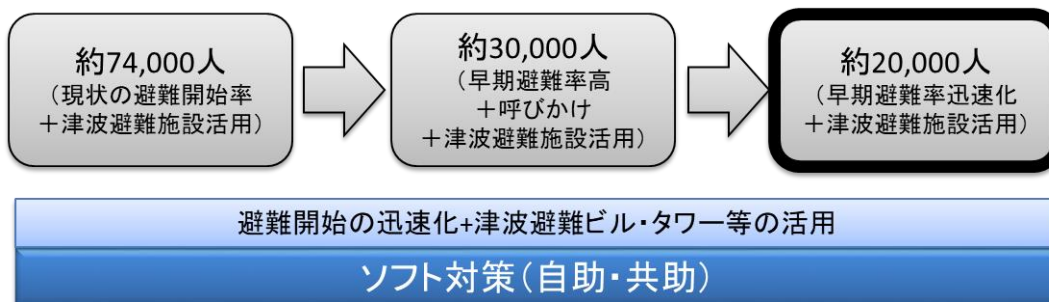


(地震動ケース (陸側)、津波ケース (ケース③)、夏・昼)

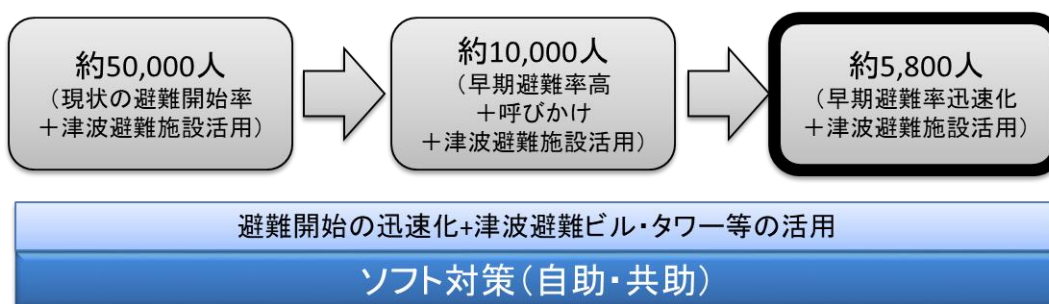


(3) 四国地方が大きく被災するケース

(地震動ケース (陸側)、津波ケース (ケース④)、冬・深夜)

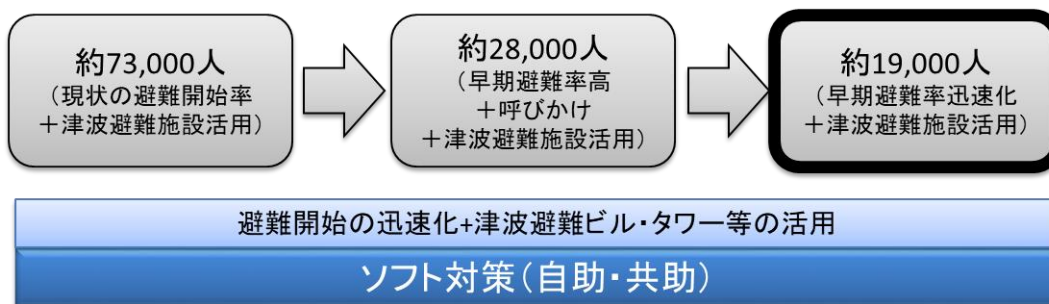


(地震動ケース (陸側)、津波ケース (ケース④)、夏・昼)

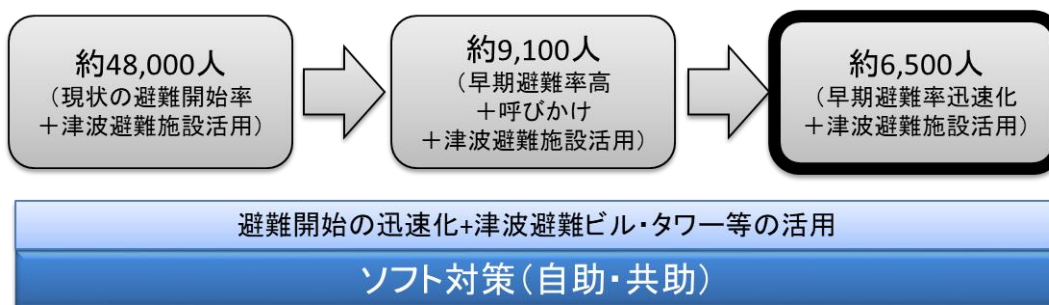


(4) 九州地方が大きく被災するケース

(地震動ケース (陸側)、津波ケース (ケース⑤)、冬・深夜)



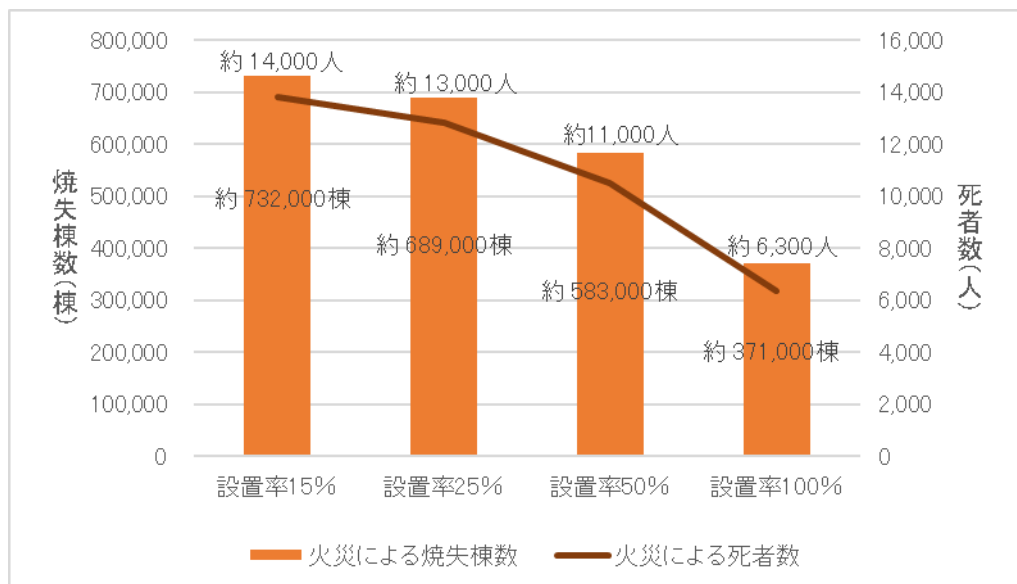
(地震動ケース (陸側)、津波ケース (ケース⑤)、夏・昼)



3. 火災に対する防災対策

地震時の電気火災を防ぐ感震ブレーカーの設置率は約 15%（平成 30 年）※とされている。感震ブレーカー設置率が現状よりも向上した場合の効果を推計した。

※南海トラフ地震防災対策推進地域内の「地震時等に著しく危険な密集市街地」における値
（住民への感震ブレーカー普及状況調査（H30 内閣府））



	感震ブレーカー設置率の向上			
	設置率 15%	設置率 25%	設置率 50%	設置率 100%
火災による 焼失棟数	約 732,000 棟	約 689,000 棟	約 583,000 棟	約 371,000 棟
火災による 死者数	約 14,000 人	約 13,000 人	約 11,000 人	約 6,300 人

※地震動は陸側ケース、冬・夕方発災、風速 8m/s

【参考】各都府県で全壊棟数が最大となるケースの要因別内訳

※冬・夕方

※地震動に対して堤防・水門が正常に機能した場合

(棟)

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	火災	合計	最大被災ケース		
							地震動ケース	津波ケース	風速
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10		ケース①	
栃木県	-	-	-	-	-	-			
群馬県	-	-	-	-	-	-			
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600	陸側	ケース①	8m
千葉県	-	約 50	約 1,800	-	約 10	約 1,800	陸側	ケース①	8m
東京都	-	約 800	約 900	-	約 100	約 1,900	陸側	ケース①	8m
神奈川県	約 10	約 1,000	約 2,700	約 10	約 100	約 3,800	基本	ケース①	8m
新潟県	-	-	-	-	-	-			
富山県	-	-	-	-	-	-			
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50	陸側		
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900	陸側		8m
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 800	約 5,800	陸側		8m
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000	陸側		8m
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 400	約 6,500	陸側		8m
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 29,000	約 600	約 78,000	約 260,000	基本	ケース①	8m
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 1,800	約 400	約 123,000	約 326,000	陸側	ケース①	8m
三重県	約 141,000	約 5,800	約 28,000	約 800	約 42,000	約 217,000	陸側	ケース①	8m
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 2,500	約 10,000	陸側		8m
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 56,000	約 67,000	陸側		8m
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 262,000	約 314,000	陸側	ケース③	8m
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 3,300	約 200	約 18,000	約 45,000	陸側	ケース③	8m
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 13,000	約 38,000	陸側		8m
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 48,000	約 600	約 37,000	約 171,000	陸側	ケース③	8m
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300	陸側		
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500	陸側		
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 10,000	約 29,000	陸側	ケース⑤	8m
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 400	約 24,000	陸側	ケース⑤	8m
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,800	約 50	約 30	約 5,800	陸側	ケース⑤	8m
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 16,000	約 500	約 21,000	約 119,000	陸側	ケース③	8m
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 10,000	約 45,000	陸側	ケース⑤	8m
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 15,000	約 400	約 49,000	約 168,000	陸側	ケース⑤	8m
高知県	約 147,000	約 1,200	約 52,000	約 1,100	約 21,000	約 223,000	陸側	ケース④	8m
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500	陸側	ケース④	8m
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20	陸側		
長崎県	-	約 10	約 700	-	-	約 700	陸側	ケース⑤	
熊本県	約 10	約 2,900	約 70	約 20	約 30	約 3,000	陸側	ケース⑤	8m
大分県	約 2,100	約 2,400	約 26,000	約 300	約 700	約 31,000	陸側	ケース⑤	8m
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 26,000	約 400	約 14,000	約 75,000	陸側	ケース⑤	8m
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 2,400	約 20	約 20	約 6,900	陸側	ケース⑤	8m
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50		ケース⑤	

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】都道府県別の全壊棟数

(1) 東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速）

(棟)

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 1,800	-	-	約 1,800
東京都	-	約 100	約 900	-	約 10	約 1,000
神奈川県	約 10	約 1,000	約 2,700	約 10	約 20	約 3,700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 29,000	約 600	約 19,000	約 201,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 2,100	約 200	約 5,300	約 81,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 33,000	約 700	約 2,800	約 103,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 30	約 40	約 100	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 1,400	約 40	約 50	約 8,100
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 17,000	約 500	約 1,300	約 72,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 50	約 50	約 20	約 5,100
広島県	-	約 6,800	約 4,000	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,400	-	-	約 3,000
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 3,500	約 400	約 5,300	約 58,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 500	約 40	約 20	約 6,300
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 40	約 28,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 21,000	約 1,000	約 6,200	約 116,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	約 200
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	-	約 1,400
大分県	約 200	約 2,200	約 13,000	約 70	約 10	約 15,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 23,000	約 400	約 60	約 36,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 800	約 20	-	約 4,700
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 480,000	約 102,000	約 168,000	約 4,600	約 40,000	約 795,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 1,800	-	-	約 1,800
東京都	-	約 100	約 900	-	約 10	約 1,000
神奈川県	約 10	約 1,000	約 2,700	約 10	約 20	約 3,700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 29,000	約 600	約 23,000	約 205,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 2,100	約 200	約 7,800	約 83,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 33,000	約 700	約 4,200	約 105,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 30	約 40	約 300	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 1,400	約 40	約 50	約 8,100
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 17,000	約 500	約 6,700	約 78,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 50	約 50	約 20	約 5,100
広島県	-	約 6,800	約 4,000	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,400	-	-	約 3,000
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 3,500	約 400	約 5,600	約 58,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 500	約 40	約 20	約 6,300
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 40	約 28,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 21,000	約 1,000	約 8,500	約 119,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	約 200
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	-	約 1,400
大分県	約 200	約 2,200	約 13,000	約 70	約 10	約 15,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 23,000	約 400	約 90	約 36,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 800	約 20	-	約 4,700
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 480,000	約 102,000	約 168,000	約 4,600	約 57,000	約 811,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏 12 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 1,800	-	-	約 1,800
東京都	-	約 100	約 900	-	約 30	約 1,100
神奈川県	約 10	約 1,000	約 2,700	約 10	約 30	約 3,800
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 29,000	約 600	約 25,000	約 208,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 2,100	約 200	約 7,400	約 83,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 33,000	約 700	約 3,800	約 104,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 30	約 40	約 100	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 1,400	約 40	約 60	約 8,200
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 17,000	約 500	約 4,100	約 75,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 50	約 50	約 20	約 5,100
広島県	-	約 6,800	約 4,000	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,400	-	-	約 3,000
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 3,500	約 400	約 6,700	約 59,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 500	約 40	約 20	約 6,300
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 50	約 28,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 21,000	約 1,000	約 7,900	約 118,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	約 200
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	約 10	約 1,400
大分県	約 200	約 2,200	約 13,000	約 70	約 10	約 15,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 23,000	約 400	約 70	約 36,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 800	約 20	-	約 4,700
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 480,000	約 102,000	約 168,000	約 4,600	約 56,000	約 810,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 1,800	-	-	約 1,800
東京都	-	約 100	約 900	-	約 30	約 1,100
神奈川県	約 10	約 1,000	約 2,700	約 10	約 30	約 3,800
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 29,000	約 600	約 29,000	約 211,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 2,100	約 200	約 9,400	約 85,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 33,000	約 700	約 5,500	約 106,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 30	約 40	約 900	約 18,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 1,400	約 40	約 60	約 8,200
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 17,000	約 500	約 9,400	約 80,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 50	約 50	約 20	約 5,100
広島県	-	約 6,800	約 4,000	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,400	-	-	約 3,000
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 3,500	約 400	約 6,900	約 60,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 500	約 40	約 20	約 6,300
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 50	約 28,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 21,000	約 1,000	約 10,000	約 120,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	約 200
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	約 10	約 1,400
大分県	約 200	約 2,200	約 13,000	約 70	約 10	約 15,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 23,000	約 400	約 400	約 37,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 800	約 20	-	約 4,700
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 480,000	約 102,000	約 168,000	約 4,600	約 72,000	約 827,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬 18 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 30	約 200
千葉県	-	約 20	約 1,800	-	-	約 1,800
東京都	-	約 100	約 900	-	約 80	約 1,100
神奈川県	約 10	約 1,000	約 2,700	約 10	約 100	約 3,800
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	約 10	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 70	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	約 10	約 600
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 50	約 3,800
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 29,000	約 600	約 73,000	約 256,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 2,100	約 200	約 41,000	約 116,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 33,000	約 700	約 18,000	約 118,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 50	約 2,400
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 200	約 2,200
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 30	約 40	約 56,000	約 72,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 1,400	約 40	約 300	約 8,400
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 100	約 6,600
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 17,000	約 500	約 28,000	約 98,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 50	約 50	約 80	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 4,000	約 10	約 30	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,400	-	-	約 3,000
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 3,500	約 400	約 18,000	約 70,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 500	約 40	約 200	約 6,400
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 200	約 28,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 21,000	約 1,000	約 20,000	約 130,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	約 200
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	約 30	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 13,000	約 70	約 40	約 15,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 23,000	約 400	約 5,600	約 42,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 800	約 20	約 20	約 4,800
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 480,000	約 102,000	約 168,000	約 4,600	約 260,000	約 1,015,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 30	約 200
千葉県	-	約 20	約 1,800	-	-	約 1,800
東京都	-	約 100	約 900	-	約 80	約 1,100
神奈川県	約 10	約 1,000	約 2,700	約 10	約 100	約 3,800
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	約 10	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 70	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	約 10	約 600
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 50	約 3,800
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 29,000	約 600	約 78,000	約 260,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 2,100	約 200	約 43,000	約 119,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 33,000	約 700	約 20,000	約 120,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 50	約 2,400
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 5,500	約 7,500
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 30	約 40	約 72,000	約 89,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 1,400	約 40	約 2,100	約 10,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 200	約 6,700
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 17,000	約 500	約 30,000	約 101,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 50	約 50	約 700	約 5,800
広島県	-	約 6,800	約 4,000	約 10	約 30	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,400	-	-	約 3,000
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 3,500	約 400	約 18,000	約 70,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 500	約 40	約 400	約 6,700
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 1,800	約 30,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 21,000	約 1,000	約 24,000	約 134,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	約 200
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	約 30	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 13,000	約 70	約 40	約 15,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 23,000	約 400	約 6,400	約 43,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 800	約 20	約 20	約 4,800
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 480,000	約 102,000	約 168,000	約 4,600	約 303,000	約 1,057,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 1,800	-	-	約 1,800
東京都	-	約 800	約 900	-	約 20	約 1,800
神奈川県	約 10	約 500	約 2,700	-	約 20	約 3,300
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 40
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 28,000	約 500	約 2,900	約 198,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 1,800	約 400	約 34,000	約 236,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 28,000	約 800	約 13,000	約 188,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 80	約 11,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 30	約 100	約 36,000	約 88,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 1,300	約 200	約 200	約 25,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 100	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 16,000	約 600	約 15,000	約 118,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 50	約 200	約 200	約 19,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,400	約 50	約 10	約 5,300
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 3,100	約 500	約 8,700	約 92,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 400	約 100	約 500	約 34,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 10,000	約 400	約 7,500	約 121,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 21,000	約 1,100	約 8,800	約 179,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 200	-	-	約 200
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 10	約 2,900
大分県	約 2,100	約 2,400	約 12,000	約 300	約 20	約 17,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 21,000	約 400	約 2,300	約 58,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 800	約 20	-	約 5,300
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 156,000	約 6,600	約 129,000	約 1,481,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 1,800	-	-	約 1,800
東京都	-	約 800	約 900	-	約 20	約 1,800
神奈川県	約 10	約 500	約 2,700	-	約 20	約 3,300
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 40
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 28,000	約 500	約 3,500	約 199,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 1,800	約 400	約 36,000	約 239,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 28,000	約 800	約 14,000	約 190,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 700	約 12,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 30	約 100	約 50,000	約 102,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 1,300	約 200	約 900	約 26,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 500	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 16,000	約 600	約 19,000	約 121,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 50	約 200	約 900	約 20,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,400	約 50	約 10	約 5,300
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 3,100	約 500	約 8,900	約 93,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 400	約 100	約 1,300	約 34,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 10,000	約 400	約 12,000	約 126,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 21,000	約 1,100	約 12,000	約 182,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 200	-	-	約 200
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 10	約 2,900
大分県	約 2,100	約 2,400	約 12,000	約 300	約 20	約 17,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 21,000	約 400	約 3,200	約 59,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 800	約 20	-	約 5,300
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 156,000	約 6,600	約 163,000	約 1,515,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 1,800	-	約 10	約 1,800
東京都	-	約 800	約 900	-	約 40	約 1,800
神奈川県	約 10	約 500	約 2,700	-	約 20	約 3,300
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 28,000	約 500	約 3,700	約 199,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 1,800	約 400	約 39,000	約 242,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 28,000	約 800	約 16,000	約 191,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 100	約 11,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 30	約 100	約 41,000	約 93,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 1,300	約 200	約 500	約 26,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 100	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 16,000	約 600	約 19,000	約 122,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 50	約 200	約 300	約 19,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 70	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,400	約 50	約 10	約 5,300
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 3,100	約 500	約 11,000	約 94,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 400	約 100	約 900	約 34,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 10,000	約 400	約 9,200	約 123,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 21,000	約 1,100	約 11,000	約 181,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 200	-	-	約 200
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 10	約 2,900
大分県	約 2,100	約 2,400	約 12,000	約 300	約 20	約 17,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 21,000	約 400	約 3,300	約 59,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 800	約 20	約 10	約 5,300
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 156,000	約 6,600	約 154,000	約 1,506,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 1,800	-	約 10	約 1,800
東京都	-	約 800	約 900	-	約 40	約 1,800
神奈川県	約 10	約 500	約 2,700	-	約 20	約 3,300
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 28,000	約 500	約 4,300	約 200,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 1,800	約 400	約 42,000	約 245,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 28,000	約 800	約 17,000	約 192,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 700	約 12,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 30	約 100	約 59,000	約 112,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 1,300	約 200	約 1,400	約 26,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 500	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 16,000	約 600	約 23,000	約 125,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 50	約 200	約 1,100	約 20,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 70	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,400	約 50	約 10	約 5,300
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 3,100	約 500	約 11,000	約 94,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 400	約 100	約 1,800	約 35,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 10,000	約 400	約 15,000	約 128,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 21,000	約 1,100	約 14,000	約 184,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 200	-	-	約 200
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 10	約 2,900
大分県	約 2,100	約 2,400	約 12,000	約 300	約 20	約 17,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 21,000	約 400	約 4,100	約 60,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 800	約 20	約 10	約 5,300
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 156,000	約 6,600	約 194,000	約 1,546,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬 18 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600
千葉県	-	約 50	約 1,800	-	約 10	約 1,800
東京都	-	約 800	約 900	-	約 100	約 1,900
神奈川県	約 10	約 500	約 2,700	-	約 90	約 3,400
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 200	約 5,300
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 300	約 6,400
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 28,000	約 500	約 28,000	約 223,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 1,800	約 400	約 123,000	約 326,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 28,000	約 800	約 41,000	約 217,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 1,000	約 9,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 46,000	約 57,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 30	約 100	約 243,000	約 295,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 1,300	約 200	約 13,000	約 38,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 6,700	約 33,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 16,000	約 600	約 44,000	約 146,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 50	約 200	約 7,700	約 27,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 300	約 24,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,400	約 50	約 30	約 5,400
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 3,100	約 500	約 23,000	約 107,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 400	約 100	約 8,800	約 42,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 10,000	約 400	約 39,000	約 153,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 21,000	約 1,100	約 22,000	約 192,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 200	-	-	約 200
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 30	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 12,000	約 300	約 300	約 17,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 21,000	約 400	約 13,000	約 69,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 800	約 20	約 20	約 5,300
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 156,000	約 6,600	約 660,000	約 2,012,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	約 10	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600
千葉県	-	約 50	約 1,800	-	約 10	約 1,800
東京都	-	約 800	約 900	-	約 100	約 1,900
神奈川県	約 10	約 500	約 2,700	-	約 90	約 3,400
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 800	約 5,800
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 400	約 6,500
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 28,000	約 500	約 35,000	約 230,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 1,800	約 400	約 123,000	約 326,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 28,000	約 800	約 42,000	約 217,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 2,500	約 10,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 56,000	約 67,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 30	約 100	約 262,000	約 314,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 1,300	約 200	約 18,000	約 43,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 13,000	約 38,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 16,000	約 600	約 45,000	約 148,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 50	約 200	約 10,000	約 29,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 400	約 24,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,400	約 50	約 30	約 5,400
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 3,100	約 500	約 23,000	約 107,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 400	約 100	約 10,000	約 43,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 10,000	約 400	約 50,000	約 163,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 21,000	約 1,100	約 26,000	約 197,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 200	-	-	約 200
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 30	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 12,000	約 300	約 700	約 18,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 21,000	約 400	約 14,000	約 70,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 800	約 20	約 20	約 5,300
沖縄県	-	-	約 50	-	-	約 50
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 156,000	約 6,600	約 732,000	約 2,084,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速）

(棟)

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 300	-	-	約 400
東京都	-	約 100	約 200	-	約 10	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 200	約 10	約 20	約 1,300
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 1,000	約 600	約 19,000	約 174,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 5,400	約 79,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 9,300	約 700	約 3,100	約 79,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 100	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 3,600	約 40	約 50	約 10,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 52,000	約 500	約 1,000	約 107,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 60	約 50	約 20	約 5,100
広島県	-	約 6,800	約 3,700	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,200	-	-	約 2,700
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 19,000	約 400	約 5,000	約 73,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 1,100	約 40	約 20	約 6,900
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 40	約 27,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 37,000	約 1,000	約 5,400	約 132,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 300	-	-	約 300
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	-	約 1,400
大分県	約 200	約 2,200	約 12,000	約 70	約 10	約 14,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 18,000	約 400	約 70	約 32,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 900	約 20	-	約 4,800
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 480,000	約 102,000	約 173,000	約 4,600	約 40,000	約 799,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 300	-	-	約 400
東京都	-	約 100	約 200	-	約 10	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 200	約 10	約 20	約 1,300
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 1,000	約 600	約 23,000	約 178,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 7,900	約 82,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 9,300	約 700	約 4,800	約 81,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 300	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 3,600	約 40	約 50	約 10,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 52,000	約 500	約 4,300	約 110,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 60	約 50	約 20	約 5,100
広島県	-	約 6,800	約 3,700	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,200	-	-	約 2,700
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 19,000	約 400	約 5,300	約 73,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 1,100	約 40	約 20	約 6,900
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 40	約 27,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 37,000	約 1,000	約 7,400	約 134,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 300	-	-	約 300
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	-	約 1,400
大分県	約 200	約 2,200	約 12,000	約 70	約 10	約 14,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 18,000	約 400	約 100	約 32,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 900	約 20	-	約 4,800
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 480,000	約 102,000	約 173,000	約 4,600	約 54,000	約 813,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 300	-	-	約 400
東京都	-	約 100	約 200	-	約 30	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 200	約 10	約 30	約 1,300
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 1,000	約 600	約 26,000	約 180,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 7,500	約 81,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 9,300	約 700	約 4,300	約 81,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 100	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 3,600	約 40	約 60	約 10,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 52,000	約 500	約 2,500	約 108,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 60	約 50	約 20	約 5,100
広島県	-	約 6,800	約 3,700	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,200	-	-	約 2,700
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 19,000	約 400	約 6,300	約 74,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 1,100	約 40	約 20	約 6,900
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 50	約 27,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 37,000	約 1,000	約 6,800	約 133,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 300	-	-	約 300
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	約 10	約 1,400
大分県	約 200	約 2,200	約 12,000	約 70	約 10	約 14,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 18,000	約 400	約 80	約 32,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 900	約 20	-	約 4,800
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 480,000	約 102,000	約 173,000	約 4,600	約 54,000	約 813,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 300	-	-	約 400
東京都	-	約 100	約 200	-	約 30	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 200	約 10	約 30	約 1,300
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 1,000	約 600	約 30,000	約 184,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 9,500	約 83,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 9,300	約 700	約 6,300	約 83,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 900	約 18,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 3,600	約 40	約 60	約 10,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 52,000	約 500	約 5,800	約 111,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 60	約 50	約 20	約 5,100
広島県	-	約 6,800	約 3,700	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,200	-	-	約 2,700
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 19,000	約 400	約 6,500	約 74,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 1,100	約 40	約 20	約 6,900
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 50	約 27,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 37,000	約 1,000	約 9,000	約 135,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 300	-	-	約 300
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	約 10	約 1,400
大分県	約 200	約 2,200	約 12,000	約 70	約 10	約 14,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 18,000	約 400	約 400	約 32,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 900	約 20	-	約 4,800
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 480,000	約 102,000	約 173,000	約 4,600	約 68,000	約 827,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 30	約 200
千葉県	-	約 20	約 300	-	-	約 400
東京都	-	約 100	約 200	-	約 80	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 200	約 10	約 100	約 1,400
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	約 10	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 70	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	約 10	約 600
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 50	約 3,800
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 1,000	約 600	約 75,000	約 229,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 41,000	約 115,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 9,300	約 700	約 20,000	約 96,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 50	約 2,400
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 200	約 2,200
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 56,000	約 73,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 3,600	約 40	約 300	約 10,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 100	約 6,600
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 52,000	約 500	約 21,000	約 127,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 60	約 50	約 80	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 3,700	約 10	約 30	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,200	-	-	約 2,700
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 19,000	約 400	約 17,000	約 85,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 1,100	約 40	約 200	約 7,000
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 200	約 27,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 37,000	約 1,000	約 17,000	約 143,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 300	-	-	約 300
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	約 30	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 12,000	約 70	約 40	約 14,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 18,000	約 400	約 5,600	約 37,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 900	約 20	約 20	約 4,800
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 480,000	約 102,000	約 173,000	約 4,600	約 253,000	約 1,012,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 30	約 200
千葉県	-	約 20	約 300	-	-	約 400
東京都	-	約 100	約 200	-	約 80	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 200	約 10	約 100	約 1,400
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	約 10	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 70	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	約 10	約 600
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 50	約 3,800
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 1,000	約 600	約 79,000	約 233,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 44,000	約 117,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 9,300	約 700	約 22,000	約 98,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 50	約 2,400
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 5,500	約 7,500
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 72,000	約 89,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 3,600	約 40	約 2,000	約 12,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 200	約 6,700
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 52,000	約 500	約 23,000	約 129,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 60	約 50	約 700	約 5,900
広島県	-	約 6,800	約 3,700	約 10	約 30	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,200	-	-	約 2,700
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 19,000	約 400	約 17,000	約 85,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 1,100	約 40	約 400	約 7,200
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 12,000	約 200	約 1,800	約 29,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 37,000	約 1,000	約 21,000	約 147,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 300	-	-	約 300
熊本県	-	約 1,400	約 20	約 10	約 30	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 12,000	約 70	約 40	約 14,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 18,000	約 400	約 6,500	約 38,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 900	約 20	約 20	約 4,800
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 480,000	約 102,000	約 173,000	約 4,600	約 295,000	約 1,054,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 300	-	-	約 400
東京都	-	約 800	約 200	-	約 20	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 200	-	約 20	約 800
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 40
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 1,100	約 500	約 3,000	約 171,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 200	約 400	約 34,000	約 235,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 7,500	約 800	約 14,000	約 169,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 80	約 11,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 36,000	約 89,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 3,300	約 200	約 200	約 27,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 100	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 48,000	約 600	約 13,000	約 147,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 60	約 200	約 200	約 19,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,600	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,200	約 50	約 10	約 5,100
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 16,000	約 500	約 8,300	約 105,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,000	約 100	約 500	約 34,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 9,600	約 400	約 7,500	約 120,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 35,000	約 1,100	約 7,900	約 192,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 400
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 300	-	-	約 300
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 10	約 2,900
大分県	約 2,100	約 2,400	約 11,000	約 300	約 20	約 16,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 17,000	約 400	約 2,400	約 54,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 900	約 20	-	約 5,300
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 157,000	約 6,600	約 127,000	約 1,480,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 300	-	-	約 400
東京都	-	約 800	約 200	-	約 20	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 200	-	約 20	約 800
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 40
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 1,100	約 500	約 3,500	約 172,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 200	約 400	約 36,000	約 237,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 7,500	約 800	約 16,000	約 171,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 700	約 12,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 50,000	約 103,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 3,300	約 200	約 800	約 28,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 500	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 48,000	約 600	約 15,000	約 149,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 60	約 200	約 900	約 20,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,600	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,200	約 50	約 10	約 5,100
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 16,000	約 500	約 8,400	約 106,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,000	約 100	約 1,300	約 35,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 9,600	約 400	約 12,000	約 125,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 35,000	約 1,100	約 10,000	約 194,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 400
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 300	-	-	約 300
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 10	約 2,900
大分県	約 2,100	約 2,400	約 11,000	約 300	約 20	約 16,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 17,000	約 400	約 3,200	約 55,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 900	約 20	-	約 5,300
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 157,000	約 6,600	約 159,000	約 1,512,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 300	-	約 10	約 400
東京都	-	約 800	約 200	-	約 40	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 200	-	約 20	約 800
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 1,100	約 500	約 3,800	約 172,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 200	約 400	約 39,000	約 240,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 7,500	約 800	約 17,000	約 172,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 100	約 11,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 41,000	約 94,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 3,300	約 200	約 500	約 27,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 100	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 48,000	約 600	約 16,000	約 150,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 60	約 200	約 300	約 19,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,600	約 300	約 70	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,200	約 50	約 10	約 5,100
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 16,000	約 500	約 10,000	約 107,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,000	約 100	約 900	約 35,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 9,600	約 400	約 9,200	約 122,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 35,000	約 1,100	約 9,500	約 193,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 400
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 300	-	-	約 300
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 10	約 2,900
大分県	約 2,100	約 2,400	約 11,000	約 300	約 20	約 16,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 17,000	約 400	約 3,300	約 55,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 900	約 20	約 10	約 5,300
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 157,000	約 6,600	約 151,000	約 1,504,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 300	-	約 10	約 400
東京都	-	約 800	約 200	-	約 40	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 200	-	約 20	約 800
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 1,100	約 500	約 4,400	約 173,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 200	約 400	約 42,000	約 243,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 7,500	約 800	約 18,000	約 174,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 700	約 12,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 59,000	約 112,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 3,300	約 200	約 1,400	約 28,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 500	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 48,000	約 600	約 18,000	約 152,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 60	約 200	約 1,100	約 20,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,600	約 300	約 70	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,200	約 50	約 10	約 5,100
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 16,000	約 500	約 10,000	約 107,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,000	約 100	約 1,800	約 35,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 9,600	約 400	約 15,000	約 127,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 35,000	約 1,100	約 12,000	約 196,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 400
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 300	-	-	約 300
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 10	約 2,900
大分県	約 2,100	約 2,400	約 11,000	約 300	約 20	約 16,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 17,000	約 400	約 4,100	約 56,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 900	約 20	約 10	約 5,300
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 157,000	約 6,600	約 189,000	約 1,542,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600
千葉県	-	約 50	約 300	-	約 10	約 400
東京都	-	約 800	約 200	-	約 100	約 1,200
神奈川県	約 10	約 500	約 200	-	約 90	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 200	約 5,300
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 300	約 6,400
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 1,100	約 500	約 28,000	約 196,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 200	約 400	約 123,000	約 324,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 7,500	約 800	約 44,000	約 199,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 1,000	約 9,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 46,000	約 57,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 243,000	約 296,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 3,300	約 200	約 12,000	約 39,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 6,700	約 33,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 48,000	約 600	約 36,000	約 170,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 60	約 200	約 7,700	約 27,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,600	約 300	約 300	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,200	約 50	約 30	約 5,100
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 16,000	約 500	約 22,000	約 119,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,000	約 100	約 8,800	約 42,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 9,600	約 400	約 39,000	約 152,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 35,000	約 1,100	約 20,000	約 204,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 300	-	-	約 300
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 30	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 11,000	約 300	約 300	約 16,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 17,000	約 400	約 14,000	約 66,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 900	約 20	約 20	約 5,400
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 157,000	約 6,600	約 652,000	約 2,006,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600
千葉県	-	約 50	約 300	-	約 10	約 400
東京都	-	約 800	約 200	-	約 100	約 1,200
神奈川県	約 10	約 500	約 200	-	約 90	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 800	約 5,800
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 400	約 6,500
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 1,100	約 500	約 36,000	約 204,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 200	約 400	約 123,000	約 324,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 7,500	約 800	約 45,000	約 200,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 2,500	約 10,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 56,000	約 67,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 262,000	約 314,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 3,300	約 200	約 18,000	約 45,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 13,000	約 38,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 48,000	約 600	約 37,000	約 171,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 60	約 200	約 10,000	約 29,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,600	約 300	約 400	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,200	約 50	約 30	約 5,100
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 16,000	約 500	約 21,000	約 119,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,000	約 100	約 10,000	約 44,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 9,600	約 400	約 50,000	約 163,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 35,000	約 1,100	約 24,000	約 208,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 300	-	-	約 300
熊本県	約 10	約 2,900	約 20	約 20	約 30	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 11,000	約 300	約 700	約 17,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 17,000	約 400	約 14,000	約 66,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 900	約 20	約 20	約 5,400
沖縄県	-	-	約 40	-	-	約 40
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 157,000	約 6,600	約 724,000	約 2,077,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速）

(棟)

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 100	約 300	-	約 10	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 80	約 10	約 20	約 1,100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 19,000	約 173,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 5,400	約 79,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 5,800	約 700	約 3,100	約 76,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 100	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,800	約 40	約 50	約 9,500
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 25,000	約 500	約 1,200	約 80,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 20	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 3,800	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,500	-	-	約 3,100
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 13,000	約 400	約 5,200	約 67,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 20	約 7,700
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 13,000	約 200	約 40	約 29,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 57,000	約 1,000	約 4,900	約 151,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 500	-	-	約 500
熊本県	-	約 1,400	約 50	約 10	-	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 16,000	約 70	約 10	約 19,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 13,000	約 400	約 70	約 27,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 1,600	約 20	-	約 5,500
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 480,000	約 102,000	約 158,000	約 4,600	約 39,000	約 783,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 100	約 300	-	約 10	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 80	約 10	約 20	約 1,100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 23,000	約 177,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 7,900	約 81,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 5,800	約 700	約 4,900	約 78,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 300	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,800	約 40	約 50	約 9,500
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 25,000	約 500	約 6,100	約 84,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 20	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 3,800	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,500	-	-	約 3,100
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 13,000	約 400	約 5,500	約 68,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 20	約 7,700
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 13,000	約 200	約 40	約 29,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 57,000	約 1,000	約 6,700	約 153,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 500	-	-	約 500
熊本県	-	約 1,400	約 50	約 10	-	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 16,000	約 70	約 10	約 19,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 13,000	約 400	約 100	約 27,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 1,600	約 20	-	約 5,500
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 480,000	約 102,000	約 158,000	約 4,600	約 55,000	約 799,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 100	約 300	-	約 30	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 80	約 10	約 30	約 1,100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 26,000	約 180,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 7,500	約 81,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 5,800	約 700	約 4,300	約 77,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 100	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,800	約 40	約 60	約 9,500
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 25,000	約 500	約 3,700	約 82,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 20	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 3,800	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,500	-	-	約 3,100
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 13,000	約 400	約 6,500	約 69,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 20	約 7,700
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 13,000	約 200	約 50	約 29,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 57,000	約 1,000	約 6,200	約 152,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 500	-	-	約 500
熊本県	-	約 1,400	約 50	約 10	約 10	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 16,000	約 70	約 10	約 19,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 13,000	約 400	約 80	約 27,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 1,600	約 20	-	約 5,500
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 480,000	約 102,000	約 158,000	約 4,600	約 54,000	約 798,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 100	約 300	-	約 30	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 80	約 10	約 30	約 1,100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 30,000	約 184,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 9,500	約 83,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 5,800	約 700	約 6,500	約 79,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 900	約 18,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,800	約 40	約 60	約 9,500
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 25,000	約 500	約 8,500	約 87,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 20	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 3,800	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,500	-	-	約 3,100
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 13,000	約 400	約 6,700	約 69,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 20	約 7,700
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 13,000	約 200	約 50	約 29,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 57,000	約 1,000	約 8,100	約 154,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 500	-	-	約 500
熊本県	-	約 1,400	約 50	約 10	約 10	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 16,000	約 70	約 10	約 19,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 13,000	約 400	約 400	約 27,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 1,600	約 20	-	約 5,500
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 480,000	約 102,000	約 158,000	約 4,600	約 70,000	約 814,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 30	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 100	約 300	-	約 80	約 500
神奈川県	約 10	約 1,000	約 80	約 10	約 100	約 1,200
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	約 10	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 70	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	約 10	約 600
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 50	約 3,800
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 75,000	約 229,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 41,000	約 115,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 5,800	約 700	約 20,000	約 93,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 50	約 2,400
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 200	約 2,200
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 56,000	約 73,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,800	約 40	約 300	約 9,800
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 100	約 6,600
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 25,000	約 500	約 26,000	約 104,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 80	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 3,800	約 10	約 30	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,500	-	-	約 3,100
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 13,000	約 400	約 17,000	約 79,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 200	約 7,900
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 13,000	約 200	約 200	約 29,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 57,000	約 1,000	約 15,000	約 161,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 500	-	-	約 500
熊本県	-	約 1,400	約 50	約 10	約 30	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 16,000	約 70	約 40	約 19,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 13,000	約 400	約 5,600	約 33,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 1,600	約 20	約 20	約 5,500
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 480,000	約 102,000	約 158,000	約 4,600	約 257,000	約 1,001,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 30	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 100	約 300	-	約 80	約 500
神奈川県	約 10	約 1,000	約 80	約 10	約 100	約 1,200
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	約 10	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 70	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	約 10	約 600
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 50	約 3,800
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 79,000	約 233,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 44,000	約 117,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 5,800	約 700	約 22,000	約 95,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 50	約 2,400
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 5,500	約 7,500
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 400	約 40	約 72,000	約 89,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,800	約 40	約 2,000	約 12,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 200	約 6,700
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 25,000	約 500	約 28,000	約 107,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 700	約 5,900
広島県	-	約 6,800	約 3,800	約 10	約 30	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,500	-	-	約 3,100
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 13,000	約 400	約 17,000	約 79,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 400	約 8,100
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 13,000	約 200	約 1,800	約 30,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 57,000	約 1,000	約 18,000	約 164,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 500	-	-	約 500
熊本県	-	約 1,400	約 50	約 10	約 30	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 16,000	約 70	約 40	約 19,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 13,000	約 400	約 6,500	約 33,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 1,600	約 20	約 20	約 5,500
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 480,000	約 102,000	約 158,000	約 4,600	約 299,000	約 1,043,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 800	約 300	-	約 20	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 80	-	約 20	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 40
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 600	約 500	約 3,000	約 171,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 34,000	約 235,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 4,700	約 800	約 14,000	約 166,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 80	約 11,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 36,000	約 88,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,600	約 200	約 200	約 26,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 100	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 22,000	約 600	約 14,000	約 123,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 200	約 19,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,700	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,500	約 50	約 10	約 5,400
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 12,000	約 500	約 8,500	約 101,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 500	約 35,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 11,000	約 400	約 7,500	約 122,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 52,000	約 1,100	約 7,200	約 209,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 500	-	-	約 500
熊本県	約 10	約 2,900	約 50	約 20	約 10	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 16,000	約 300	約 20	約 21,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 13,000	約 400	約 2,400	約 50,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 1,600	約 20	-	約 6,000
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 144,000	約 6,600	約 128,000	約 1,468,000

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 800	約 300	-	約 20	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 80	-	約 20	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 40
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 600	約 500	約 3,500	約 171,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 36,000	約 237,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 4,700	約 800	約 16,000	約 168,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 700	約 12,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 50,000	約 103,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,600	約 200	約 900	約 27,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 500	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 22,000	約 600	約 18,000	約 126,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 900	約 20,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,700	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,500	約 50	約 10	約 5,400
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 12,000	約 500	約 8,700	約 101,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 1,300	約 36,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 11,000	約 400	約 12,000	約 127,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 52,000	約 1,100	約 9,400	約 211,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 500	-	-	約 500
熊本県	約 10	約 2,900	約 50	約 20	約 10	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 16,000	約 300	約 20	約 21,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 13,000	約 400	約 3,300	約 51,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 1,600	約 20	-	約 6,000
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 144,000	約 6,600	約 161,000	約 1,501,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	約 10	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 40	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 80	-	約 20	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 600	約 500	約 3,800	約 171,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 39,000	約 240,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 4,700	約 800	約 17,000	約 169,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 100	約 11,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 41,000	約 94,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,600	約 200	約 500	約 27,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 100	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 22,000	約 600	約 18,000	約 127,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 300	約 19,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,700	約 300	約 70	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,500	約 50	約 10	約 5,400
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 12,000	約 500	約 10,000	約 103,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 900	約 35,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 11,000	約 400	約 9,200	約 123,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 52,000	約 1,100	約 8,700	約 210,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 500	-	-	約 500
熊本県	約 10	約 2,900	約 50	約 20	約 10	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 16,000	約 300	約 20	約 21,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 13,000	約 400	約 3,300	約 51,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 1,600	約 20	約 10	約 6,000
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 144,000	約 6,600	約 153,000	約 1,493,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	約 10	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 40	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 80	-	約 20	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 600	約 500	約 4,400	約 172,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 42,000	約 243,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 4,700	約 800	約 19,000	約 171,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 700	約 12,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 59,000	約 112,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,600	約 200	約 1,400	約 28,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 500	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 22,000	約 600	約 21,000	約 130,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 1,100	約 20,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,700	約 300	約 70	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,500	約 50	約 10	約 5,400
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 12,000	約 500	約 10,000	約 103,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 1,800	約 36,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 11,000	約 400	約 15,000	約 129,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 52,000	約 1,100	約 11,000	約 212,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 500	-	-	約 500
熊本県	約 10	約 2,900	約 50	約 20	約 10	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 16,000	約 300	約 20	約 21,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 13,000	約 400	約 4,200	約 52,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 1,600	約 20	約 10	約 6,000
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 144,000	約 6,600	約 192,000	約 1,532,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	約 10	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 100	約 1,200
神奈川県	約 10	約 500	約 80	-	約 90	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 200	約 5,300
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 300	約 6,400
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 600	約 500	約 28,000	約 196,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 123,000	約 324,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 4,700	約 800	約 44,000	約 197,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 1,000	約 9,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 46,000	約 57,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 243,000	約 296,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,600	約 200	約 12,000	約 39,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 6,700	約 33,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 22,000	約 600	約 41,000	約 150,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 7,700	約 27,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,700	約 300	約 300	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,500	約 50	約 30	約 5,400
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 12,000	約 500	約 22,000	約 115,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 8,800	約 43,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 11,000	約 400	約 39,000	約 153,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 52,000	約 1,100	約 18,000	約 219,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 500	-	-	約 500
熊本県	約 10	約 2,900	約 50	約 20	約 30	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 16,000	約 300	約 300	約 21,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 13,000	約 400	約 14,000	約 61,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 1,600	約 20	約 20	約 6,100
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 144,000	約 6,600	約 657,000	約 1,997,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	約 10	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 100	約 1,200
神奈川県	約 10	約 500	約 80	-	約 90	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 800	約 5,800
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 400	約 6,500
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 600	約 500	約 36,000	約 203,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 123,000	約 324,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 4,700	約 800	約 45,000	約 198,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 2,500	約 10,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 56,000	約 67,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 400	約 100	約 262,000	約 314,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,600	約 200	約 18,000	約 44,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 13,000	約 38,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 22,000	約 600	約 43,000	約 151,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 10,000	約 29,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,700	約 300	約 400	約 24,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,500	約 50	約 30	約 5,400
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 12,000	約 500	約 22,000	約 114,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 10,000	約 45,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 11,000	約 400	約 50,000	約 164,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 52,000	約 1,100	約 21,000	約 223,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 500	-	-	約 500
熊本県	約 10	約 2,900	約 50	約 20	約 30	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 16,000	約 300	約 700	約 22,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 13,000	約 400	約 15,000	約 62,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 1,600	約 20	約 20	約 6,100
沖縄県	-	-	約 60	-	-	約 60
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 144,000	約 6,600	約 728,000	約 2,069,000

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速）

(棟)

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 100	約 300	-	約 10	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 90	約 10	約 20	約 1,100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 19,000	約 173,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 5,400	約 79,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 7,300	約 700	約 3,100	約 77,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 200	約 40	約 100	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,500	約 40	約 50	約 9,200
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 28,000	約 500	約 1,200	約 82,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 20	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 4,100	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,800	-	-	約 3,400
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 9,100	約 400	約 5,200	約 63,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 20	約 7,700
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 18,000	約 200	約 40	約 34,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 54,000	約 1,000	約 5,000	約 148,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 700	-	-	約 700
熊本県	-	約 1,400	約 70	約 10	-	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 26,000	約 70	約 10	約 29,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 28,000	約 400	約 60	約 41,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 2,400	約 20	-	約 6,300
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 480,000	約 102,000	約 185,000	約 4,600	約 40,000	約 811,000

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 200
東京都	-	約 100	約 300	-	約 10	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 90	約 10	約 20	約 1,100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 23,000	約 177,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 7,900	約 81,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 7,300	約 700	約 4,900	約 79,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 200	約 40	約 300	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,500	約 40	約 50	約 9,200
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 28,000	約 500	約 6,300	約 87,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 20	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 4,100	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,800	-	-	約 3,400
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 9,100	約 400	約 5,500	約 64,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 20	約 7,700
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 18,000	約 200	約 40	約 34,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 54,000	約 1,000	約 6,900	約 150,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 700	-	-	約 700
熊本県	-	約 1,400	約 70	約 10	-	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 26,000	約 70	約 10	約 29,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 28,000	約 400	約 90	約 41,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 2,400	約 20	-	約 6,300
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 480,000	約 102,000	約 185,000	約 4,600	約 55,000	約 827,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 300
東京都	-	約 100	約 300	-	約 30	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 90	約 10	約 30	約 1,100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 26,000	約 180,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 7,500	約 81,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 7,300	約 700	約 4,300	約 78,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 200	約 40	約 100	約 17,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,500	約 40	約 60	約 9,200
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 28,000	約 500	約 3,900	約 85,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 20	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 4,100	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,800	-	-	約 3,400
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 9,100	約 400	約 6,600	約 65,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 20	約 7,800
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 18,000	約 200	約 50	約 34,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 54,000	約 1,000	約 6,300	約 149,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 700	-	-	約 700
熊本県	-	約 1,400	約 70	約 10	約 10	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 26,000	約 70	約 10	約 29,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 28,000	約 400	約 70	約 41,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 2,400	約 20	-	約 6,300
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 480,000	約 102,000	約 185,000	約 4,600	約 55,000	約 826,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏12時、風速8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 10	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 300
東京都	-	約 100	約 300	-	約 30	約 400
神奈川県	約 10	約 1,000	約 90	約 10	約 30	約 1,100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 20	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	-	約 500
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 10	約 3,700
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 30,000	約 183,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 9,500	約 83,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 7,300	約 700	約 6,400	約 81,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 10	約 2,300
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 20	約 2,000
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 200	約 40	約 900	約 18,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,500	約 40	約 60	約 9,200
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 20	約 6,500
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 28,000	約 500	約 8,800	約 90,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 20	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 4,100	約 10	約 10	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,800	-	-	約 3,400
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 9,100	約 400	約 6,800	約 65,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 20	約 7,800
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 18,000	約 200	約 50	約 34,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 54,000	約 1,000	約 8,300	約 151,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 700	-	-	約 700
熊本県	-	約 1,400	約 70	約 10	約 10	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 26,000	約 70	約 10	約 29,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 28,000	約 400	約 400	約 42,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 2,400	約 20	-	約 6,300
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 480,000	約 102,000	約 185,000	約 4,600	約 71,000	約 842,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬18時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 30	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 300
東京都	-	約 100	約 300	-	約 80	約 500
神奈川県	約 10	約 1,000	約 90	約 10	約 100	約 1,200
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	約 10	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 70	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	約 10	約 600
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 50	約 3,800
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 75,000	約 229,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 41,000	約 115,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 7,300	約 700	約 20,000	約 94,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 50	約 2,400
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 200	約 2,200
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 200	約 40	約 56,000	約 73,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,500	約 40	約 300	約 9,400
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 100	約 6,600
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 28,000	約 500	約 26,000	約 107,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 80	約 5,200
広島県	-	約 6,800	約 4,100	約 10	約 30	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,800	-	-	約 3,400
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 9,100	約 400	約 17,000	約 76,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 200	約 7,900
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 18,000	約 200	約 200	約 34,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 54,000	約 1,000	約 16,000	約 158,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 700	-	-	約 700
熊本県	-	約 1,400	約 70	約 10	約 30	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 26,000	約 70	約 30	約 29,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 28,000	約 400	約 5,600	約 47,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 2,400	約 20	約 20	約 6,400
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 480,000	約 102,000	約 185,000	約 4,600	約 258,000	約 1,029,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 200	-	-	約 30	約 200
千葉県	-	約 20	約 200	-	-	約 300
東京都	-	約 100	約 300	-	約 80	約 500
神奈川県	約 10	約 1,000	約 90	約 10	約 100	約 1,200
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	約 1,100	-	-	約 10	約 1,100
山梨県	約 3,100	約 600	-	約 90	約 70	約 3,800
長野県	-	約 500	-	-	約 10	約 600
岐阜県	約 500	約 3,200	-	-	約 50	約 3,800
静岡県	約 149,000	約 3,700	約 500	約 600	約 79,000	約 233,000
愛知県	約 56,000	約 18,000	約 200	約 200	約 44,000	約 117,000
三重県	約 61,000	約 5,700	約 7,300	約 700	約 22,000	約 96,000
滋賀県	約 100	約 2,200	-	約 20	約 50	約 2,400
京都府	約 200	約 1,800	-	-	約 5,500	約 7,500
大阪府	約 3,600	約 13,000	約 200	約 40	約 72,000	約 89,000
兵庫県	約 3,900	約 2,700	約 2,500	約 40	約 2,000	約 11,000
奈良県	約 1,600	約 4,800	-	約 100	約 200	約 6,700
和歌山県	約 48,000	約 4,500	約 28,000	約 500	約 29,000	約 110,000
鳥取県	-	約 10	-	-	-	約 10
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 700	約 4,300	約 80	約 50	約 700	約 5,900
広島県	-	約 6,800	約 4,100	約 10	約 30	約 11,000
山口県	-	約 1,500	約 1,800	-	-	約 3,400
徳島県	約 45,000	約 3,800	約 9,100	約 400	約 17,000	約 76,000
香川県	約 1,800	約 3,900	約 2,000	約 40	約 400	約 8,100
愛媛県	約 9,400	約 6,100	約 18,000	約 200	約 1,700	約 35,000
高知県	約 87,000	約 1,200	約 54,000	約 1,000	約 19,000	約 162,000
福岡県	-	-	約 200	-	-	約 200
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 700	-	-	約 700
熊本県	-	約 1,400	約 70	約 10	約 30	約 1,500
大分県	約 200	約 2,200	約 26,000	約 70	約 30	約 29,000
宮崎県	約 9,500	約 3,600	約 28,000	約 400	約 6,400	約 48,000
鹿児島県	約 30	約 3,900	約 2,400	約 20	約 20	約 6,400
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 480,000	約 102,000	約 185,000	約 4,600	約 300,000	約 1,071,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	-	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 20	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 90	-	約 20	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 40
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 500	約 500	約 3,000	約 171,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 34,000	約 235,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 6,000	約 800	約 14,000	約 167,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 80	約 11,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 200	約 100	約 36,000	約 88,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,200	約 200	約 200	約 26,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 100	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 25,000	約 600	約 15,000	約 126,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 200	約 19,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,800	約 50	約 10	約 5,700
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 7,900	約 500	約 8,600	約 97,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 500	約 35,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 15,000	約 400	約 7,500	約 126,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 48,000	約 1,100	約 7,200	約 205,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 700	-	-	約 700
熊本県	約 10	約 2,900	約 70	約 20	約 10	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 26,000	約 300	約 20	約 31,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 26,000	約 400	約 2,400	約 63,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 2,400	約 20	-	約 6,900
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 169,000	約 6,600	約 128,000	約 1,493,000

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	-	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 20	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 90	-	約 20	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 40
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 500	約 500	約 3,500	約 171,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 36,000	約 237,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 6,000	約 800	約 16,000	約 169,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 700	約 12,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 200	約 100	約 50,000	約 102,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,200	約 200	約 900	約 27,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 500	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 25,000	約 600	約 18,000	約 129,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 900	約 20,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,800	約 50	約 10	約 5,700
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 7,900	約 500	約 8,700	約 97,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 1,300	約 36,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 15,000	約 400	約 12,000	約 131,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 48,000	約 1,100	約 9,500	約 207,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 700	-	-	約 700
熊本県	約 10	約 2,900	約 70	約 20	約 10	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 26,000	約 300	約 20	約 31,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 26,000	約 400	約 3,200	約 64,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 2,400	約 20	-	約 6,900
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 169,000	約 6,600	約 161,000	約 1,527,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	約 10	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 40	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 90	-	約 20	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 500	約 500	約 3,800	約 171,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 39,000	約 240,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 6,000	約 800	約 17,000	約 170,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 100	約 11,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 200	約 100	約 41,000	約 93,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,200	約 200	約 500	約 26,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 100	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 25,000	約 600	約 18,000	約 130,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 300	約 19,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 70	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,800	約 50	約 10	約 5,700
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 7,900	約 500	約 10,000	約 99,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 900	約 35,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 15,000	約 400	約 9,200	約 128,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 48,000	約 1,100	約 8,700	約 207,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 700	-	-	約 700
熊本県	約 10	約 2,900	約 70	約 20	約 10	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 26,000	約 300	約 20	約 31,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 26,000	約 400	約 3,300	約 64,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 2,400	約 20	約 10	約 6,900
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 169,000	約 6,600	約 153,000	約 1,518,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏12時、風速8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 10	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	約 10	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 40	約 1,100
神奈川県	約 10	約 500	約 90	-	約 20	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	-	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 30	約 5,100
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 10	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 30	約 6,200
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 500	約 500	約 4,400	約 172,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 42,000	約 243,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 6,000	約 800	約 19,000	約 172,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 50	約 8,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 700	約 12,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 200	約 100	約 59,000	約 112,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,200	約 200	約 1,400	約 27,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 500	約 26,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 25,000	約 600	約 21,000	約 133,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 1,100	約 20,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 70	約 23,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,800	約 50	約 10	約 5,700
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 7,900	約 500	約 11,000	約 99,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 1,800	約 36,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 15,000	約 400	約 15,000	約 133,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 48,000	約 1,100	約 11,000	約 209,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	-	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 700	-	-	約 700
熊本県	約 10	約 2,900	約 70	約 20	約 10	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 26,000	約 300	約 20	約 31,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 26,000	約 400	約 4,100	約 65,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 2,400	約 20	約 10	約 6,900
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 169,000	約 6,600	約 192,000	約 1,557,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	約 10	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 100	約 1,200
神奈川県	約 10	約 500	約 90	-	約 90	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 200	約 5,300
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 300	約 6,400
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 500	約 500	約 28,000	約 196,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 123,000	約 324,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 6,000	約 800	約 44,000	約 198,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 1,000	約 9,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 46,000	約 57,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 200	約 100	約 243,000	約 295,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,200	約 200	約 13,000	約 38,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 6,700	約 33,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 25,000	約 600	約 42,000	約 153,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 7,700	約 27,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 300	約 24,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,800	約 50	約 30	約 5,700
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 7,900	約 500	約 23,000	約 111,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 8,800	約 43,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 15,000	約 400	約 39,000	約 158,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 48,000	約 1,100	約 18,000	約 216,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 700	-	-	約 700
熊本県	約 10	約 2,900	約 70	約 20	約 30	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 26,000	約 300	約 300	約 31,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 26,000	約 400	約 13,000	約 74,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 2,400	約 20	約 20	約 6,900
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 169,000	約 6,600	約 657,000	約 2,022,000

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

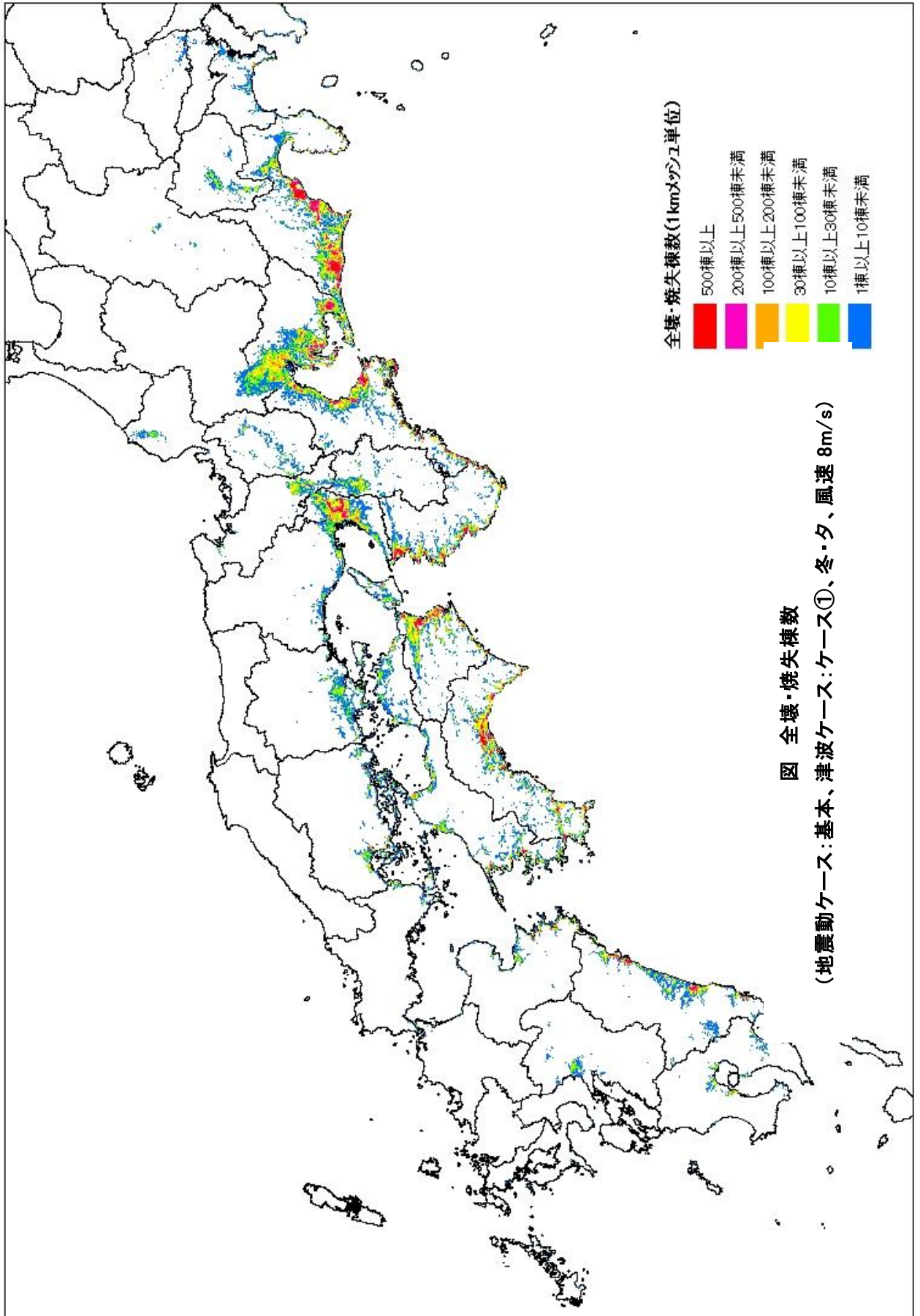
全壊棟数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s）

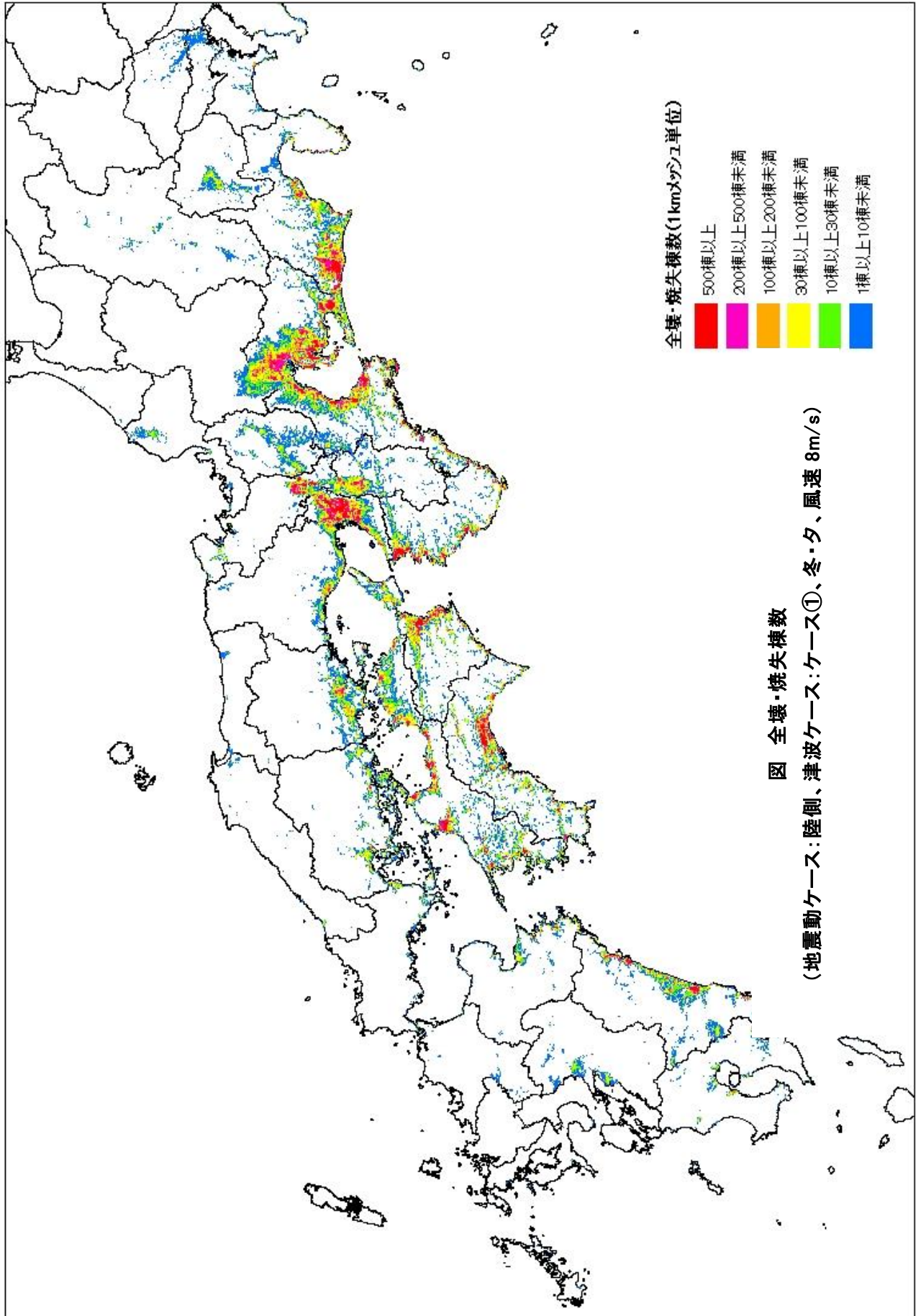
（棟）

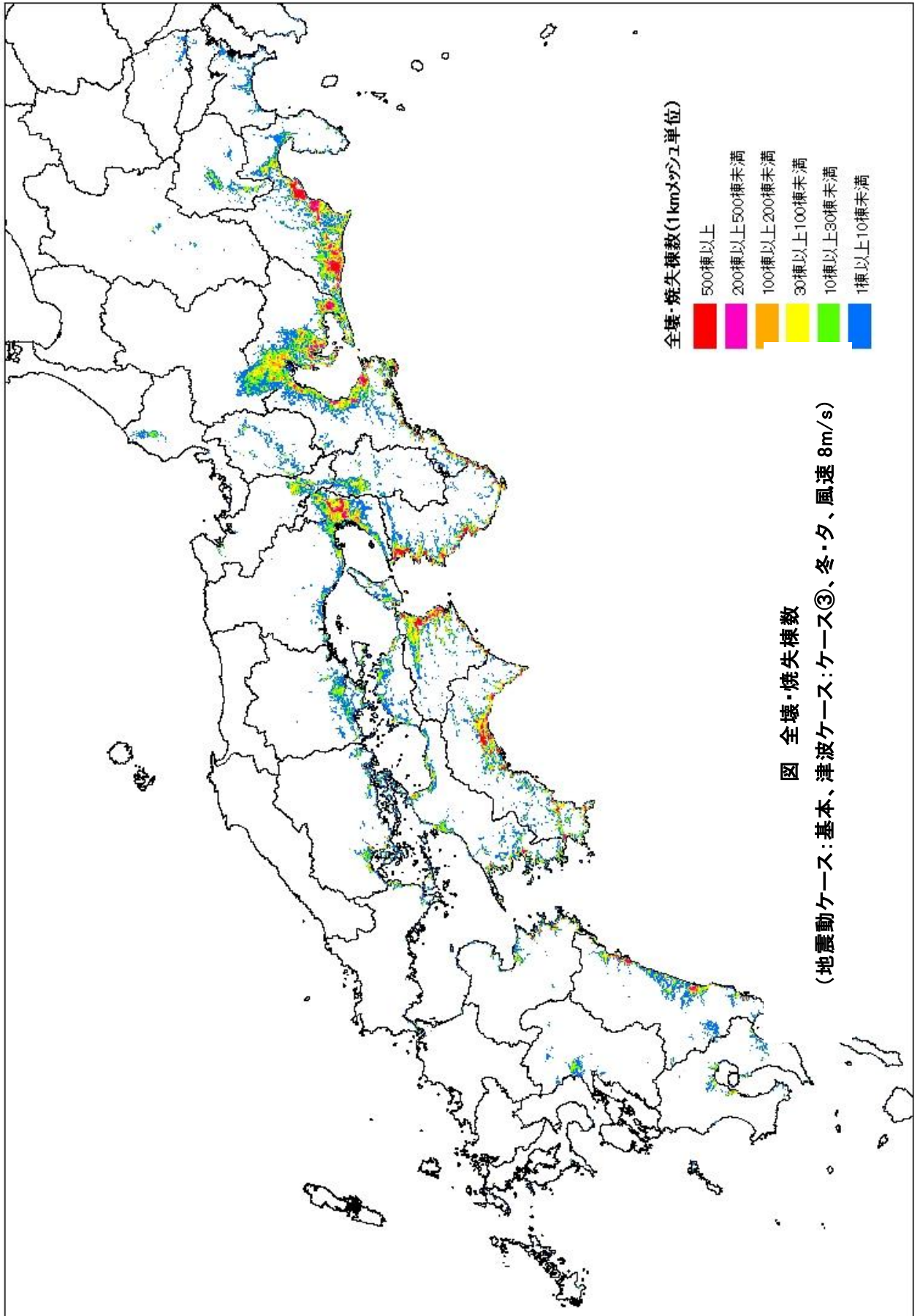
	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	約 600	-	-	約 50	約 600
千葉県	-	約 50	約 200	-	約 10	約 300
東京都	-	約 800	約 300	-	約 100	約 1,200
神奈川県	約 10	約 500	約 90	-	約 90	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	約 40	-	-	-	約 50
福井県	-	約 1,900	-	約 10	約 10	約 1,900
山梨県	約 4,300	約 600	-	約 100	約 800	約 5,800
長野県	約 500	約 1,400	-	約 80	約 40	約 2,000
岐阜県	約 2,700	約 3,400	-	約 20	約 400	約 6,500
静岡県	約 163,000	約 3,600	約 500	約 500	約 36,000	約 203,000
愛知県	約 183,000	約 18,000	約 100	約 400	約 123,000	約 324,000
三重県	約 141,000	約 5,800	約 6,000	約 800	約 45,000	約 199,000
滋賀県	約 5,500	約 2,400	-	約 70	約 2,500	約 10,000
京都府	約 7,500	約 3,400	-	約 30	約 56,000	約 67,000
大阪府	約 38,000	約 14,000	約 200	約 100	約 262,000	約 314,000
兵庫県	約 20,000	約 3,100	約 2,200	約 200	約 18,000	約 44,000
奈良県	約 21,000	約 4,900	-	約 200	約 13,000	約 38,000
和歌山県	約 81,000	約 4,500	約 25,000	約 600	約 43,000	約 154,000
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500
岡山県	約 14,000	約 5,000	約 80	約 200	約 10,000	約 29,000
広島県	約 7,800	約 11,000	約 3,900	約 300	約 400	約 24,000
山口県	約 1,000	約 2,900	約 1,800	約 50	約 30	約 5,800
徳島県	約 76,000	約 3,800	約 7,900	約 500	約 22,000	約 111,000
香川県	約 28,000	約 4,100	約 1,800	約 100	約 10,000	約 45,000
愛媛県	約 96,000	約 6,800	約 15,000	約 400	約 49,000	約 168,000
高知県	約 147,000	約 1,200	約 48,000	約 1,100	約 22,000	約 219,000
福岡県	-	約 200	約 200	-	約 10	約 500
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20
長崎県	-	約 10	約 700	-	-	約 700
熊本県	約 10	約 2,900	約 70	約 20	約 30	約 3,000
大分県	約 2,100	約 2,400	約 26,000	約 300	約 700	約 31,000
宮崎県	約 31,000	約 3,700	約 26,000	約 400	約 14,000	約 75,000
鹿児島県	約 80	約 4,400	約 2,400	約 20	約 20	約 6,900
沖縄県	-	-	約 90	-	-	約 90
合計	約 1,071,000	約 119,000	約 169,000	約 6,600	約 729,000	約 2,094,000

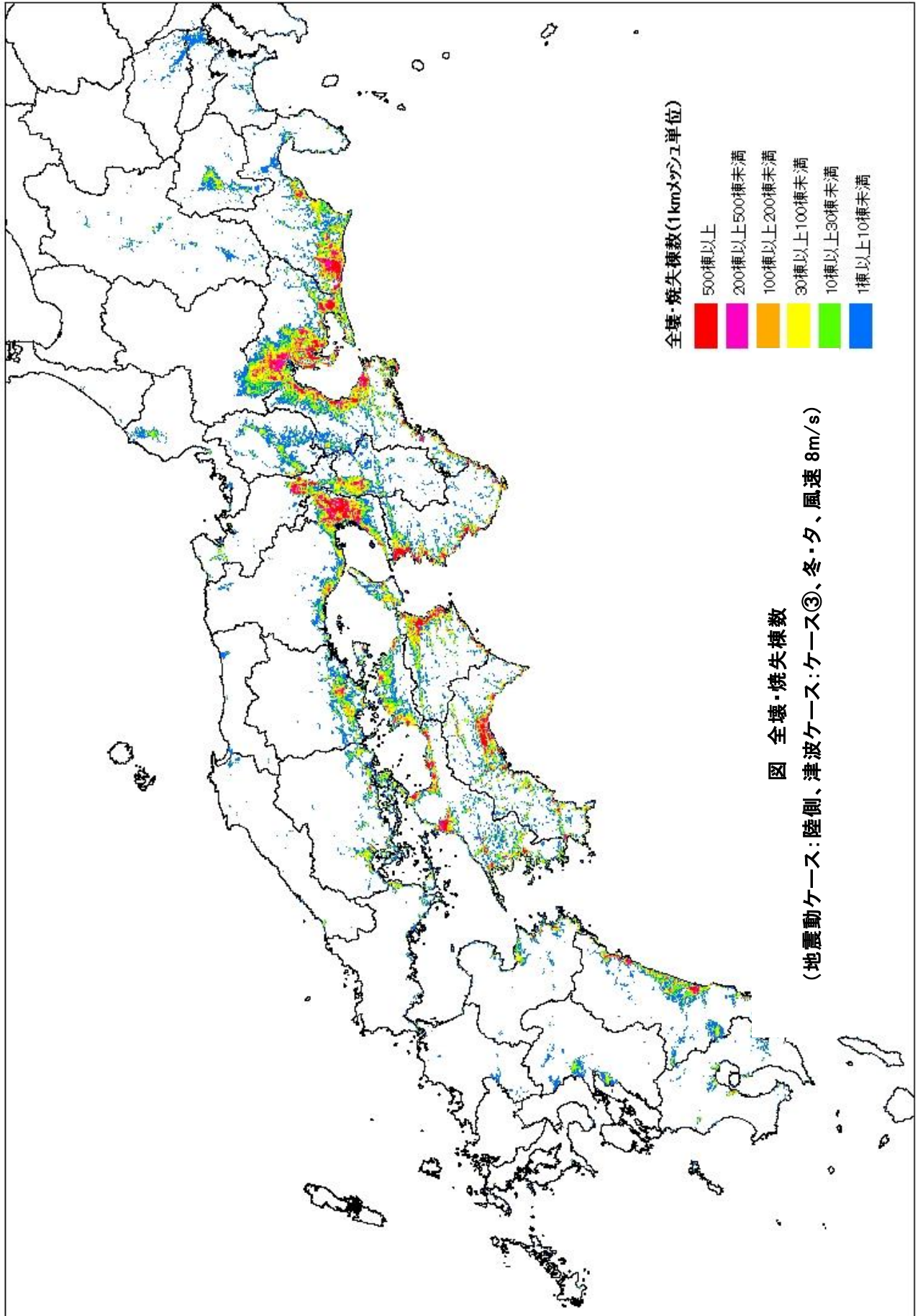
-: わずか

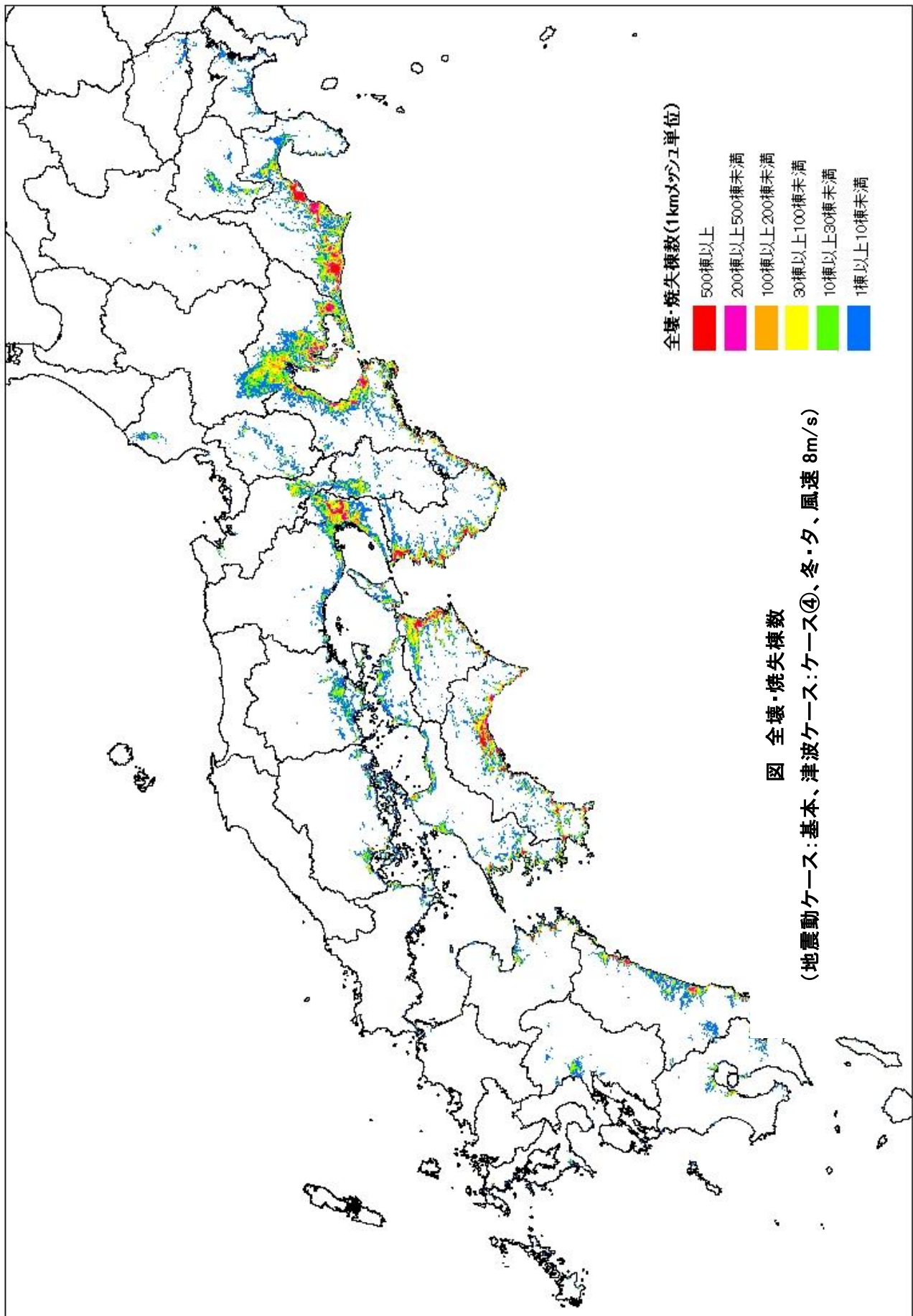
(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

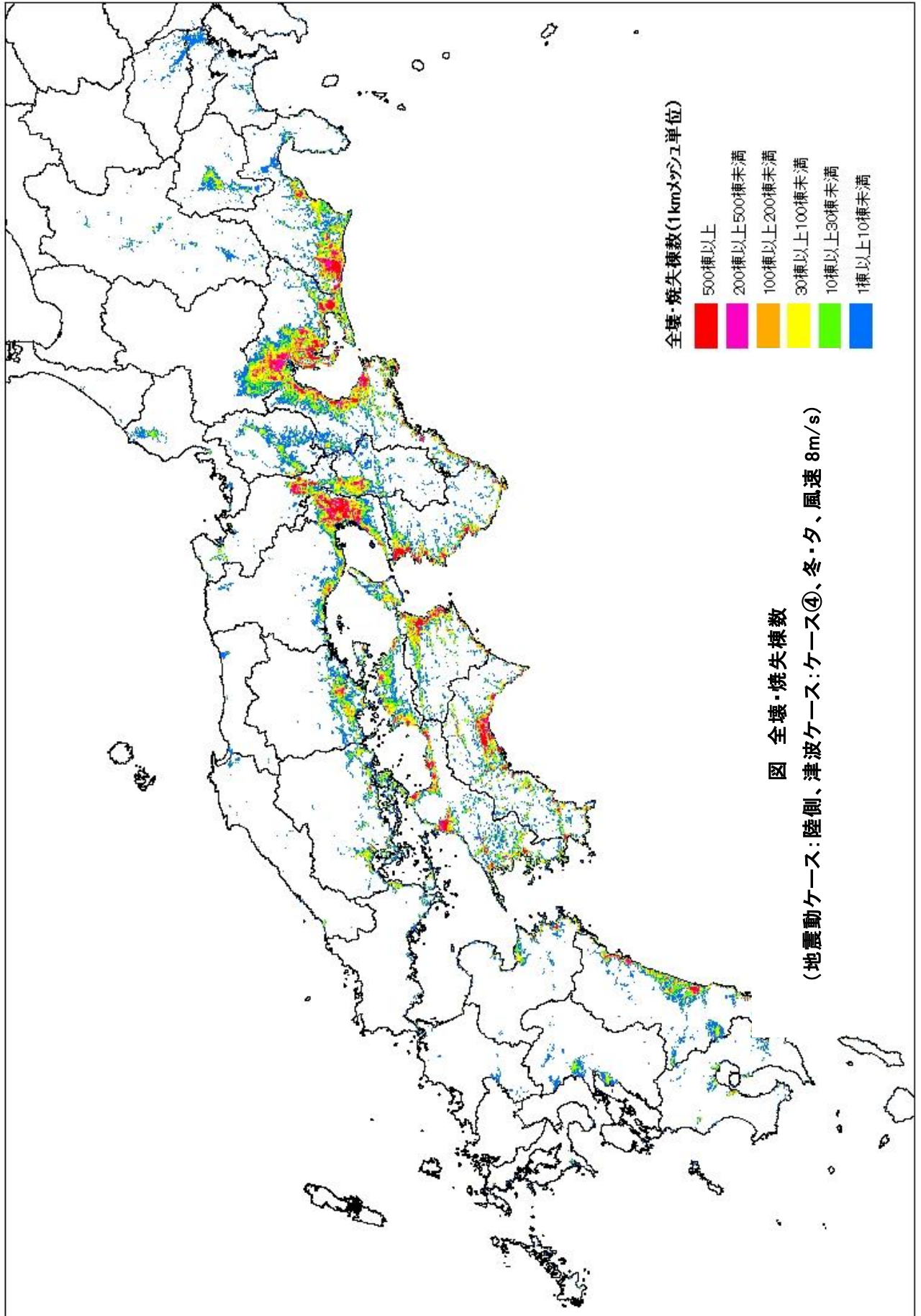


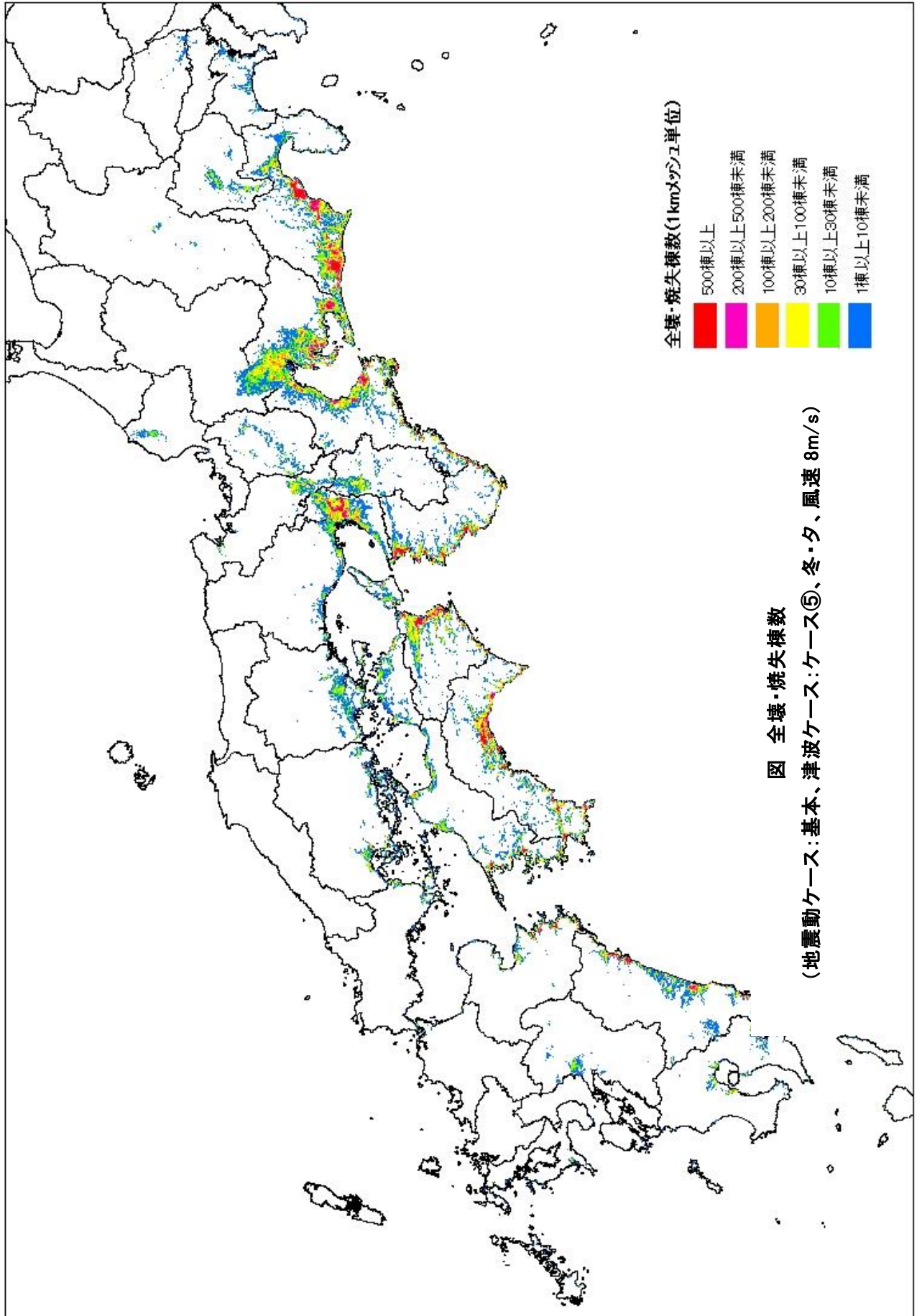


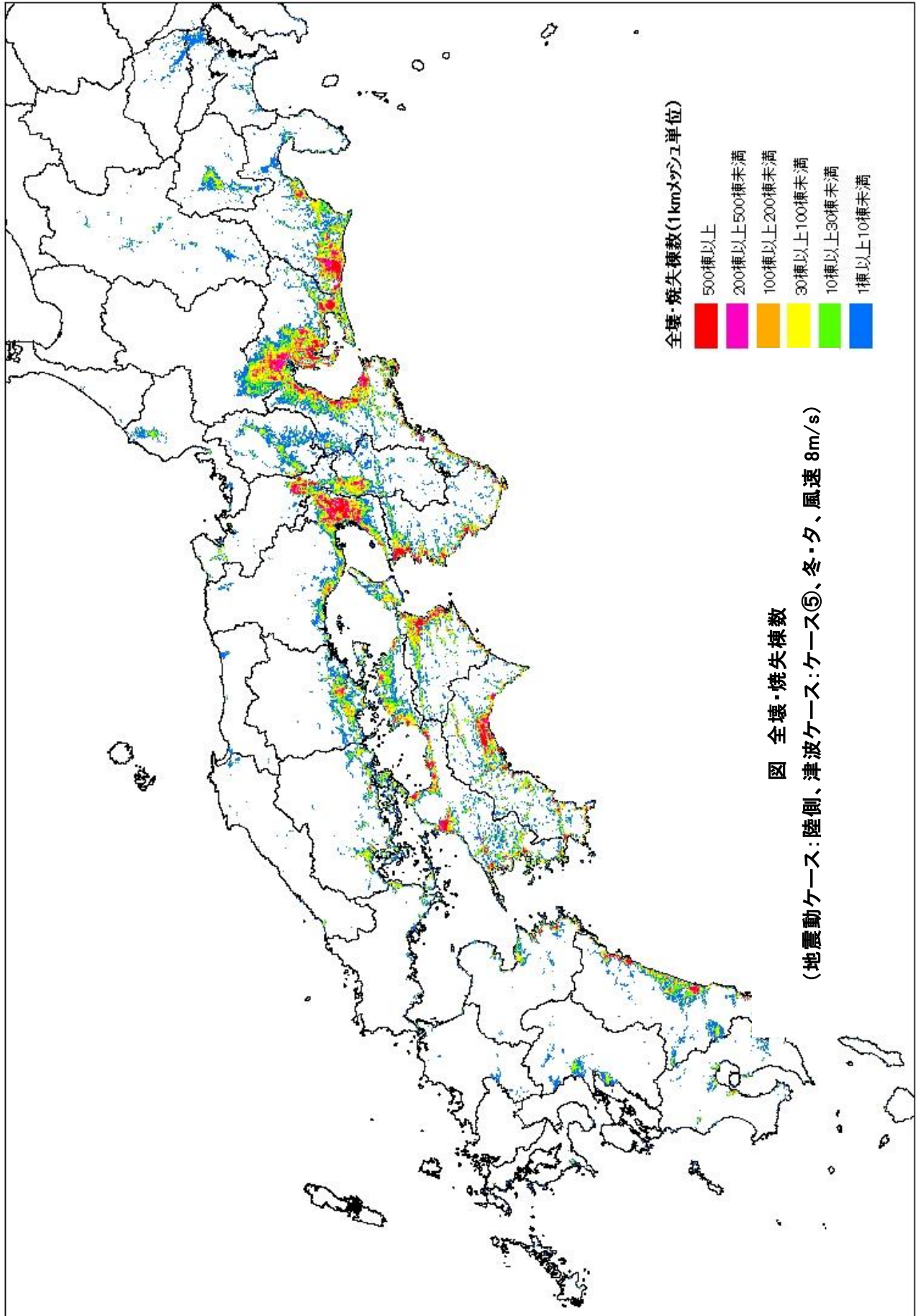












【参考】各都府県で死者数が最大となるケースの死者内訳

※地震動ケース(陸側)、風速 8m/s

※地震動に対して堤防・水門が正常に機能し、津波避難ビル等の活用を考慮した場合

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	最大被災ケース	
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							津波ケース	発災季節・時間
茨城県	-	-	-	-	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-		
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600	ケース①	冬・深夜
東京都	-	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100	ケース①	冬・深夜
神奈川県	-	-	約 1,200	-	-	-	約 1,200	ケース①	冬・深夜
新潟県	-	-	-	-	-	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-		
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300		冬・深夜
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40		冬・深夜
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200		冬・深夜
静岡県	約 9,300	約 800	約 79,000	約 50	約 200	-	約 88,000	ケース①	冬・深夜
愛知県	約 11,000	約 900	約 1,700	約 40	約 1,300	-	約 14,000	ケース①	冬・深夜
三重県	約 8,400	約 500	約 22,000	約 70	約 600	-	約 31,000	ケース①	冬・深夜
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300		冬・深夜
京都府	約 300	約 30	-	-	約 100	約 80	約 500		冬・夕
大阪府	約 1,700	約 100	約 500	約 10	約 1,100	約 300	約 3,600	ケース③	冬・夕
兵庫県	約 900	約 70	約 2,000	約 10	約 100	約 60	約 3,100	ケース③	冬・夕
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300		冬・深夜
和歌山県	約 5,000	約 300	約 47,000	約 50	約 700	-	約 53,000	ケース③	冬・深夜
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-		
岡山県	約 800	約 60	約 60	約 20	-	-	約 900	ケース⑤	冬・深夜
広島県	約 500	約 40	約 600	約 30	-	-	約 1,100	ケース⑤	冬・深夜
山口県	約 60	-	約 300	-	-	-	約 300	ケース⑤	冬・深夜
徳島県	約 4,400	約 300	約 13,000	約 50	約 400	-	約 18,000	ケース③	冬・深夜
香川県	約 1,800	約 90	約 900	約 10	約 40	-	約 2,800	ケース④	冬・深夜
愛媛県	約 6,000	約 300	約 2,700	約 40	約 400	-	約 9,200	ケース⑤	冬・深夜
高知県	約 9,100	約 500	約 19,000	約 100	約 1,200	-	約 30,000	ケース④	冬・深夜
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70	ケース④	冬・深夜
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-		
長崎県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	ケース⑤	夏・昼
熊本県	-	-	約 50	-	-	-	約 50	ケース⑤	冬・深夜
大分県	約 100	約 10	約 6,600	約 30	-	-	約 6,700	ケース⑤	冬・深夜
宮崎県	約 1,900	約 100	約 23,000	約 40	約 60	-	約 25,000	ケース⑤	冬・深夜
鹿児島県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	ケース⑤	冬・深夜
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	ケース⑤	冬・深夜

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】各都府県で負傷者数が最大となるケースの負傷者内訳

※風速 8m/s

※地震動に対して堤防・水門が正常に機能し、津波避難ビル等の活用を考慮した場合

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の倒壊、落下物	合計	最大被災ケース		
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10		ケース①	冬・深夜
栃木県	-	-	-	-	-	-	-			
群馬県	-	-	-	-	-	-	-			
埼玉県	-	-	-	-	-	約 10	約 10	陸側		冬・夕
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300		ケース①	冬・深夜
東京都	-	-	約 40	-	約 20	約 100	約 200	陸側	ケース①	冬・夕
神奈川県	約 200	約 100	約 200	-	約 10	約 400	約 800	基本	ケース①	冬・夕
新潟県	-	-	-	-	-	-	-			
富山県	-	-	-	-	-	-	-			
石川県	-	-	-	-	-	-	-			
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70	陸側		夏・昼
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800	陸側		冬・深夜
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500	陸側		冬・深夜
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900	陸側		冬・深夜
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 4,900	約 20	約 200	約 800	約 73,000	陸側	ケース①	夏・昼
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 200	約 40	約 2,100	約 80	約 81,000	陸側	ケース①	冬・深夜
三重県	約 59,000	約 9,000	約 800	約 90	約 500	約 20	約 60,000	陸側	ケース①	冬・深夜
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000	陸側		冬・深夜
京都府	約 6,100	約 1,500	-	-	約 2,800	約 2,800	約 12,000	陸側		冬・夕
大阪府	約 25,000	約 8,000	約 200	約 10	約 16,000	約 9,700	約 51,000	陸側	ケース③	冬・夕
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 500	約 20	約 30	約 50	約 17,000	陸側	ケース③	冬・深夜
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 20	約 20	約 15,000	陸側		冬・深夜
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 1,600	約 70	約 700	約 20	約 35,000	陸側	ケース④	冬・深夜
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-			
島根県	-	-	-	-	-	-	-			
岡山県	約 14,000	約 1,700	約 10	約 20	約 40	約 20	約 15,000	陸側	ケース⑤	冬・深夜
広島県	約 8,700	約 1,500	約 60	約 30	-	約 20	約 8,900	陸側	ケース⑤	冬・深夜
山口県	約 1,600	約 100	約 70	約 10	-	-	約 1,600	陸側	ケース①	冬・深夜
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 900	約 20	約 400	約 200	約 30,000	陸側	ケース③	夏・昼
香川県	約 19,000	約 1,900	約 200	約 20	約 40	約 10	約 19,000	陸側	ケース⑤	冬・深夜
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 300	約 50	約 500	約 20	約 42,000	陸側	ケース⑤	冬・深夜
高知県	約 50,000	約 7,500	約 400	約 50	約 700	約 300	約 52,000	陸側	ケース③	夏・昼
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30	陸側	ケース⑤	夏・昼
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-			
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100		ケース⑤	夏・昼
熊本県	約 300	約 100	約 10	-	-	約 30	約 400	陸側	ケース④	夏・昼
大分県	約 3,100	約 500	約 600	約 30	-	-	約 3,800	陸側	ケース⑤	冬・深夜
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,600	約 50	約 200	約 10	約 19,000	陸側	ケース③	冬・深夜
鹿児島県	約 600	約 90	約 300	-	-	約 10	約 800	陸側	ケース⑤	夏・昼
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10		ケース⑤	冬・深夜

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】各都府県で要救助者数が最大となるケースの要救助者内訳

※地震動ケース(陸側)

※地震動に対して堤防・水門が正常に機能した場合

(人)

	揺れによる 建物倒壊に伴う 要救助者数	津波による 要救助者数	合計	最大被災ケース	
				津波 ケース	発災 季節・ 時間
茨城県	-	-	-		
栃木県	-	-	-		
群馬県	-	-	-		
埼玉県	-	-	-		
千葉県	-	約 300	約 300	ケース①	夏・昼
東京都	-	約 700	約 700	ケース①	夏・昼
神奈川県	-	約 1,800	約 1,800	ケース①	夏・昼
新潟県	-	-	-		
富山県	-	-	-		
石川県	-	-	-		
福井県	-	-	-		
山梨県	約 900	-	約 900		冬・深夜
長野県	約 80	-	約 80		冬・深夜
岐阜県	約 700	-	約 700		冬・深夜
静岡県	約 46,000	約 7,800	約 54,000	ケース①	冬・深夜
愛知県	約 49,000	約 500	約 50,000	ケース①	冬・深夜
三重県	約 26,000	約 2,000	約 28,000	ケース①	冬・深夜
滋賀県	約 1,300	-	約 1,300		冬・深夜
京都府	約 1,900	-	約 1,900		冬・深夜
大阪府	約 11,000	約 700	約 11,000	ケース③	冬・深夜
兵庫県	約 2,700	約 9,100	約 12,000	ケース③	夏・昼
奈良県	約 4,800	-	約 4,800		冬・深夜
和歌山県	約 16,000	約 4,400	約 20,000	ケース③	冬・深夜
鳥取県	-	-	-		
島根県	-	-	-		
岡山県	約 3,100	約 10	約 3,100	ケース⑤	冬・深夜
広島県	約 1,700	約 1,300	約 3,100	ケース①	冬・深夜
山口県	約 100	約 300	約 400	ケース④	夏・昼
徳島県	約 16,000	約 3,900	約 20,000	ケース③	冬・深夜
香川県	約 5,100	約 400	約 5,500	ケース④	冬・深夜
愛媛県	約 18,000	約 1,600	約 19,000	ケース①	冬・深夜
高知県	約 28,000	約 11,000	約 39,000	ケース④	冬・深夜
福岡県	-	約 500	約 500	ケース①	夏・昼
佐賀県	-	-	-		
長崎県	-	約 900	約 900	ケース⑤	夏・昼
熊本県	-	約 10	約 10	ケース⑤	冬・深夜
大分県	約 400	約 4,100	約 4,400	ケース⑤	夏・昼
宮崎県	約 7,500	約 8,800	約 16,000	ケース①	冬・深夜
鹿児島県	約 10	約 400	約 400	ケース⑤	夏・昼
沖縄県	-	約 300	約 300	ケース⑤	夏・昼

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】都府県別の死者数

(1) 東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
神奈川県	-	-	約 1,200	-	-	-	約 1,200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	-	約 200
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
静岡県	約 8,900	約 700	約 78,000	約 60	約 700	-	約 88,000
愛知県	約 3,300	約 300	約 1,400	約 20	約 100	-	約 4,800
三重県	約 3,700	約 200	約 21,000	約 60	約 80	-	約 25,000
滋賀県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
大阪府	約 200	約 80	-	-	-	約 10	約 200
兵庫県	約 200	約 20	約 300	-	-	-	約 600
奈良県	約 100	約 20	-	約 10	-	-	約 100
和歌山県	約 3,000	約 100	約 19,000	約 50	約 60	-	約 23,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 40	約 10	約 20	-	-	-	約 60
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 2,600	約 200	約 3,400	約 40	約 100	-	約 6,200
香川県	約 100	約 20	約 50	-	-	-	約 200
愛媛県	約 600	約 30	約 800	約 20	-	-	約 1,400
高知県	約 5,500	約 300	約 6,300	約 100	約 400	-	約 12,000
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	約 10	約 3,900	約 10	-	-	約 3,900
宮崎県	約 600	約 50	約 15,000	約 30	-	-	約 16,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 29,000	約 2,000	約 154,000	約 400	約 1,500	約 10	約 185,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
神奈川県	-	-	約 1,200	-	-	-	約 1,200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	-	約 200
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
静岡県	約 8,900	約 700	約 78,000	約 60	約 800	-	約 88,000
愛知県	約 3,300	約 300	約 1,400	約 20	約 200	-	約 4,900
三重県	約 3,700	約 200	約 21,000	約 60	約 100	-	約 25,000
滋賀県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
大阪府	約 200	約 80	-	-	-	約 10	約 200
兵庫県	約 200	約 20	約 300	-	-	-	約 600
奈良県	約 100	約 20	-	約 10	-	-	約 100
和歌山県	約 3,000	約 100	約 19,000	約 50	約 200	-	約 23,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 40	約 10	約 20	-	-	-	約 60
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 2,600	約 200	約 3,400	約 40	約 100	-	約 6,200
香川県	約 100	約 20	約 50	-	-	-	約 200
愛媛県	約 600	約 30	約 800	約 20	-	-	約 1,400
高知県	約 5,500	約 300	約 6,300	約 100	約 500	-	約 12,000
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	約 10	約 3,900	約 10	-	-	約 3,900
宮崎県	約 600	約 50	約 15,000	約 30	-	-	約 16,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 29,000	約 2,000	約 154,000	約 400	約 2,000	約 10	約 186,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏 12 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 700	-	-	-	約 700
神奈川県	-	-	約 900	-	-	-	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
静岡県	約 3,800	約 400	約 56,000	約 20	約 400	約 30	約 60,000
愛知県	約 1,400	約 100	約 1,100	約 10	約 80	約 20	約 2,600
三重県	約 1,500	約 80	約 13,000	約 20	約 50	約 10	約 14,000
滋賀県	-	-	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	-	-	-	-	約 10	約 20
大阪府	約 100	約 40	約 10	-	-	約 50	約 200
兵庫県	約 100	約 10	約 300	-	-	約 10	約 500
奈良県	約 50	約 10	-	約 10	-	約 10	約 60
和歌山県	約 1,500	約 70	約 15,000	約 20	約 90	約 10	約 17,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 20	約 10	約 20	-	-	-	約 40
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,100	約 70	約 2,600	約 20	約 80	-	約 3,800
香川県	約 50	約 10	約 40	-	-	-	約 90
愛媛県	約 200	約 10	約 500	約 10	-	-	約 800
高知県	約 2,300	約 100	約 4,200	約 40	約 200	-	約 6,800
福岡県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	-	約 3,900	-	-	-	約 4,000
宮崎県	約 300	約 20	約 9,900	約 10	-	-	約 10,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 13,000	約 900	約 110,000	約 200	約 900	約 200	約 124,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内 収容物移動・転倒、 屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 700	-	-	-	約 700
神奈川県	-	-	約 900	-	-	-	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
静岡県	約 3,800	約 400	約 56,000	約 20	約 500	約 30	約 60,000
愛知県	約 1,400	約 100	約 1,100	約 10	約 90	約 20	約 2,600
三重県	約 1,500	約 80	約 13,000	約 20	約 70	約 10	約 14,000
滋賀県	-	-	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	-	-	-	-	約 10	約 20
大阪府	約 100	約 40	約 10	-	-	約 50	約 200
兵庫県	約 100	約 10	約 300	-	-	約 10	約 500
奈良県	約 50	約 10	-	約 10	-	約 10	約 60
和歌山県	約 1,500	約 70	約 15,000	約 20	約 200	約 10	約 17,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 20	約 10	約 20	-	-	-	約 40
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,100	約 70	約 2,600	約 20	約 80	-	約 3,800
香川県	約 50	約 10	約 40	-	-	-	約 90
愛媛県	約 200	約 10	約 500	約 10	-	-	約 800
高知県	約 2,300	約 100	約 4,200	約 40	約 300	-	約 6,800
福岡県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	-	約 3,900	-	-	-	約 4,000
宮崎県	約 300	約 20	約 9,900	約 10	-	-	約 10,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 13,000	約 900	約 110,000	約 200	約 1,200	約 200	約 124,000

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 700	-	-	-	約 700
神奈川県	-	-	約 900	-	-	約 10	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	約 10	-	約 10	約 100
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20
静岡県	約 6,100	約 500	約 53,000	約 40	約 2,100	約 60	約 61,000
愛知県	約 2,400	約 200	約 1,200	約 10	約 500	約 60	約 4,100
三重県	約 2,500	約 100	約 12,000	約 40	約 300	約 20	約 15,000
滋賀県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	約 30	約 40
大阪府	約 200	約 50	約 10	-	約 30	約 200	約 400
兵庫県	約 200	約 20	約 300	-	-	約 30	約 500
奈良県	約 70	約 10	-	約 10	-	約 10	約 90
和歌山県	約 2,300	約 90	約 16,000	約 40	約 600	約 10	約 19,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 30	約 10	約 20	-	-	約 10	約 60
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,800	約 100	約 2,700	約 30	約 400	約 10	約 4,900
香川県	約 80	約 10	約 40	-	-	-	約 100
愛媛県	約 400	約 20	約 600	約 10	-	約 10	約 1,000
高知県	約 3,700	約 200	約 4,600	約 60	約 900	約 10	約 9,200
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	-	約 3,700	-	-	-	約 3,700
宮崎県	約 400	約 30	約 9,800	約 20	約 20	約 10	約 10,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 20,000	約 1,300	約 107,000	約 300	約 4,800	約 500	約 133,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 700	-	-	-	約 700
神奈川県	-	-	約 900	-	-	約 10	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	約 10	-	約 10	約 100
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20
静岡県	約 6,100	約 500	約 53,000	約 40	約 2,200	約 60	約 61,000
愛知県	約 2,400	約 200	約 1,200	約 10	約 500	約 60	約 4,100
三重県	約 2,500	約 100	約 12,000	約 40	約 300	約 20	約 15,000
滋賀県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	約 30	約 40
大阪府	約 200	約 50	約 10	-	約 30	約 200	約 400
兵庫県	約 200	約 20	約 300	-	約 10	約 30	約 500
奈良県	約 70	約 10	-	約 10	-	約 10	約 90
和歌山県	約 2,300	約 90	約 16,000	約 40	約 700	約 10	約 19,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 30	約 10	約 20	-	-	約 10	約 60
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,800	約 100	約 2,700	約 30	約 400	約 10	約 5,000
香川県	約 80	約 10	約 40	-	-	-	約 100
愛媛県	約 400	約 20	約 600	約 10	約 30	約 10	約 1,000
高知県	約 3,700	約 200	約 4,600	約 60	約 1,000	約 10	約 9,400
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	-	約 3,700	-	-	-	約 3,700
宮崎県	約 400	約 30	約 9,800	約 20	約 30	約 10	約 10,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 20,000	約 1,300	約 107,000	約 300	約 5,200	約 500	約 133,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
神奈川県	-	-	約 1,200	-	-	-	約 1,200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
静岡県	約 9,300	約 800	約 79,000	約 50	約 200	-	約 88,000
愛知県	約 11,000	約 900	約 1,700	約 40	約 1,200	-	約 14,000
三重県	約 8,400	約 500	約 22,000	約 70	約 500	-	約 31,000
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300
京都府	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
大阪府	約 2,400	約 200	約 10	約 10	約 200	約 10	約 2,700
兵庫県	約 1,200	約 100	約 400	約 10	-	-	約 1,600
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300
和歌山県	約 5,000	約 300	約 20,000	約 50	約 800	-	約 26,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 800	約 60	約 30	約 20	-	-	約 900
広島県	約 500	約 40	約 500	約 30	-	-	約 1,000
山口県	約 60	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 4,400	約 300	約 3,900	約 50	約 500	-	約 8,800
香川県	約 1,800	約 90	約 200	約 10	約 20	-	約 2,000
愛媛県	約 6,000	約 300	約 2,000	約 40	約 200	-	約 8,200
高知県	約 9,100	約 500	約 7,100	約 100	約 1,100	-	約 17,000
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 100	約 10	約 3,900	約 30	-	-	約 4,100
宮崎県	約 1,900	約 100	約 16,000	約 40	約 50	-	約 18,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 65,000	約 4,400	約 160,000	約 600	約 4,800	約 20	約 230,000

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 1,100	-	-	-	約 1,100
神奈川県	-	-	約 1,200	-	-	-	約 1,200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
静岡県	約 9,300	約 800	約 79,000	約 50	約 200	-	約 88,000
愛知県	約 11,000	約 900	約 1,700	約 40	約 1,300	-	約 14,000
三重県	約 8,400	約 500	約 22,000	約 70	約 600	-	約 31,000
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300
京都府	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
大阪府	約 2,400	約 200	約 10	約 10	約 300	約 10	約 2,700
兵庫県	約 1,200	約 100	約 400	約 10	約 20	-	約 1,600
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300
和歌山県	約 5,000	約 300	約 20,000	約 50	約 900	-	約 26,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 800	約 60	約 30	約 20	-	-	約 900
広島県	約 500	約 40	約 500	約 30	-	-	約 1,000
山口県	約 60	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 4,400	約 300	約 3,900	約 50	約 500	-	約 8,800
香川県	約 1,800	約 90	約 200	約 10	約 40	-	約 2,000
愛媛県	約 6,000	約 300	約 2,000	約 40	約 400	-	約 8,400
高知県	約 9,100	約 500	約 7,100	約 100	約 1,500	-	約 18,000
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 100	約 10	約 3,900	約 30	-	-	約 4,100
宮崎県	約 1,900	約 100	約 16,000	約 40	約 60	-	約 18,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 65,000	約 4,400	約 160,000	約 600	約 5,800	約 20	約 231,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏 12 時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 700	-	-	-	約 700
神奈川県	-	-	約 900	-	-	-	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
長野県	約 10	-	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 60	約 10	-	-	-	-	約 70
静岡県	約 4,200	約 400	約 56,000	約 20	約 100	約 20	約 60,000
愛知県	約 4,500	約 400	約 1,200	約 10	約 600	約 40	約 6,400
三重県	約 3,500	約 200	約 13,000	約 30	約 300	約 10	約 17,000
滋賀県	約 100	約 20	-	-	-	約 10	約 100
京都府	約 200	約 20	-	-	-	約 30	約 200
大阪府	約 1,200	約 100	約 10	-	約 100	約 100	約 1,400
兵庫県	約 600	約 50	約 400	約 10	約 10	約 20	約 1,000
奈良県	約 600	約 40	-	約 10	-	約 10	約 600
和歌山県	約 2,500	約 100	約 15,000	約 30	約 500	約 10	約 18,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 400	約 30	約 20	約 10	-	約 10	約 400
広島県	約 200	約 20	約 400	約 10	-	約 10	約 700
山口県	約 30	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 1,900	約 100	約 2,800	約 20	約 300	約 10	約 5,000
香川県	約 700	約 40	約 100	-	約 10	-	約 900
愛媛県	約 2,500	約 100	約 1,000	約 20	約 100	約 10	約 3,700
高知県	約 3,900	約 200	約 4,600	約 40	約 600	約 10	約 9,200
福岡県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 60	約 10	約 4,000	約 10	-	-	約 4,000
宮崎県	約 800	約 60	約 10,000	約 10	約 30	約 10	約 11,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 28,000	約 2,100	約 112,000	約 200	約 2,600	約 300	約 143,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 700	-	-	-	約 700
神奈川県	-	-	約 900	-	-	-	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
長野県	約 10	-	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 60	約 10	-	-	-	-	約 70
静岡県	約 4,200	約 400	約 56,000	約 20	約 100	約 20	約 61,000
愛知県	約 4,500	約 400	約 1,200	約 10	約 600	約 40	約 6,400
三重県	約 3,500	約 200	約 13,000	約 30	約 300	約 10	約 17,000
滋賀県	約 100	約 20	-	-	-	約 10	約 100
京都府	約 200	約 20	-	-	-	約 30	約 200
大阪府	約 1,200	約 100	約 10	-	約 200	約 100	約 1,500
兵庫県	約 600	約 50	約 400	約 10	約 20	約 20	約 1,000
奈良県	約 600	約 40	-	約 10	-	約 10	約 600
和歌山県	約 2,500	約 100	約 15,000	約 30	約 600	約 10	約 18,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 400	約 30	約 20	約 10	-	約 10	約 400
広島県	約 200	約 20	約 400	約 10	-	約 10	約 700
山口県	約 30	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 1,900	約 100	約 2,800	約 20	約 300	約 10	約 5,000
香川県	約 700	約 40	約 100	-	約 20	-	約 900
愛媛県	約 2,500	約 100	約 1,000	約 20	約 200	約 10	約 3,800
高知県	約 3,900	約 200	約 4,600	約 40	約 800	約 10	約 9,400
福岡県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 60	約 10	約 4,000	約 10	-	-	約 4,000
宮崎県	約 800	約 60	約 10,000	約 10	約 30	約 10	約 11,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 28,000	約 2,100	約 112,000	約 200	約 3,100	約 300	約 144,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 700	-	-	-	約 700
神奈川県	-	-	約 900	-	-	約 10	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	約 10	約 200
長野県	約 20	-	-	約 10	-	-	約 30
岐阜県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
静岡県	約 6,500	約 500	約 53,000	約 30	約 1,100	約 50	約 61,000
愛知県	約 7,700	約 600	約 1,400	約 20	約 2,900	約 100	約 12,000
三重県	約 5,700	約 300	約 13,000	約 50	約 1,100	約 20	約 20,000
滋賀県	約 200	約 20	-	-	-	約 10	約 200
京都府	約 300	約 30	-	-	約 80	約 80	約 500
大阪府	約 1,700	約 100	約 10	約 10	約 1,100	約 300	約 3,100
兵庫県	約 900	約 70	約 300	約 10	約 100	約 60	約 1,400
奈良県	約 900	約 50	-	約 20	約 50	約 30	約 1,000
和歌山県	約 3,800	約 200	約 16,000	約 40	約 1,700	約 20	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 600	約 40	約 30	約 10	約 30	約 20	約 700
広島県	約 300	約 20	約 400	約 20	-	約 20	約 800
山口県	約 40	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 3,000	約 200	約 3,100	約 30	約 1,000	約 10	約 7,200
香川県	約 1,200	約 50	約 100	約 10	約 100	約 10	約 1,500
愛媛県	約 4,100	約 200	約 1,400	約 30	約 800	約 20	約 6,300
高知県	約 6,200	約 300	約 5,200	約 70	約 2,100	約 20	約 14,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 90	約 10	約 3,700	約 20	-	-	約 3,800
宮崎県	約 1,300	約 80	約 10,000	約 20	約 200	約 10	約 12,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 45,000	約 2,800	約 111,000	約 400	約 13,000	約 800	約 170,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
東京都	-	-	約 700	-	-	-	約 700
神奈川県	-	-	約 900	-	-	約 10	約 900
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	約 10	約 200
長野県	約 20	-	-	約 10	-	-	約 30
岐阜県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
静岡県	約 6,500	約 500	約 53,000	約 30	約 1,500	約 50	約 61,000
愛知県	約 7,700	約 600	約 1,400	約 20	約 2,800	約 100	約 12,000
三重県	約 5,700	約 300	約 13,000	約 50	約 1,200	約 20	約 20,000
滋賀県	約 200	約 20	-	-	-	約 10	約 200
京都府	約 300	約 30	-	-	約 100	約 80	約 500
大阪府	約 1,700	約 100	約 10	約 10	約 1,100	約 300	約 3,100
兵庫県	約 900	約 70	約 300	約 10	約 100	約 60	約 1,400
奈良県	約 900	約 50	-	約 20	約 100	約 30	約 1,100
和歌山県	約 3,800	約 200	約 16,000	約 40	約 1,800	約 20	約 22,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 600	約 40	約 30	約 10	約 40	約 20	約 700
広島県	約 300	約 20	約 400	約 20	-	約 20	約 800
山口県	約 40	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 3,000	約 200	約 3,100	約 30	約 1,000	約 10	約 7,200
香川県	約 1,200	約 50	約 100	約 10	約 100	約 10	約 1,500
愛媛県	約 4,100	約 200	約 1,400	約 30	約 1,100	約 20	約 6,600
高知県	約 6,200	約 300	約 5,200	約 70	約 2,600	約 20	約 14,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 90	約 10	約 3,700	約 20	-	-	約 3,800
宮崎県	約 1,300	約 80	約 10,000	約 20	約 200	約 10	約 12,000
鹿児島県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 45,000	約 2,800	約 111,000	約 400	約 14,000	約 800	約 171,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	-	約 200
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
静岡県	約 8,900	約 700	約 1,600	約 60	約 700	-	約 11,000
愛知県	約 3,300	約 300	約 100	約 20	約 100	-	約 3,600
三重県	約 3,700	約 200	約 9,600	約 60	約 100	-	約 13,000
滋賀県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
大阪府	約 200	約 80	約 500	-	-	約 10	約 700
兵庫県	約 200	約 20	約 1,400	-	-	-	約 1,700
奈良県	約 100	約 20	-	約 10	-	-	約 100
和歌山県	約 3,000	約 100	約 46,000	約 50	約 50	-	約 49,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 40	約 10	約 20	-	-	-	約 70
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 2,600	約 200	約 12,000	約 40	約 100	-	約 15,000
香川県	約 100	約 20	約 400	-	-	-	約 500
愛媛県	約 600	約 30	約 800	約 20	-	-	約 1,400
高知県	約 5,500	約 300	約 12,000	約 100	約 300	-	約 18,000
福岡県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	約 10	約 3,600	約 10	-	-	約 3,600
宮崎県	約 600	約 50	約 14,000	約 30	-	-	約 14,000
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 29,000	約 2,000	約 103,000	約 400	約 1,500	約 10	約 134,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	-	約 200
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
静岡県	約 8,900	約 700	約 1,600	約 60	約 900	-	約 11,000
愛知県	約 3,300	約 300	約 100	約 20	約 200	-	約 3,600
三重県	約 3,700	約 200	約 9,600	約 60	約 200	-	約 13,000
滋賀県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
大阪府	約 200	約 80	約 500	-	-	約 10	約 700
兵庫県	約 200	約 20	約 1,400	-	-	-	約 1,700
奈良県	約 100	約 20	-	約 10	-	-	約 100
和歌山県	約 3,000	約 100	約 46,000	約 50	約 200	-	約 50,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 40	約 10	約 20	-	-	-	約 70
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 2,600	約 200	約 12,000	約 40	約 100	-	約 15,000
香川県	約 100	約 20	約 400	-	-	-	約 500
愛媛県	約 600	約 30	約 800	約 20	-	-	約 1,400
高知県	約 5,500	約 300	約 12,000	約 100	約 500	-	約 18,000
福岡県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	約 10	約 3,600	約 10	-	-	約 3,600
宮崎県	約 600	約 50	約 14,000	約 30	-	-	約 14,000
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 29,000	約 2,000	約 103,000	約 400	約 2,000	約 10	約 135,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 60	-	-	-	約 60
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
静岡県	約 3,800	約 400	約 1,300	約 20	約 400	約 30	約 5,600
愛知県	約 1,400	約 100	約 100	約 10	約 90	約 20	約 1,600
三重県	約 1,500	約 80	約 4,500	約 20	約 60	約 10	約 6,100
滋賀県	-	-	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	-	-	-	-	約 10	約 20
大阪府	約 100	約 40	約 500	-	-	約 50	約 700
兵庫県	約 100	約 10	約 2,200	-	-	約 10	約 2,300
奈良県	約 50	約 10	-	約 10	-	約 10	約 60
和歌山県	約 1,500	約 70	約 34,000	約 20	約 80	約 10	約 36,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 20	約 10	約 20	-	-	-	約 50
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,100	約 70	約 9,000	約 20	約 60	-	約 10,000
香川県	約 50	約 10	約 300	-	-	-	約 400
愛媛県	約 200	約 10	約 600	約 10	-	-	約 800
高知県	約 2,300	約 100	約 7,200	約 40	約 200	-	約 9,700
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	-	約 3,600	-	-	-	約 3,600
宮崎県	約 300	約 20	約 8,200	約 10	-	-	約 8,500
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 13,000	約 900	約 73,000	約 200	約 900	約 200	約 87,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 60	-	-	-	約 60
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
静岡県	約 3,800	約 400	約 1,300	約 20	約 500	約 30	約 5,700
愛知県	約 1,400	約 100	約 100	約 10	約 100	約 20	約 1,600
三重県	約 1,500	約 80	約 4,500	約 20	約 90	約 10	約 6,100
滋賀県	-	-	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	-	-	-	-	約 10	約 20
大阪府	約 100	約 40	約 500	-	-	約 50	約 700
兵庫県	約 100	約 10	約 2,200	-	-	約 10	約 2,300
奈良県	約 50	約 10	-	約 10	-	約 10	約 60
和歌山県	約 1,500	約 70	約 34,000	約 20	約 100	約 10	約 36,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 20	約 10	約 20	-	-	-	約 50
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,100	約 70	約 9,000	約 20	約 60	-	約 10,000
香川県	約 50	約 10	約 300	-	-	-	約 400
愛媛県	約 200	約 10	約 600	約 10	-	-	約 800
高知県	約 2,300	約 100	約 7,200	約 40	約 300	-	約 9,800
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	-	約 3,600	-	-	-	約 3,600
宮崎県	約 300	約 20	約 8,200	約 10	-	-	約 8,500
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 13,000	約 900	約 73,000	約 200	約 1,200	約 200	約 87,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20
神奈川県	-	-	約 60	-	-	約 10	約 70
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	約 10	-	約 10	約 100
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20
静岡県	約 6,100	約 500	約 1,200	約 40	約 2,300	約 60	約 9,700
愛知県	約 2,400	約 200	約 100	約 10	約 500	約 60	約 3,100
三重県	約 2,500	約 100	約 4,500	約 40	約 400	約 20	約 7,400
滋賀県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	約 30	約 40
大阪府	約 200	約 50	約 400	-	約 30	約 200	約 800
兵庫県	約 200	約 20	約 2,000	-	-	約 30	約 2,200
奈良県	約 70	約 10	-	約 10	-	約 10	約 90
和歌山県	約 2,300	約 90	約 34,000	約 40	約 500	約 10	約 37,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 30	約 10	約 20	-	-	約 10	約 60
広島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,800	約 100	約 9,000	約 30	約 300	約 10	約 11,000
香川県	約 80	約 10	約 300	-	-	-	約 400
愛媛県	約 400	約 20	約 600	約 10	-	約 10	約 1,000
高知県	約 3,700	約 200	約 7,600	約 60	約 700	約 10	約 12,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	-	約 3,300	-	-	-	約 3,300
宮崎県	約 400	約 30	約 8,100	約 20	約 20	約 10	約 8,500
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 20,000	約 1,300	約 72,000	約 300	約 4,700	約 500	約 98,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20
神奈川県	-	-	約 60	-	-	約 10	約 70
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	約 10	-	約 10	約 100
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20
静岡県	約 6,100	約 500	約 1,200	約 40	約 2,400	約 60	約 9,800
愛知県	約 2,400	約 200	約 100	約 10	約 500	約 60	約 3,100
三重県	約 2,500	約 100	約 4,500	約 40	約 400	約 20	約 7,400
滋賀県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	約 30	約 40
大阪府	約 200	約 50	約 400	-	約 30	約 200	約 800
兵庫県	約 200	約 20	約 2,000	-	約 10	約 30	約 2,200
奈良県	約 70	約 10	-	約 10	-	約 10	約 90
和歌山県	約 2,300	約 90	約 34,000	約 40	約 600	約 10	約 37,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 30	約 10	約 20	-	-	約 10	約 60
広島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,800	約 100	約 9,000	約 30	約 300	約 10	約 11,000
香川県	約 80	約 10	約 300	-	-	-	約 400
愛媛県	約 400	約 20	約 600	約 10	約 30	約 10	約 1,000
高知県	約 3,700	約 200	約 7,600	約 60	約 900	約 10	約 12,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 10	-	約 3,300	-	-	-	約 3,300
宮崎県	約 400	約 30	約 8,100	約 20	約 30	約 10	約 8,500
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 20,000	約 1,300	約 72,000	約 300	約 5,100	約 500	約 98,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
静岡県	約 9,300	約 800	約 1,500	約 50	約 200	-	約 11,000
愛知県	約 11,000	約 900	約 200	約 40	約 1,300	-	約 12,000
三重県	約 8,400	約 500	約 10,000	約 70	約 600	-	約 19,000
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300
京都府	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
大阪府	約 2,400	約 200	約 500	約 10	約 200	約 10	約 3,200
兵庫県	約 1,200	約 100	約 1,500	約 10	-	-	約 2,700
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300
和歌山県	約 5,000	約 300	約 47,000	約 50	約 600	-	約 53,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 800	約 60	約 40	約 20	-	-	約 900
広島県	約 500	約 40	約 400	約 30	-	-	約 1,000
山口県	約 60	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 4,400	約 300	約 13,000	約 50	約 300	-	約 18,000
香川県	約 1,800	約 90	約 500	約 10	約 20	-	約 2,300
愛媛県	約 6,000	約 300	約 1,800	約 40	約 200	-	約 8,100
高知県	約 9,100	約 500	約 13,000	約 100	約 1,000	-	約 24,000
福岡県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 100	約 10	約 3,700	約 30	-	-	約 3,800
宮崎県	約 1,900	約 100	約 14,000	約 40	約 50	-	約 16,000
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 65,000	約 4,400	約 109,000	約 600	約 4,600	約 20	約 178,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
静岡県	約 9,300	約 800	約 1,500	約 50	約 200	-	約 11,000
愛知県	約 11,000	約 900	約 200	約 40	約 1,400	-	約 13,000
三重県	約 8,400	約 500	約 10,000	約 70	約 800	-	約 19,000
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300
京都府	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
大阪府	約 2,400	約 200	約 500	約 10	約 300	約 10	約 3,300
兵庫県	約 1,200	約 100	約 1,500	約 10	約 20	-	約 2,800
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300
和歌山県	約 5,000	約 300	約 47,000	約 50	約 700	-	約 53,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 800	約 60	約 40	約 20	-	-	約 900
広島県	約 500	約 40	約 400	約 30	-	-	約 1,000
山口県	約 60	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 4,400	約 300	約 13,000	約 50	約 400	-	約 18,000
香川県	約 1,800	約 90	約 500	約 10	約 40	-	約 2,400
愛媛県	約 6,000	約 300	約 1,800	約 40	約 400	-	約 8,300
高知県	約 9,100	約 500	約 13,000	約 100	約 1,300	-	約 24,000
福岡県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 100	約 10	約 3,700	約 30	-	-	約 3,800
宮崎県	約 1,900	約 100	約 14,000	約 40	約 60	-	約 16,000
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 65,000	約 4,400	約 109,000	約 600	約 5,500	約 20	約 179,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 60	-	-	-	約 60
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
長野県	約 10	-	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 60	約 10	-	-	-	-	約 70
静岡県	約 4,200	約 400	約 1,200	約 20	約 100	約 20	約 5,600
愛知県	約 4,500	約 400	約 100	約 10	約 600	約 40	約 5,300
三重県	約 3,500	約 200	約 4,700	約 30	約 300	約 10	約 8,600
滋賀県	約 100	約 20	-	-	-	約 10	約 100
京都府	約 200	約 20	-	-	-	約 30	約 200
大阪府	約 1,200	約 100	約 500	-	約 100	約 100	約 1,900
兵庫県	約 600	約 50	約 2,300	約 10	約 10	約 20	約 2,900
奈良県	約 600	約 40	-	約 10	-	約 10	約 600
和歌山県	約 2,500	約 100	約 35,000	約 30	約 400	約 10	約 38,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 400	約 30	約 30	約 10	-	約 10	約 400
広島県	約 200	約 20	約 400	約 10	-	約 10	約 600
山口県	約 30	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,900	約 100	約 9,400	約 20	約 200	約 10	約 11,000
香川県	約 700	約 40	約 400	-	約 10	-	約 1,200
愛媛県	約 2,500	約 100	約 1,000	約 20	約 100	約 10	約 3,600
高知県	約 3,900	約 200	約 7,800	約 40	約 500	約 10	約 12,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 60	約 10	約 3,600	約 10	-	-	約 3,700
宮崎県	約 800	約 60	約 8,400	約 10	約 30	約 10	約 9,200
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 28,000	約 2,100	約 75,000	約 200	約 2,500	約 300	約 106,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 60	-	-	-	約 60
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
長野県	約 10	-	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 60	約 10	-	-	-	-	約 70
静岡県	約 4,200	約 400	約 1,200	約 20	約 100	約 20	約 5,600
愛知県	約 4,500	約 400	約 100	約 10	約 700	約 40	約 5,400
三重県	約 3,500	約 200	約 4,700	約 30	約 400	約 10	約 8,600
滋賀県	約 100	約 20	-	-	-	約 10	約 100
京都府	約 200	約 20	-	-	-	約 30	約 200
大阪府	約 1,200	約 100	約 500	-	約 200	約 100	約 1,900
兵庫県	約 600	約 50	約 2,300	約 10	約 20	約 20	約 2,900
奈良県	約 600	約 40	-	約 10	-	約 10	約 600
和歌山県	約 2,500	約 100	約 35,000	約 30	約 400	約 10	約 38,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 400	約 30	約 30	約 10	-	約 10	約 400
広島県	約 200	約 20	約 400	約 10	-	約 10	約 600
山口県	約 30	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,900	約 100	約 9,400	約 20	約 200	約 10	約 11,000
香川県	約 700	約 40	約 400	-	約 20	-	約 1,200
愛媛県	約 2,500	約 100	約 1,000	約 20	約 200	約 10	約 3,700
高知県	約 3,900	約 200	約 7,800	約 40	約 700	約 10	約 12,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 60	約 10	約 3,600	約 10	-	-	約 3,700
宮崎県	約 800	約 60	約 8,400	約 10	約 40	約 10	約 9,200
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 28,000	約 2,100	約 75,000	約 200	約 3,000	約 300	約 107,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 60	-	-	約 10	約 60
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	約 10	約 200
長野県	約 20	-	-	約 10	-	-	約 30
岐阜県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
静岡県	約 6,500	約 500	約 1,100	約 30	約 1,300	約 50	約 9,000
愛知県	約 7,700	約 600	約 200	約 20	約 3,100	約 100	約 11,000
三重県	約 5,700	約 300	約 4,900	約 50	約 1,300	約 20	約 12,000
滋賀県	約 200	約 20	-	-	-	約 10	約 200
京都府	約 300	約 30	-	-	約 80	約 80	約 500
大阪府	約 1,700	約 100	約 500	約 10	約 1,100	約 300	約 3,500
兵庫県	約 900	約 70	約 2,000	約 10	約 90	約 60	約 3,100
奈良県	約 900	約 50	-	約 20	約 50	約 30	約 1,000
和歌山県	約 3,800	約 200	約 35,000	約 40	約 1,400	約 20	約 40,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 600	約 40	約 30	約 10	約 30	約 20	約 700
広島県	約 300	約 20	約 400	約 20	-	約 20	約 800
山口県	約 40	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 3,000	約 200	約 9,600	約 30	約 700	約 10	約 13,000
香川県	約 1,200	約 50	約 400	約 10	約 100	約 10	約 1,800
愛媛県	約 4,100	約 200	約 1,300	約 30	約 800	約 20	約 6,300
高知県	約 6,200	約 300	約 8,700	約 70	約 1,800	約 20	約 17,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 90	約 10	約 3,300	約 20	-	-	約 3,500
宮崎県	約 1,300	約 80	約 8,400	約 20	約 200	約 10	約 9,900
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 45,000	約 2,800	約 76,000	約 400	約 12,000	約 800	約 134,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 30
神奈川県	-	-	約 60	-	-	約 10	約 60
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	約 10	約 200
長野県	約 20	-	-	約 10	-	-	約 30
岐阜県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
静岡県	約 6,500	約 500	約 1,100	約 30	約 1,700	約 50	約 9,400
愛知県	約 7,700	約 600	約 200	約 20	約 3,000	約 100	約 11,000
三重県	約 5,700	約 300	約 4,900	約 50	約 1,400	約 20	約 12,000
滋賀県	約 200	約 20	-	-	-	約 10	約 200
京都府	約 300	約 30	-	-	約 100	約 80	約 500
大阪府	約 1,700	約 100	約 500	約 10	約 1,100	約 300	約 3,600
兵庫県	約 900	約 70	約 2,000	約 10	約 100	約 60	約 3,100
奈良県	約 900	約 50	-	約 20	約 100	約 30	約 1,100
和歌山県	約 3,800	約 200	約 35,000	約 40	約 1,400	約 20	約 40,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 600	約 40	約 30	約 10	約 40	約 20	約 700
広島県	約 300	約 20	約 400	約 20	-	約 20	約 800
山口県	約 40	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 3,000	約 200	約 9,600	約 30	約 700	約 10	約 13,000
香川県	約 1,200	約 50	約 400	約 10	約 100	約 10	約 1,800
愛媛県	約 4,100	約 200	約 1,300	約 30	約 1,100	約 20	約 6,500
高知県	約 6,200	約 300	約 8,700	約 70	約 2,200	約 20	約 17,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 90	約 10	約 3,300	約 20	-	-	約 3,500
宮崎県	約 1,300	約 80	約 8,400	約 20	約 200	約 10	約 9,900
鹿児島県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 45,000	約 2,800	約 76,000	約 400	約 13,000	約 800	約 136,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	-	約 200
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
静岡県	約 8,900	約 700	約 1,000	約 60	約 700	-	約 11,000
愛知県	約 3,300	約 300	約 80	約 20	約 100	-	約 3,600
三重県	約 3,700	約 200	約 5,100	約 60	約 100	-	約 8,900
滋賀県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
大阪府	約 200	約 80	約 300	-	-	約 10	約 500
兵庫県	約 200	約 20	約 900	-	-	-	約 1,100
奈良県	約 100	約 20	-	約 10	-	-	約 100
和歌山県	約 3,000	約 100	約 17,000	約 50	約 60	-	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 40	約 10	約 40	-	-	-	約 80
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 2,600	約 200	約 9,500	約 40	約 100	-	約 12,000
香川県	約 100	約 20	約 700	-	-	-	約 800
愛媛県	約 600	約 30	約 800	約 20	-	-	約 1,400
高知県	約 5,500	約 300	約 18,000	約 100	約 300	-	約 24,000
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 80	-	-	-	約 80
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 10	約 10	約 5,500	約 10	-	-	約 5,600
宮崎県	約 600	約 50	約 8,700	約 30	-	-	約 9,300
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 29,000	約 2,000	約 69,000	約 400	約 1,400	約 10	約 100,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	-	約 200
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
静岡県	約 8,900	約 700	約 1,000	約 60	約 900	-	約 11,000
愛知県	約 3,300	約 300	約 80	約 20	約 200	-	約 3,600
三重県	約 3,700	約 200	約 5,100	約 60	約 200	-	約 9,000
滋賀県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
大阪府	約 200	約 80	約 300	-	-	約 10	約 500
兵庫県	約 200	約 20	約 900	-	-	-	約 1,100
奈良県	約 100	約 20	-	約 10	-	-	約 100
和歌山県	約 3,000	約 100	約 17,000	約 50	約 200	-	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 40	約 10	約 40	-	-	-	約 80
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 2,600	約 200	約 9,500	約 40	約 100	-	約 12,000
香川県	約 100	約 20	約 700	-	-	-	約 800
愛媛県	約 600	約 30	約 800	約 20	-	-	約 1,400
高知県	約 5,500	約 300	約 18,000	約 100	約 400	-	約 24,000
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 80	-	-	-	約 80
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 10	約 10	約 5,500	約 10	-	-	約 5,600
宮崎県	約 600	約 50	約 8,700	約 30	-	-	約 9,300
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 29,000	約 2,000	約 69,000	約 400	約 2,000	約 10	約 101,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
静岡県	約 3,800	約 400	約 800	約 20	約 400	約 30	約 5,100
愛知県	約 1,400	約 100	約 60	約 10	約 90	約 20	約 1,600
三重県	約 1,500	約 80	約 2,700	約 20	約 70	約 10	約 4,200
滋賀県	-	-	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	-	-	-	-	約 10	約 20
大阪府	約 100	約 40	約 300	-	-	約 50	約 500
兵庫県	約 100	約 10	約 1,100	-	-	約 10	約 1,200
奈良県	約 50	約 10	-	約 10	-	約 10	約 60
和歌山県	約 1,500	約 70	約 12,000	約 20	約 80	約 10	約 14,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 20	約 10	約 30	-	-	-	約 50
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,100	約 70	約 6,600	約 20	約 60	-	約 7,800
香川県	約 50	約 10	約 700	-	-	-	約 700
愛媛県	約 200	約 10	約 600	約 10	-	-	約 800
高知県	約 2,300	約 100	約 9,800	約 40	約 200	-	約 12,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
大分県	約 10	-	約 5,700	-	-	-	約 5,700
宮崎県	約 300	約 20	約 5,700	約 10	-	-	約 5,900
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 13,000	約 900	約 47,000	約 200	約 900	約 200	約 61,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
静岡県	約 3,800	約 400	約 800	約 20	約 500	約 30	約 5,200
愛知県	約 1,400	約 100	約 60	約 10	約 100	約 20	約 1,600
三重県	約 1,500	約 80	約 2,700	約 20	約 90	約 10	約 4,300
滋賀県	-	-	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	-	-	-	-	約 10	約 20
大阪府	約 100	約 40	約 300	-	-	約 50	約 500
兵庫県	約 100	約 10	約 1,100	-	-	約 10	約 1,200
奈良県	約 50	約 10	-	約 10	-	約 10	約 60
和歌山県	約 1,500	約 70	約 12,000	約 20	約 200	約 10	約 14,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 20	約 10	約 30	-	-	-	約 50
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,100	約 70	約 6,600	約 20	約 70	-	約 7,800
香川県	約 50	約 10	約 700	-	-	-	約 700
愛媛県	約 200	約 10	約 600	約 10	-	-	約 800
高知県	約 2,300	約 100	約 9,800	約 40	約 200	-	約 12,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
大分県	約 10	-	約 5,700	-	-	-	約 5,700
宮崎県	約 300	約 20	約 5,700	約 10	-	-	約 5,900
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 13,000	約 900	約 47,000	約 200	約 1,200	約 200	約 62,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	約 10	約 30
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	約 10	-	約 10	約 100
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20
静岡県	約 6,100	約 500	約 700	約 40	約 2,300	約 60	約 9,200
愛知県	約 2,400	約 200	約 70	約 10	約 500	約 60	約 3,100
三重県	約 2,500	約 100	約 2,700	約 40	約 400	約 20	約 5,600
滋賀県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	約 30	約 40
大阪府	約 200	約 50	約 300	-	約 30	約 200	約 600
兵庫県	約 200	約 20	約 1,000	-	-	約 30	約 1,200
奈良県	約 70	約 10	-	約 10	-	約 10	約 90
和歌山県	約 2,300	約 90	約 12,000	約 40	約 600	約 10	約 15,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 30	約 10	約 30	-	-	約 10	約 70
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,800	約 100	約 6,800	約 30	約 300	約 10	約 8,900
香川県	約 80	約 10	約 600	-	-	-	約 700
愛媛県	約 400	約 20	約 600	約 10	-	約 10	約 1,000
高知県	約 3,700	約 200	約 10,000	約 60	約 700	約 10	約 15,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
大分県	約 10	-	約 5,200	-	-	-	約 5,200
宮崎県	約 400	約 30	約 5,600	約 20	約 30	約 10	約 6,000
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 20,000	約 1,300	約 47,000	約 300	約 4,700	約 500	約 73,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	約 10	約 30
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	約 10	-	約 10	約 100
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20
静岡県	約 6,100	約 500	約 700	約 40	約 2,400	約 60	約 9,300
愛知県	約 2,400	約 200	約 70	約 10	約 500	約 60	約 3,100
三重県	約 2,500	約 100	約 2,700	約 40	約 400	約 20	約 5,600
滋賀県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	約 30	約 40
大阪府	約 200	約 50	約 300	-	約 30	約 200	約 600
兵庫県	約 200	約 20	約 1,000	-	約 10	約 30	約 1,200
奈良県	約 70	約 10	-	約 10	-	約 10	約 90
和歌山県	約 2,300	約 90	約 12,000	約 40	約 700	約 10	約 15,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 30	約 10	約 30	-	-	約 10	約 70
広島県	-	-	約 400	-	-	-	約 400
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,800	約 100	約 6,800	約 30	約 300	約 10	約 8,900
香川県	約 80	約 10	約 600	-	-	-	約 700
愛媛県	約 400	約 20	約 600	約 10	約 30	約 10	約 1,000
高知県	約 3,700	約 200	約 10,000	約 60	約 800	約 10	約 15,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
大分県	約 10	-	約 5,200	-	-	-	約 5,200
宮崎県	約 400	約 30	約 5,600	約 20	約 30	約 10	約 6,000
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 20,000	約 1,300	約 47,000	約 300	約 5,200	約 500	約 74,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
静岡県	約 9,300	約 800	約 900	約 50	約 200	-	約 11,000
愛知県	約 11,000	約 900	約 100	約 40	約 1,300	-	約 12,000
三重県	約 8,400	約 500	約 5,600	約 70	約 700	-	約 15,000
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300
京都府	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
大阪府	約 2,400	約 200	約 300	約 10	約 200	約 10	約 3,000
兵庫県	約 1,200	約 100	約 900	約 10	-	-	約 2,200
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300
和歌山県	約 5,000	約 300	約 18,000	約 50	約 700	-	約 24,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 800	約 60	約 50	約 20	-	-	約 900
広島県	約 500	約 40	約 500	約 30	-	-	約 1,100
山口県	約 60	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 4,400	約 300	約 10,000	約 50	約 400	-	約 15,000
香川県	約 1,800	約 90	約 900	約 10	約 20	-	約 2,700
愛媛県	約 6,000	約 300	約 1,800	約 40	約 200	-	約 8,100
高知県	約 9,100	約 500	約 19,000	約 100	約 900	-	約 29,000
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 80	-	-	-	約 80
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 100	約 10	約 5,600	約 30	-	-	約 5,700
宮崎県	約 1,900	約 100	約 9,000	約 40	約 50	-	約 11,000
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 65,000	約 4,400	約 74,000	約 600	約 4,700	約 20	約 144,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
静岡県	約 9,300	約 800	約 900	約 50	約 200	-	約 11,000
愛知県	約 11,000	約 900	約 100	約 40	約 1,400	-	約 12,000
三重県	約 8,400	約 500	約 5,600	約 70	約 800	-	約 15,000
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300
京都府	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
大阪府	約 2,400	約 200	約 300	約 10	約 300	約 10	約 3,000
兵庫県	約 1,200	約 100	約 900	約 10	約 20	-	約 2,200
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300
和歌山県	約 5,000	約 300	約 18,000	約 50	約 800	-	約 24,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 800	約 60	約 50	約 20	-	-	約 900
広島県	約 500	約 40	約 500	約 30	-	-	約 1,100
山口県	約 60	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 4,400	約 300	約 10,000	約 50	約 400	-	約 15,000
香川県	約 1,800	約 90	約 900	約 10	約 40	-	約 2,800
愛媛県	約 6,000	約 300	約 1,800	約 40	約 400	-	約 8,200
高知県	約 9,100	約 500	約 19,000	約 100	約 1,200	-	約 30,000
福岡県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 80	-	-	-	約 80
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 100	約 10	約 5,600	約 30	-	-	約 5,700
宮崎県	約 1,900	約 100	約 9,000	約 40	約 70	-	約 11,000
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 65,000	約 4,400	約 74,000	約 600	約 5,600	約 20	約 145,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
長野県	約 10	-	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 60	約 10	-	-	-	-	約 70
静岡県	約 4,200	約 400	約 700	約 20	約 100	約 20	約 5,100
愛知県	約 4,500	約 400	約 90	約 10	約 700	約 40	約 5,300
三重県	約 3,500	約 200	約 2,900	約 30	約 400	約 10	約 6,700
滋賀県	約 100	約 20	-	-	-	約 10	約 100
京都府	約 200	約 20	-	-	-	約 30	約 200
大阪府	約 1,200	約 100	約 300	-	約 100	約 100	約 1,700
兵庫県	約 600	約 50	約 1,100	約 10	約 10	約 20	約 1,700
奈良県	約 600	約 40	-	約 10	-	約 10	約 600
和歌山県	約 2,500	約 100	約 13,000	約 30	約 400	約 10	約 16,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 400	約 30	約 40	約 10	-	約 10	約 400
広島県	約 200	約 20	約 500	約 10	-	約 10	約 700
山口県	約 30	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 1,900	約 100	約 6,900	約 20	約 200	約 10	約 9,100
香川県	約 700	約 40	約 800	-	約 10	-	約 1,500
愛媛県	約 2,500	約 100	約 1,000	約 20	約 100	約 10	約 3,700
高知県	約 3,900	約 200	約 11,000	約 40	約 500	約 10	約 15,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
大分県	約 60	約 10	約 5,700	約 10	-	-	約 5,800
宮崎県	約 800	約 60	約 5,800	約 10	約 30	約 10	約 6,600
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 28,000	約 2,100	約 50,000	約 200	約 2,600	約 300	約 81,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
長野県	約 10	-	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 60	約 10	-	-	-	-	約 70
静岡県	約 4,200	約 400	約 700	約 20	約 100	約 20	約 5,100
愛知県	約 4,500	約 400	約 90	約 10	約 700	約 40	約 5,300
三重県	約 3,500	約 200	約 2,900	約 30	約 400	約 10	約 6,800
滋賀県	約 100	約 20	-	-	-	約 10	約 100
京都府	約 200	約 20	-	-	-	約 30	約 200
大阪府	約 1,200	約 100	約 300	-	約 200	約 100	約 1,700
兵庫県	約 600	約 50	約 1,100	約 10	約 20	約 20	約 1,800
奈良県	約 600	約 40	-	約 10	-	約 10	約 600
和歌山県	約 2,500	約 100	約 13,000	約 30	約 500	約 10	約 16,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 400	約 30	約 40	約 10	-	約 10	約 400
広島県	約 200	約 20	約 500	約 10	-	約 10	約 700
山口県	約 30	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 1,900	約 100	約 6,900	約 20	約 200	約 10	約 9,100
香川県	約 700	約 40	約 800	-	約 20	-	約 1,500
愛媛県	約 2,500	約 100	約 1,000	約 20	約 200	約 10	約 3,700
高知県	約 3,900	約 200	約 11,000	約 40	約 600	約 10	約 15,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
大分県	約 60	約 10	約 5,700	約 10	-	-	約 5,800
宮崎県	約 800	約 60	約 5,800	約 10	約 40	約 10	約 6,600
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 28,000	約 2,100	約 50,000	約 200	約 3,000	約 300	約 81,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	約 10	約 30
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	約 10	約 200
長野県	約 20	-	-	約 10	-	-	約 30
岐阜県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
静岡県	約 6,500	約 500	約 700	約 30	約 1,300	約 50	約 8,500
愛知県	約 7,700	約 600	約 100	約 20	約 3,100	約 100	約 11,000
三重県	約 5,700	約 300	約 3,100	約 50	約 1,400	約 20	約 10,000
滋賀県	約 200	約 20	-	-	-	約 10	約 200
京都府	約 300	約 30	-	-	約 80	約 80	約 500
大阪府	約 1,700	約 100	約 300	約 10	約 1,100	約 300	約 3,300
兵庫県	約 900	約 70	約 1,000	約 10	約 90	約 60	約 2,100
奈良県	約 900	約 50	-	約 20	約 50	約 30	約 1,000
和歌山県	約 3,800	約 200	約 13,000	約 40	約 1,500	約 20	約 18,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 600	約 40	約 40	約 10	約 30	約 20	約 700
広島県	約 300	約 20	約 500	約 20	-	約 20	約 800
山口県	約 40	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 3,000	約 200	約 7,300	約 30	約 800	約 10	約 11,000
香川県	約 1,200	約 50	約 800	約 10	約 100	約 10	約 2,100
愛媛県	約 4,100	約 200	約 1,300	約 30	約 800	約 20	約 6,300
高知県	約 6,200	約 300	約 11,000	約 70	約 1,700	約 20	約 19,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
大分県	約 90	約 10	約 5,300	約 20	-	-	約 5,400
宮崎県	約 1,300	約 80	約 5,800	約 20	約 200	約 10	約 7,300
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 45,000	約 2,800	約 51,000	約 400	約 12,000	約 800	約 110,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	約 50	-	-	-	約 50
神奈川県	-	-	約 20	-	-	約 10	約 30
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	約 10	約 200
長野県	約 20	-	-	約 10	-	-	約 30
岐阜県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
静岡県	約 6,500	約 500	約 700	約 30	約 1,700	約 50	約 8,900
愛知県	約 7,700	約 600	約 100	約 20	約 3,000	約 100	約 11,000
三重県	約 5,700	約 300	約 3,100	約 50	約 1,400	約 20	約 10,000
滋賀県	約 200	約 20	-	-	-	約 10	約 200
京都府	約 300	約 30	-	-	約 100	約 80	約 500
大阪府	約 1,700	約 100	約 300	約 10	約 1,100	約 300	約 3,400
兵庫県	約 900	約 70	約 1,000	約 10	約 100	約 60	約 2,100
奈良県	約 900	約 50	-	約 20	約 100	約 30	約 1,100
和歌山県	約 3,800	約 200	約 13,000	約 40	約 1,600	約 20	約 18,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 600	約 40	約 40	約 10	約 40	約 20	約 700
広島県	約 300	約 20	約 500	約 20	-	約 20	約 800
山口県	約 40	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 3,000	約 200	約 7,300	約 30	約 800	約 10	約 11,000
香川県	約 1,200	約 50	約 800	約 10	約 100	約 10	約 2,100
愛媛県	約 4,100	約 200	約 1,300	約 30	約 1,100	約 20	約 6,500
高知県	約 6,200	約 300	約 11,000	約 70	約 2,100	約 20	約 20,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
大分県	約 90	約 10	約 5,300	約 20	-	-	約 5,400
宮崎県	約 1,300	約 80	約 5,800	約 20	約 200	約 10	約 7,300
鹿児島県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 45,000	約 2,800	約 51,000	約 400	約 14,000	約 800	約 111,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	-	約 200
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
静岡県	約 8,900	約 700	約 800	約 60	約 700	-	約 10,000
愛知県	約 3,300	約 300	約 80	約 20	約 100	-	約 3,600
三重県	約 3,700	約 200	約 4,500	約 60	約 100	-	約 8,300
滋賀県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
大阪府	約 200	約 80	約 200	-	-	約 10	約 400
兵庫県	約 200	約 20	約 500	-	-	-	約 800
奈良県	約 100	約 20	-	約 10	-	-	約 100
和歌山県	約 3,000	約 100	約 11,000	約 50	約 60	-	約 14,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 40	約 10	約 40	-	-	-	約 80
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
徳島県	約 2,600	約 200	約 4,800	約 40	約 100	-	約 7,600
香川県	約 100	約 20	約 700	-	-	-	約 800
愛媛県	約 600	約 30	約 1,600	約 20	-	-	約 2,300
高知県	約 5,500	約 300	約 13,000	約 100	約 300	-	約 19,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
大分県	約 10	約 10	約 6,500	約 10	-	-	約 6,500
宮崎県	約 600	約 50	約 22,000	約 30	-	-	約 23,000
鹿児島県	-	-	約 700	-	-	-	約 700
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 29,000	約 2,000	約 68,000	約 400	約 1,500	約 10	約 99,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	-	約 200
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
静岡県	約 8,900	約 700	約 800	約 60	約 900	-	約 11,000
愛知県	約 3,300	約 300	約 80	約 20	約 200	-	約 3,600
三重県	約 3,700	約 200	約 4,500	約 60	約 200	-	約 8,400
滋賀県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
大阪府	約 200	約 80	約 200	-	-	約 10	約 400
兵庫県	約 200	約 20	約 500	-	-	-	約 800
奈良県	約 100	約 20	-	約 10	-	-	約 100
和歌山県	約 3,000	約 100	約 11,000	約 50	約 200	-	約 15,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 40	約 10	約 40	-	-	-	約 80
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
徳島県	約 2,600	約 200	約 4,800	約 40	約 100	-	約 7,600
香川県	約 100	約 20	約 700	-	-	-	約 800
愛媛県	約 600	約 30	約 1,600	約 20	-	-	約 2,300
高知県	約 5,500	約 300	約 13,000	約 100	約 400	-	約 19,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
大分県	約 10	約 10	約 6,500	約 10	-	-	約 6,500
宮崎県	約 600	約 50	約 22,000	約 30	-	-	約 23,000
鹿児島県	-	-	約 700	-	-	-	約 700
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 29,000	約 2,000	約 68,000	約 400	約 2,000	約 10	約 100,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 10	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
静岡県	約 3,800	約 400	約 700	約 20	約 400	約 30	約 5,000
愛知県	約 1,400	約 100	約 60	約 10	約 90	約 20	約 1,600
三重県	約 1,500	約 80	約 2,400	約 20	約 60	約 10	約 4,000
滋賀県	-	-	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	-	-	-	-	約 10	約 20
大阪府	約 100	約 40	約 200	-	-	約 50	約 400
兵庫県	約 100	約 10	約 600	-	-	約 10	約 800
奈良県	約 50	約 10	-	約 10	-	約 10	約 60
和歌山県	約 1,500	約 70	約 8,100	約 20	約 80	約 10	約 9,700
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 20	約 10	約 30	-	-	-	約 60
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
徳島県	約 1,100	約 70	約 3,800	約 20	約 70	-	約 5,000
香川県	約 50	約 10	約 700	-	-	-	約 700
愛媛県	約 200	約 10	約 1,400	約 10	-	-	約 1,700
高知県	約 2,300	約 100	約 7,800	約 40	約 200	-	約 10,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 10	-	約 6,600	-	-	-	約 6,600
宮崎県	約 300	約 20	約 12,000	約 10	-	-	約 12,000
鹿児島県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 13,000	約 900	約 46,000	約 200	約 900	約 200	約 60,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 10	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
静岡県	約 3,800	約 400	約 700	約 20	約 500	約 30	約 5,100
愛知県	約 1,400	約 100	約 60	約 10	約 100	約 20	約 1,600
三重県	約 1,500	約 80	約 2,400	約 20	約 90	約 10	約 4,100
滋賀県	-	-	-	-	-	-	約 10
京都府	約 10	-	-	-	-	約 10	約 20
大阪府	約 100	約 40	約 200	-	-	約 50	約 400
兵庫県	約 100	約 10	約 600	-	-	約 10	約 800
奈良県	約 50	約 10	-	約 10	-	約 10	約 60
和歌山県	約 1,500	約 70	約 8,100	約 20	約 200	約 10	約 9,800
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 20	約 10	約 30	-	-	-	約 60
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
徳島県	約 1,100	約 70	約 3,800	約 20	約 70	-	約 5,000
香川県	約 50	約 10	約 700	-	-	-	約 700
愛媛県	約 200	約 10	約 1,400	約 10	-	-	約 1,700
高知県	約 2,300	約 100	約 7,800	約 40	約 200	-	約 10,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 10	-	約 6,600	-	-	-	約 6,600
宮崎県	約 300	約 20	約 12,000	約 10	-	-	約 12,000
鹿児島県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 13,000	約 900	約 46,000	約 200	約 1,200	約 200	約 60,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 10	-	-	約 10	約 30
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	約 10	-	約 10	約 100
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20
静岡県	約 6,100	約 500	約 600	約 40	約 2,300	約 60	約 9,100
愛知県	約 2,400	約 200	約 70	約 10	約 500	約 60	約 3,100
三重県	約 2,500	約 100	約 2,500	約 40	約 400	約 20	約 5,400
滋賀県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	約 30	約 40
大阪府	約 200	約 50	約 200	-	約 30	約 200	約 500
兵庫県	約 200	約 20	約 600	-	-	約 30	約 800
奈良県	約 70	約 10	-	約 10	-	約 10	約 90
和歌山県	約 2,300	約 90	約 8,200	約 40	約 600	約 10	約 11,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 30	約 10	約 30	-	-	約 10	約 70
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,800	約 100	約 4,000	約 30	約 300	約 10	約 6,100
香川県	約 80	約 10	約 600	-	-	-	約 700
愛媛県	約 400	約 20	約 1,300	約 10	-	約 10	約 1,800
高知県	約 3,700	約 200	約 8,200	約 60	約 700	約 10	約 13,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 10	-	約 6,100	-	-	-	約 6,100
宮崎県	約 400	約 30	約 12,000	約 20	約 20	約 10	約 12,000
鹿児島県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 20,000	約 1,300	約 46,000	約 300	約 4,800	約 500	約 72,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 10	-	-	約 10	約 30
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	約 10	-	約 10	約 100
長野県	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20
静岡県	約 6,100	約 500	約 600	約 40	約 2,400	約 60	約 9,200
愛知県	約 2,400	約 200	約 70	約 10	約 500	約 60	約 3,100
三重県	約 2,500	約 100	約 2,500	約 40	約 400	約 20	約 5,400
滋賀県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府	約 10	約 10	-	-	-	約 30	約 40
大阪府	約 200	約 50	約 200	-	約 30	約 200	約 500
兵庫県	約 200	約 20	約 600	-	約 10	約 30	約 800
奈良県	約 70	約 10	-	約 10	-	約 10	約 90
和歌山県	約 2,300	約 90	約 8,200	約 40	約 700	約 10	約 11,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 30	約 10	約 30	-	-	約 10	約 70
広島県	-	-	約 500	-	-	-	約 500
山口県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
徳島県	約 1,800	約 100	約 4,000	約 30	約 300	約 10	約 6,200
香川県	約 80	約 10	約 600	-	-	-	約 700
愛媛県	約 400	約 20	約 1,300	約 10	約 30	約 10	約 1,800
高知県	約 3,700	約 200	約 8,200	約 60	約 900	約 10	約 13,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 10	-	約 6,100	-	-	-	約 6,100
宮崎県	約 400	約 30	約 12,000	約 20	約 30	約 10	約 12,000
鹿児島県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 20,000	約 1,300	約 46,000	約 300	約 5,200	約 500	約 72,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
静岡県	約 9,300	約 800	約 700	約 50	約 200	-	約 10,000
愛知県	約 11,000	約 900	約 100	約 40	約 1,300	-	約 12,000
三重県	約 8,400	約 500	約 5,200	約 70	約 700	-	約 14,000
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300
京都府	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
大阪府	約 2,400	約 200	約 200	約 10	約 200	約 10	約 2,900
兵庫県	約 1,200	約 100	約 600	約 10	-	-	約 1,800
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300
和歌山県	約 5,000	約 300	約 12,000	約 50	約 700	-	約 18,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 800	約 60	約 60	約 20	-	-	約 900
広島県	約 500	約 40	約 600	約 30	-	-	約 1,100
山口県	約 60	-	約 300	-	-	-	約 300
徳島県	約 4,400	約 300	約 5,600	約 50	約 400	-	約 10,000
香川県	約 1,800	約 90	約 900	約 10	約 20	-	約 2,700
愛媛県	約 6,000	約 300	約 2,700	約 40	約 200	-	約 9,000
高知県	約 9,100	約 500	約 14,000	約 100	約 900	-	約 24,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
大分県	約 100	約 10	約 6,600	約 30	-	-	約 6,700
宮崎県	約 1,900	約 100	約 23,000	約 40	約 50	-	約 25,000
鹿児島県	-	-	約 700	-	-	-	約 700
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 65,000	約 4,400	約 73,000	約 600	約 4,700	約 20	約 143,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 300	約 20	-	約 10	-	-	約 300
長野県	約 30	約 10	-	約 10	-	-	約 40
岐阜県	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
静岡県	約 9,300	約 800	約 700	約 50	約 200	-	約 10,000
愛知県	約 11,000	約 900	約 100	約 40	約 1,400	-	約 12,000
三重県	約 8,400	約 500	約 5,200	約 70	約 800	-	約 14,000
滋賀県	約 300	約 40	-	約 10	-	-	約 300
京都府	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
大阪府	約 2,400	約 200	約 200	約 10	約 300	約 10	約 2,900
兵庫県	約 1,200	約 100	約 600	約 10	約 20	-	約 1,800
奈良県	約 1,300	約 90	-	約 20	-	-	約 1,300
和歌山県	約 5,000	約 300	約 12,000	約 50	約 800	-	約 18,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 800	約 60	約 60	約 20	-	-	約 900
広島県	約 500	約 40	約 600	約 30	-	-	約 1,100
山口県	約 60	-	約 300	-	-	-	約 300
徳島県	約 4,400	約 300	約 5,600	約 50	約 400	-	約 10,000
香川県	約 1,800	約 90	約 900	約 10	約 40	-	約 2,700
愛媛県	約 6,000	約 300	約 2,700	約 40	約 400	-	約 9,200
高知県	約 9,100	約 500	約 14,000	約 100	約 1,300	-	約 25,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
大分県	約 100	約 10	約 6,600	約 30	-	-	約 6,700
宮崎県	約 1,900	約 100	約 23,000	約 40	約 60	-	約 25,000
鹿児島県	-	-	約 700	-	-	-	約 700
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 65,000	約 4,400	約 73,000	約 600	約 5,600	約 20	約 144,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 10	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
長野県	約 10	-	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 60	約 10	-	-	-	-	約 70
静岡県	約 4,200	約 400	約 600	約 20	約 100	約 20	約 4,900
愛知県	約 4,500	約 400	約 90	約 10	約 700	約 40	約 5,300
三重県	約 3,500	約 200	約 2,700	約 30	約 300	約 10	約 6,600
滋賀県	約 100	約 20	-	-	-	約 10	約 100
京都府	約 200	約 20	-	-	-	約 30	約 200
大阪府	約 1,200	約 100	約 200	-	約 100	約 100	約 1,600
兵庫県	約 600	約 50	約 700	約 10	約 10	約 20	約 1,300
奈良県	約 600	約 40	-	約 10	-	約 10	約 600
和歌山県	約 2,500	約 100	約 8,400	約 30	約 400	約 10	約 11,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 400	約 30	約 50	約 10	-	約 10	約 400
広島県	約 200	約 20	約 500	約 10	-	約 10	約 700
山口県	約 30	-	約 300	-	-	-	約 300
徳島県	約 1,900	約 100	約 4,100	約 20	約 200	約 10	約 6,200
香川県	約 700	約 40	約 700	-	約 10	-	約 1,500
愛媛県	約 2,500	約 100	約 1,800	約 20	約 100	約 10	約 4,500
高知県	約 3,900	約 200	約 8,400	約 40	約 500	約 10	約 13,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 60	約 10	約 6,600	約 10	-	-	約 6,600
宮崎県	約 800	約 60	約 12,000	約 10	約 30	約 10	約 13,000
鹿児島県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 28,000	約 2,100	約 48,000	約 200	約 2,600	約 300	約 79,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 10	-	-	-	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
長野県	約 10	-	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 60	約 10	-	-	-	-	約 70
静岡県	約 4,200	約 400	約 600	約 20	約 100	約 20	約 5,000
愛知県	約 4,500	約 400	約 90	約 10	約 700	約 40	約 5,300
三重県	約 3,500	約 200	約 2,700	約 30	約 400	約 10	約 6,600
滋賀県	約 100	約 20	-	-	-	約 10	約 100
京都府	約 200	約 20	-	-	-	約 30	約 200
大阪府	約 1,200	約 100	約 200	-	約 200	約 100	約 1,600
兵庫県	約 600	約 50	約 700	約 10	約 20	約 20	約 1,300
奈良県	約 600	約 40	-	約 10	-	約 10	約 600
和歌山県	約 2,500	約 100	約 8,400	約 30	約 500	約 10	約 11,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 400	約 30	約 50	約 10	-	約 10	約 400
広島県	約 200	約 20	約 500	約 10	-	約 10	約 700
山口県	約 30	-	約 300	-	-	-	約 300
徳島県	約 1,900	約 100	約 4,100	約 20	約 200	約 10	約 6,300
香川県	約 700	約 40	約 700	-	約 20	-	約 1,500
愛媛県	約 2,500	約 100	約 1,800	約 20	約 200	約 10	約 4,600
高知県	約 3,900	約 200	約 8,400	約 40	約 700	約 10	約 13,000
福岡県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 200	-	-	-	約 200
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 60	約 10	約 6,600	約 10	-	-	約 6,600
宮崎県	約 800	約 60	約 12,000	約 10	約 40	約 10	約 13,000
鹿児島県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 28,000	約 2,100	約 48,000	約 200	約 3,000	約 300	約 80,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 10	-	-	約 10	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	約 10	約 200
長野県	約 20	-	-	約 10	-	-	約 30
岐阜県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
静岡県	約 6,500	約 500	約 600	約 30	約 1,300	約 50	約 8,400
愛知県	約 7,700	約 600	約 100	約 20	約 3,100	約 100	約 11,000
三重県	約 5,700	約 300	約 3,000	約 50	約 1,400	約 20	約 10,000
滋賀県	約 200	約 20	-	-	-	約 10	約 200
京都府	約 300	約 30	-	-	約 80	約 80	約 500
大阪府	約 1,700	約 100	約 200	約 10	約 1,100	約 300	約 3,200
兵庫県	約 900	約 70	約 600	約 10	約 90	約 60	約 1,700
奈良県	約 900	約 50	-	約 20	約 50	約 30	約 1,000
和歌山県	約 3,800	約 200	約 8,800	約 40	約 1,600	約 20	約 14,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 600	約 40	約 50	約 10	約 30	約 20	約 700
広島県	約 300	約 20	約 500	約 20	-	約 20	約 900
山口県	約 40	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 3,000	約 200	約 4,500	約 30	約 900	約 10	約 8,500
香川県	約 1,200	約 50	約 800	約 10	約 100	約 10	約 2,100
愛媛県	約 4,100	約 200	約 2,100	約 30	約 800	約 20	約 7,100
高知県	約 6,200	約 300	約 9,300	約 70	約 1,700	約 20	約 17,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 90	約 10	約 6,100	約 20	-	-	約 6,200
宮崎県	約 1,300	約 80	約 12,000	約 20	約 200	約 10	約 13,000
鹿児島県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 45,000	約 2,800	約 50,000	約 400	約 12,000	約 800	約 108,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

死者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60
神奈川県	-	-	約 10	-	-	約 10	約 20
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 200	約 10	-	約 10	-	約 10	約 200
長野県	約 20	-	-	約 10	-	-	約 30
岐阜県	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
静岡県	約 6,500	約 500	約 600	約 30	約 1,700	約 50	約 8,800
愛知県	約 7,700	約 600	約 100	約 20	約 3,000	約 100	約 11,000
三重県	約 5,700	約 300	約 3,000	約 50	約 1,400	約 20	約 10,000
滋賀県	約 200	約 20	-	-	-	約 10	約 200
京都府	約 300	約 30	-	-	約 100	約 80	約 500
大阪府	約 1,700	約 100	約 200	約 10	約 1,100	約 300	約 3,300
兵庫県	約 900	約 70	約 600	約 10	約 100	約 60	約 1,700
奈良県	約 900	約 50	-	約 20	約 100	約 30	約 1,100
和歌山県	約 3,800	約 200	約 8,800	約 40	約 1,600	約 20	約 14,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 600	約 40	約 50	約 10	約 40	約 20	約 700
広島県	約 300	約 20	約 500	約 20	-	約 20	約 900
山口県	約 40	-	約 200	-	-	-	約 300
徳島県	約 3,000	約 200	約 4,500	約 30	約 900	約 10	約 8,500
香川県	約 1,200	約 50	約 800	約 10	約 100	約 10	約 2,100
愛媛県	約 4,100	約 200	約 2,100	約 30	約 1,100	約 20	約 7,300
高知県	約 6,200	約 300	約 9,300	約 70	約 2,100	約 20	約 18,000
福岡県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
大分県	約 90	約 10	約 6,100	約 20	-	-	約 6,200
宮崎県	約 1,300	約 80	約 12,000	約 20	約 200	約 10	約 13,000
鹿児島県	-	-	約 600	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
合計	約 45,000	約 2,800	約 50,000	約 400	約 14,000	約 800	約 109,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】都府県別の負傷者数

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 70	-	-	-	約 70
神奈川県	約 200	約 200	約 300	-	-	約 10	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 3,100	約 500	-	約 10	-	約 10	約 3,100
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,400	約 300	-	-	-	-	約 1,400
静岡県	約 62,000	約 16,000	約 7,800	約 70	約 1,000	約 60	約 71,000
愛知県	約 34,000	約 8,300	約 200	約 20	約 300	約 40	約 34,000
三重県	約 33,000	約 3,900	約 800	約 80	約 80	約 10	約 34,000
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	-	約 1,000
京都府	約 1,200	約 700	-	-	-	約 30	約 1,300
大阪府	約 9,100	約 4,200	-	-	約 10	約 200	約 9,300
兵庫県	約 4,800	約 1,400	約 30	-	-	約 30	約 4,900
奈良県	約 3,700	約 800	-	約 10	-	約 10	約 3,700
和歌山県	約 23,000	約 2,900	約 1,200	約 60	約 60	約 10	約 24,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,500	約 600	-	約 10	-	約 10	約 2,500
広島県	約 100	約 80	約 60	-	-	-	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 20,000	約 3,300	約 400	約 50	約 200	約 10	約 21,000
香川県	約 3,400	約 500	約 30	-	-	-	約 3,500
愛媛県	約 8,800	約 900	約 200	約 30	-	約 10	約 9,000
高知県	約 31,000	約 5,200	約 300	約 100	約 300	約 10	約 32,000
福岡県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 100	約 80	-	-	-	-	約 100
大分県	約 600	約 300	約 400	約 10	-	-	約 1,000
宮崎県	約 8,800	約 1,300	約 1,500	約 40	-	約 10	約 10,000
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	-	約 400
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 252,000	約 52,000	約 14,000	約 500	約 1,900	約 500	約 269,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 70	-	-	-	約 70
神奈川県	約 200	約 200	約 300	-	-	約 10	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 3,100	約 500	-	約 10	-	約 10	約 3,100
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,400	約 300	-	-	-	-	約 1,400
静岡県	約 62,000	約 16,000	約 7,800	約 70	約 1,200	約 60	約 72,000
愛知県	約 34,000	約 8,300	約 200	約 20	約 400	約 40	約 34,000
三重県	約 33,000	約 3,900	約 800	約 80	約 100	約 10	約 34,000
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	-	約 1,000
京都府	約 1,200	約 700	-	-	-	約 30	約 1,300
大阪府	約 9,100	約 4,200	-	-	約 20	約 200	約 9,300
兵庫県	約 4,800	約 1,400	約 30	-	-	約 30	約 4,900
奈良県	約 3,700	約 800	-	約 10	-	約 10	約 3,700
和歌山県	約 23,000	約 2,900	約 1,200	約 60	約 300	約 10	約 24,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,500	約 600	-	約 10	-	約 10	約 2,500
広島県	約 100	約 80	約 60	-	-	-	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 20,000	約 3,300	約 400	約 50	約 200	約 10	約 21,000
香川県	約 3,400	約 500	約 30	-	-	-	約 3,500
愛媛県	約 8,800	約 900	約 200	約 30	-	約 10	約 9,000
高知県	約 31,000	約 5,200	約 300	約 100	約 400	約 10	約 32,000
福岡県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 100	約 80	-	-	-	-	約 100
大分県	約 600	約 300	約 400	約 10	-	-	約 1,000
宮崎県	約 8,800	約 1,300	約 1,500	約 40	約 10	約 10	約 10,000
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	-	約 400
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 252,000	約 52,000	約 14,000	約 500	約 2,600	約 500	約 270,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 30	-	約 10	-	約 40
神奈川県	約 300	約 200	約 200	-	-	約 200	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,500	約 400	-	-	-	約 100	約 2,600
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 40	約 1,000
静岡県	約 61,000	約 13,000	約 4,900	約 30	約 1,300	約 1,000	約 68,000
愛知県	約 26,000	約 6,700	約 200	約 10	約 400	約 800	約 27,000
三重県	約 29,000	約 3,100	約 600	約 30	約 100	約 200	約 30,000
滋賀県	約 800	約 300	-	-	-	約 80	約 800
京都府	約 900	約 600	-	-	-	約 500	約 1,400
大阪府	約 6,200	約 3,600	約 10	-	約 10	約 1,800	約 8,100
兵庫県	約 3,200	約 1,100	約 70	-	-	約 400	約 3,700
奈良県	約 2,300	約 600	-	約 10	-	約 200	約 2,500
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 900	約 30	約 200	約 200	約 20,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,600	約 500	-	-	-	約 100	約 1,700
広島県	約 100	約 90	約 100	-	-	約 20	約 300
山口県	約 30	約 10	約 90	-	-	-	約 100
徳島県	約 18,000	約 2,700	約 400	約 20	約 300	約 200	約 19,000
香川県	約 2,900	約 400	約 20	-	-	約 70	約 3,000
愛媛県	約 6,500	約 700	約 200	約 10	-	約 100	約 6,800
高知県	約 32,000	約 4,200	約 300	約 50	約 300	約 200	約 33,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 200	約 90	-	-	-	約 30	約 200
大分県	約 500	約 200	約 400	-	-	約 30	約 900
宮崎県	約 7,400	約 1,100	約 1,200	約 20	-	約 100	約 8,700
鹿児島県	約 300	約 80	約 100	-	-	約 10	約 400
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 221,000	約 42,000	約 10,000	約 200	約 2,700	約 6,400	約 240,000

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 30	-	約 10	-	約 40
神奈川県	約 300	約 200	約 200	-	-	約 200	約 700
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,500	約 400	-	-	-	約 100	約 2,600
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 40	約 1,000
静岡県	約 61,000	約 13,000	約 4,900	約 30	約 1,500	約 1,000	約 68,000
愛知県	約 26,000	約 6,700	約 200	約 10	約 500	約 800	約 27,000
三重県	約 29,000	約 3,100	約 600	約 30	約 200	約 200	約 30,000
滋賀県	約 800	約 300	-	-	-	約 80	約 800
京都府	約 900	約 600	-	-	-	約 500	約 1,400
大阪府	約 6,200	約 3,600	約 10	-	約 50	約 1,800	約 8,100
兵庫県	約 3,200	約 1,100	約 70	-	-	約 400	約 3,700
奈良県	約 2,300	約 600	-	約 10	-	約 200	約 2,500
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 900	約 30	約 400	約 200	約 20,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,600	約 500	-	-	-	約 100	約 1,700
広島県	約 100	約 90	約 100	-	-	約 20	約 300
山口県	約 30	約 10	約 90	-	-	-	約 100
徳島県	約 18,000	約 2,700	約 400	約 20	約 300	約 200	約 19,000
香川県	約 2,900	約 400	約 20	-	-	約 70	約 3,000
愛媛県	約 6,500	約 700	約 200	約 10	-	約 100	約 6,800
高知県	約 32,000	約 4,200	約 300	約 50	約 400	約 200	約 33,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 200	約 90	-	-	-	約 30	約 200
大分県	約 500	約 200	約 400	-	-	約 30	約 900
宮崎県	約 7,400	約 1,100	約 1,200	約 20	約 20	約 100	約 8,800
鹿児島県	約 300	約 80	約 100	-	-	約 10	約 400
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 221,000	約 42,000	約 10,000	約 200	約 3,400	約 6,400	約 241,000

-：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬18時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 40	-	約 10	-	約 50
神奈川県	約 200	約 100	約 200	-	約 10	約 400	約 800
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,200	約 400	-	約 10	-	約 200	約 2,400
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 70	約 1,100
静岡県	約 50,000	約 12,000	約 4,600	約 50	約 3,700	約 2,100	約 61,000
愛知県	約 26,000	約 6,600	約 200	約 20	約 2,200	約 2,200	約 30,000
三重県	約 24,000	約 3,000	約 600	約 50	約 500	約 500	約 26,000
滋賀県	約 700	約 300	-	-	-	約 200	約 900
京都府	約 900	約 600	-	-	約 10	約 1,200	約 2,100
大阪府	約 6,900	約 3,500	約 10	-	約 3,500	約 5,400	約 16,000
兵庫県	約 3,500	約 1,100	約 60	-	約 20	約 1,100	約 4,700
奈良県	約 2,500	約 600	-	約 10	約 10	約 500	約 3,000
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 900	約 50	約 1,100	約 400	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,700	約 500	-	-	-	約 200	約 1,900
広島県	約 90	約 70	約 80	-	-	約 40	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 15,000	約 2,600	約 300	約 30	約 800	約 400	約 17,000
香川県	約 2,400	約 400	約 20	-	約 10	約 100	約 2,600
愛媛県	約 6,000	約 700	約 200	約 20	約 10	約 200	約 6,400
高知県	約 24,000	約 4,000	約 300	約 80	約 800	約 400	約 26,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 100	約 70	-	-	-	約 70	約 200
大分県	約 400	約 200	約 300	約 10	-	約 80	約 900
宮崎県	約 6,400	約 1,000	約 1,200	約 30	約 300	約 300	約 8,100
鹿児島県	約 200	約 70	約 100	-	-	約 20	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 193,000	約 40,000	約 9,700	約 400	約 13,000	約 16,000	約 232,000

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 40	-	約 10	-	約 50
神奈川県	約 200	約 100	約 200	-	約 10	約 400	約 800
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,200	約 400	-	約 10	-	約 200	約 2,400
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 70	約 1,100
静岡県	約 50,000	約 12,000	約 4,600	約 50	約 3,900	約 2,100	約 61,000
愛知県	約 26,000	約 6,600	約 200	約 20	約 2,300	約 2,200	約 30,000
三重県	約 24,000	約 3,000	約 600	約 50	約 600	約 500	約 26,000
滋賀県	約 700	約 300	-	-	-	約 200	約 900
京都府	約 900	約 600	-	-	約 300	約 1,200	約 2,400
大阪府	約 6,900	約 3,500	約 10	-	約 4,500	約 5,400	約 17,000
兵庫県	約 3,500	約 1,100	約 60	-	約 100	約 1,100	約 4,800
奈良県	約 2,500	約 600	-	約 10	約 10	約 500	約 3,000
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 900	約 50	約 1,200	約 400	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,700	約 500	-	-	約 30	約 200	約 1,900
広島県	約 90	約 70	約 80	-	-	約 40	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 15,000	約 2,600	約 300	約 30	約 700	約 400	約 17,000
香川県	約 2,400	約 400	約 20	-	約 10	約 100	約 2,600
愛媛県	約 6,000	約 700	約 200	約 20	約 50	約 200	約 6,500
高知県	約 24,000	約 4,000	約 300	約 80	約 1,000	約 400	約 26,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 100	約 70	-	-	-	約 70	約 200
大分県	約 400	約 200	約 300	約 10	-	約 80	約 900
宮崎県	約 6,400	約 1,000	約 1,200	約 30	約 300	約 300	約 8,200
鹿児島県	約 200	約 70	約 100	-	-	約 20	約 300
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 193,000	約 40,000	約 9,700	約 400	約 15,000	約 16,000	約 234,000

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 70	-	-	-	約 80
神奈川県	約 100	約 100	約 300	-	-	-	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 50	約 40	-	-	-	-	約 50
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900
静岡県	約 59,000	約 17,000	約 7,800	約 60	約 200	約 50	約 67,000
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 200	約 40	約 2,000	約 80	約 81,000
三重県	約 59,000	約 9,000	約 800	約 90	約 400	約 20	約 60,000
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000
京都府	約 8,900	約 1,900	-	-	-	約 70	約 9,000
大阪府	約 35,000	約 9,500	-	約 10	約 2,100	約 300	約 37,000
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 30	約 20	約 10	約 50	約 17,000
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 10	約 20	約 15,000
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 1,100	約 70	約 700	約 20	約 34,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 14,000	約 1,700	-	約 20	約 10	約 20	約 15,000
広島県	約 8,700	約 1,500	約 60	約 30	-	約 20	約 8,900
山口県	約 1,600	約 100	約 70	約 10	-	-	約 1,600
徳島県	約 28,000	約 5,700	約 400	約 60	約 400	約 10	約 29,000
香川県	約 19,000	約 1,900	約 30	約 20	約 20	約 10	約 19,000
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 200	約 50	約 300	約 20	約 42,000
高知県	約 43,000	約 9,400	約 300	約 100	約 500	約 20	約 44,000
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 300	約 100	-	-	-	-	約 300
大分県	約 3,100	約 500	約 400	約 30	-	-	約 3,600
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,500	約 50	約 100	約 10	約 19,000
鹿児島県	約 500	約 100	約 100	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 501,000	約 103,000	約 14,000	約 800	約 6,900	約 800	約 523,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 70	-	-	-	約 80
神奈川県	約 100	約 100	約 300	-	-	-	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 50	約 40	-	-	-	-	約 50
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900
静岡県	約 59,000	約 17,000	約 7,800	約 60	約 200	約 50	約 67,000
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 200	約 40	約 2,100	約 80	約 81,000
三重県	約 59,000	約 9,000	約 800	約 90	約 500	約 20	約 60,000
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000
京都府	約 8,900	約 1,900	-	-	約 40	約 70	約 9,000
大阪府	約 35,000	約 9,500	-	約 10	約 3,000	約 300	約 38,000
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 30	約 20	約 30	約 50	約 17,000
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 20	約 20	約 15,000
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 1,100	約 70	約 800	約 20	約 34,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 14,000	約 1,700	-	約 20	約 40	約 20	約 15,000
広島県	約 8,700	約 1,500	約 60	約 30	-	約 20	約 8,900
山口県	約 1,600	約 100	約 70	約 10	-	-	約 1,600
徳島県	約 28,000	約 5,700	約 400	約 60	約 400	約 10	約 29,000
香川県	約 19,000	約 1,900	約 30	約 20	約 40	約 10	約 19,000
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 200	約 50	約 500	約 20	約 42,000
高知県	約 43,000	約 9,400	約 300	約 100	約 700	約 20	約 44,000
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 300	約 100	-	-	-	-	約 300
大分県	約 3,100	約 500	約 400	約 30	-	-	約 3,600
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,500	約 50	約 200	約 10	約 19,000
鹿児島県	約 500	約 100	約 100	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 501,000	約 103,000	約 14,000	約 800	約 8,500	約 800	約 525,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏 12 時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	約 10
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	約 10	約 10	約 30	-	約 10	約 40	約 80
神奈川県	約 200	約 100	約 200	-	-	約 80	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70
山梨県	約 4,000	約 500	-	-	-	約 100	約 4,200
長野県	約 1,100	約 200	-	-	-	約 40	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	-	約 90	約 2,800
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 4,900	約 20	約 200	約 800	約 73,000
愛知県	約 66,000	約 18,000	約 200	約 20	約 2,300	約 1,500	約 70,000
三重県	約 58,000	約 7,100	約 600	約 40	約 500	約 300	約 59,000
滋賀県	約 5,100	約 900	-	-	-	約 200	約 5,300
京都府	約 5,400	約 1,600	-	-	約 10	約 1,200	約 6,600
大阪府	約 22,000	約 8,300	約 10	約 10	約 2,600	約 3,300	約 28,000
兵庫県	約 11,000	約 2,800	約 70	約 10	約 20	約 800	約 12,000
奈良県	約 9,700	約 1,600	-	約 10	約 10	約 400	約 10,000
和歌山県	約 28,000	約 4,100	約 900	約 30	約 900	約 300	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,100	約 1,400	-	約 10	約 10	約 200	約 9,400
広島県	約 6,000	約 1,200	約 100	約 10	-	約 400	約 6,500
山口県	約 1,100	約 100	約 90	-	-	約 20	約 1,300
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 400	約 20	約 500	約 200	約 30,000
香川県	約 17,000	約 1,500	約 20	約 10	約 30	約 200	約 17,000
愛媛県	約 36,000	約 4,700	約 200	約 20	約 400	約 400	約 36,000
高知県	約 50,000	約 7,500	約 300	約 50	約 600	約 300	約 51,000
福岡県	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 300	約 100	-	-	-	約 30	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 400	約 10	-	約 70	約 2,600
宮崎県	約 16,000	約 2,300	約 1,200	約 20	約 200	約 200	約 18,000
鹿児島県	約 600	約 90	約 100	-	-	約 10	約 700
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 447,000	約 84,000	約 10,000	約 300	約 8,400	約 11,000	約 477,000

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	約 10
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	約 10	約 10	約 30	-	約 10	約 40	約 80
神奈川県	約 200	約 100	約 200	-	-	約 80	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70
山梨県	約 4,000	約 500	-	-	-	約 100	約 4,200
長野県	約 1,100	約 200	-	-	-	約 40	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	-	約 90	約 2,800
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 4,900	約 20	約 200	約 800	約 73,000
愛知県	約 66,000	約 18,000	約 200	約 20	約 2,400	約 1,500	約 71,000
三重県	約 58,000	約 7,100	約 600	約 40	約 600	約 300	約 59,000
滋賀県	約 5,100	約 900	-	-	-	約 200	約 5,300
京都府	約 5,400	約 1,600	-	-	約 30	約 1,200	約 6,600
大阪府	約 22,000	約 8,300	約 10	約 10	約 3,700	約 3,300	約 29,000
兵庫県	約 11,000	約 2,800	約 70	約 10	約 50	約 800	約 12,000
奈良県	約 9,700	約 1,600	-	約 10	約 20	約 400	約 10,000
和歌山県	約 28,000	約 4,100	約 900	約 30	約 1,000	約 300	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,100	約 1,400	-	約 10	約 50	約 200	約 9,400
広島県	約 6,000	約 1,200	約 100	約 10	-	約 400	約 6,500
山口県	約 1,100	約 100	約 90	-	-	約 20	約 1,300
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 400	約 20	約 500	約 200	約 30,000
香川県	約 17,000	約 1,500	約 20	約 10	約 50	約 200	約 17,000
愛媛県	約 36,000	約 4,700	約 200	約 20	約 600	約 400	約 37,000
高知県	約 50,000	約 7,500	約 300	約 50	約 800	約 300	約 52,000
福岡県	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 300	約 100	-	-	-	約 30	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 400	約 10	-	約 70	約 2,600
宮崎県	約 16,000	約 2,300	約 1,200	約 20	約 200	約 200	約 18,000
鹿児島県	約 600	約 90	約 100	-	-	約 10	約 700
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 447,000	約 84,000	約 10,000	約 300	約 10,000	約 11,000	約 479,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬18時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内 収容物移動・転倒、 屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	約10	約10
千葉県	-	-	約300	-	-	-	約300
東京都	-	-	約40	-	約20	約100	約200
神奈川県	約100	約90	約200	-	約10	約200	約600
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約40	約40	-	-	-	約10	約60
山梨県	約3,400	約500	-	約10	約10	約300	約3,700
長野県	約1,000	約200	-	約10	-	約80	約1,100
岐阜県	約2,700	約600	-	-	約10	約200	約2,900
静岡県	約51,000	約13,000	約4,700	約40	約1,500	約1,700	約59,000
愛知県	約63,000	約18,000	約200	約30	約7,400	約4,100	約74,000
三重県	約46,000	約6,800	約600	約60	約1,400	約800	約49,000
滋賀県	約5,400	約900	-	約10	約50	約400	約5,900
京都府	約6,100	約1,500	-	-	約2,200	約2,800	約11,000
大阪府	約25,000	約8,000	約10	約10	約15,000	約9,700	約50,000
兵庫県	約12,000	約2,800	約60	約10	約700	約2,100	約15,000
奈良県	約11,000	約1,600	-	約20	約300	約1,000	約12,000
和歌山県	約26,000	約4,100	約900	約50	約2,000	約500	約30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約9,600	約1,300	-	約10	約300	約600	約10,000
広島県	約6,000	約1,200	約80	約20	約20	約800	約6,900
山口県	約1,000	約100	約70	-	-	約40	約1,200
徳島県	約23,000	約4,400	約300	約40	約1,100	約500	約25,000
香川県	約14,000	約1,500	約20	約10	約300	約300	約14,000
愛媛県	約30,000	約4,500	約200	約30	約1,500	約800	約33,000
高知県	約36,000	約7,200	約300	約90	約1,200	約600	約38,000
福岡県	約10	-	約10	-	-	-	約20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約10	-	-	-	約10
熊本県	約200	約100	-	-	-	約70	約300
大分県	約2,200	約400	約300	約20	約10	約200	約2,700
宮崎県	約13,000	約2,200	約1,200	約30	約700	約400	約15,000
鹿児島県	約400	約80	約100	-	-	約20	約500
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約388,000	約81,000	約9,700	約500	約36,000	約28,000	約462,000

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300
東京都	-	-	約 40	-	約 20	約 100	約 200
神奈川県	約 100	約 90	約 200	-	約 10	約 200	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 40	約 40	-	-	-	約 10	約 60
山梨県	約 3,400	約 500	-	約 10	約 30	約 300	約 3,700
長野県	約 1,000	約 200	-	約 10	-	約 80	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	約 20	約 200	約 2,900
静岡県	約 51,000	約 13,000	約 4,700	約 40	約 2,000	約 1,700	約 59,000
愛知県	約 63,000	約 18,000	約 200	約 30	約 7,400	約 4,100	約 74,000
三重県	約 46,000	約 6,800	約 600	約 60	約 1,400	約 800	約 49,000
滋賀県	約 5,400	約 900	-	約 10	約 100	約 400	約 6,000
京都府	約 6,100	約 1,500	-	-	約 2,800	約 2,800	約 12,000
大阪府	約 25,000	約 8,000	約 10	約 10	約 16,000	約 9,700	約 51,000
兵庫県	約 12,000	約 2,800	約 60	約 10	約 1,000	約 2,100	約 15,000
奈良県	約 11,000	約 1,600	-	約 20	約 600	約 1,000	約 12,000
和歌山県	約 26,000	約 4,100	約 900	約 50	約 2,000	約 500	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,600	約 1,300	-	約 10	約 400	約 600	約 11,000
広島県	約 6,000	約 1,200	約 80	約 20	約 20	約 800	約 6,900
山口県	約 1,000	約 100	約 70	-	-	約 40	約 1,200
徳島県	約 23,000	約 4,400	約 300	約 40	約 1,100	約 500	約 25,000
香川県	約 14,000	約 1,500	約 20	約 10	約 300	約 300	約 14,000
愛媛県	約 30,000	約 4,500	約 200	約 30	約 1,900	約 800	約 33,000
高知県	約 36,000	約 7,200	約 300	約 90	約 1,400	約 600	約 39,000
福岡県	約 10	-	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
熊本県	約 200	約 100	-	-	-	約 70	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 300	約 20	約 30	約 200	約 2,700
宮崎県	約 13,000	約 2,200	約 1,200	約 30	約 700	約 400	約 15,000
鹿児島県	約 400	約 80	約 100	-	-	約 20	約 500
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 388,000	約 81,000	約 9,700	約 500	約 40,000	約 28,000	約 466,000

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10
神奈川県	約 200	約 200	約 90	-	-	約 10	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 3,100	約 500	-	約 10	-	約 10	約 3,100
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,400	約 300	-	-	-	-	約 1,400
静岡県	約 62,000	約 16,000	約 900	約 70	約 1,000	約 60	約 65,000
愛知県	約 34,000	約 8,300	約 30	約 20	約 300	約 40	約 34,000
三重県	約 33,000	約 3,900	約 600	約 80	約 90	約 10	約 34,000
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	-	約 1,000
京都府	約 1,200	約 700	-	-	-	約 30	約 1,300
大阪府	約 9,100	約 4,200	約 300	-	約 10	約 200	約 9,600
兵庫県	約 4,800	約 1,400	約 500	-	-	約 30	約 5,400
奈良県	約 3,700	約 800	-	約 10	-	約 10	約 3,700
和歌山県	約 23,000	約 2,900	約 1,500	約 60	約 50	約 10	約 25,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,500	約 600	約 10	約 10	-	約 10	約 2,500
広島県	約 100	約 80	約 50	-	-	-	約 200
山口県	約 20	約 10	約 60	-	-	-	約 80
徳島県	約 20,000	約 3,300	約 1,200	約 50	約 200	約 10	約 21,000
香川県	約 3,400	約 500	約 100	-	-	-	約 3,600
愛媛県	約 8,800	約 900	約 200	約 30	-	約 10	約 9,000
高知県	約 31,000	約 5,200	約 700	約 100	約 200	約 10	約 32,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 100	約 80	-	-	-	-	約 100
大分県	約 600	約 300	約 600	約 10	-	-	約 1,200
宮崎県	約 8,800	約 1,300	約 1,600	約 40	-	約 10	約 10,000
鹿児島県	約 300	約 90	約 70	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 252,000	約 52,000	約 8,500	約 500	約 1,900	約 500	約 264,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10
神奈川県	約 200	約 200	約 90	-	-	約 10	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 3,100	約 500	-	約 10	-	約 10	約 3,100
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,400	約 300	-	-	-	-	約 1,400
静岡県	約 62,000	約 16,000	約 900	約 70	約 1,300	約 60	約 65,000
愛知県	約 34,000	約 8,300	約 30	約 20	約 400	約 40	約 34,000
三重県	約 33,000	約 3,900	約 600	約 80	約 100	約 10	約 34,000
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	-	約 1,000
京都府	約 1,200	約 700	-	-	-	約 30	約 1,300
大阪府	約 9,100	約 4,200	約 300	-	約 20	約 200	約 9,600
兵庫県	約 4,800	約 1,400	約 500	-	-	約 30	約 5,400
奈良県	約 3,700	約 800	-	約 10	-	約 10	約 3,700
和歌山県	約 23,000	約 2,900	約 1,500	約 60	約 200	約 10	約 25,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,500	約 600	約 10	約 10	-	約 10	約 2,500
広島県	約 100	約 80	約 50	-	-	-	約 200
山口県	約 20	約 10	約 60	-	-	-	約 80
徳島県	約 20,000	約 3,300	約 1,200	約 50	約 200	約 10	約 21,000
香川県	約 3,400	約 500	約 100	-	-	-	約 3,600
愛媛県	約 8,800	約 900	約 200	約 30	-	約 10	約 9,000
高知県	約 31,000	約 5,200	約 700	約 100	約 300	約 10	約 32,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 100	約 80	-	-	-	-	約 100
大分県	約 600	約 300	約 600	約 10	-	-	約 1,200
宮崎県	約 8,800	約 1,300	約 1,600	約 40	約 10	約 10	約 10,000
鹿児島県	約 300	約 90	約 70	-	-	-	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 252,000	約 52,000	約 8,500	約 500	約 2,600	約 500	約 264,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 60	-	-	-	約 60
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 300	約 200	約 50	-	-	約 200	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,500	約 400	-	-	-	約 100	約 2,600
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 40	約 1,000
静岡県	約 61,000	約 13,000	約 700	約 30	約 1,400	約 1,000	約 64,000
愛知県	約 26,000	約 6,700	約 30	約 10	約 400	約 800	約 27,000
三重県	約 29,000	約 3,100	約 400	約 30	約 100	約 200	約 30,000
滋賀県	約 800	約 300	-	-	-	約 80	約 800
京都府	約 900	約 600	-	-	-	約 500	約 1,400
大阪府	約 6,200	約 3,600	約 300	-	約 10	約 1,800	約 8,400
兵庫県	約 3,200	約 1,100	約 700	-	-	約 400	約 4,300
奈良県	約 2,300	約 600	-	約 10	-	約 200	約 2,500
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 1,200	約 30	約 100	約 200	約 20,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,600	約 500	約 10	-	-	約 100	約 1,700
広島県	約 100	約 90	約 100	-	-	約 20	約 200
山口県	約 30	約 10	約 80	-	-	-	約 100
徳島県	約 18,000	約 2,700	約 900	約 20	約 200	約 200	約 20,000
香川県	約 2,900	約 400	約 100	-	-	約 70	約 3,100
愛媛県	約 6,500	約 700	約 100	約 10	-	約 100	約 6,800
高知県	約 32,000	約 4,200	約 400	約 50	約 300	約 200	約 33,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 200	約 90	-	-	-	約 30	約 200
大分県	約 500	約 200	約 500	-	-	約 30	約 1,000
宮崎県	約 7,400	約 1,100	約 1,200	約 20	-	約 100	約 8,800
鹿児島県	約 300	約 80	約 70	-	-	約 10	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 221,000	約 42,000	約 7,000	約 200	約 2,600	約 6,400	約 237,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 60	-	-	-	約 60
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 300	約 200	約 50	-	-	約 200	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,500	約 400	-	-	-	約 100	約 2,600
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 40	約 1,000
静岡県	約 61,000	約 13,000	約 700	約 30	約 1,600	約 1,000	約 64,000
愛知県	約 26,000	約 6,700	約 30	約 10	約 500	約 800	約 27,000
三重県	約 29,000	約 3,100	約 400	約 30	約 200	約 200	約 30,000
滋賀県	約 800	約 300	-	-	-	約 80	約 800
京都府	約 900	約 600	-	-	-	約 500	約 1,400
大阪府	約 6,200	約 3,600	約 300	-	約 50	約 1,800	約 8,400
兵庫県	約 3,200	約 1,100	約 700	-	-	約 400	約 4,300
奈良県	約 2,300	約 600	-	約 10	-	約 200	約 2,500
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 1,200	約 30	約 300	約 200	約 20,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,600	約 500	約 10	-	-	約 100	約 1,700
広島県	約 100	約 90	約 100	-	-	約 20	約 200
山口県	約 30	約 10	約 80	-	-	-	約 100
徳島県	約 18,000	約 2,700	約 900	約 20	約 200	約 200	約 20,000
香川県	約 2,900	約 400	約 100	-	-	約 70	約 3,100
愛媛県	約 6,500	約 700	約 100	約 10	-	約 100	約 6,800
高知県	約 32,000	約 4,200	約 400	約 50	約 400	約 200	約 33,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 200	約 90	-	-	-	約 30	約 200
大分県	約 500	約 200	約 500	-	-	約 30	約 1,000
宮崎県	約 7,400	約 1,100	約 1,200	約 20	約 20	約 100	約 8,800
鹿児島県	約 300	約 80	約 70	-	-	約 10	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 221,000	約 42,000	約 7,000	約 200	約 3,300	約 6,400	約 238,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 20
神奈川県	約 200	約 100	約 50	-	約 10	約 400	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,200	約 400	-	約 10	-	約 200	約 2,400
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 70	約 1,100
静岡県	約 50,000	約 12,000	約 600	約 50	約 4,000	約 2,100	約 57,000
愛知県	約 26,000	約 6,600	約 30	約 20	約 2,200	約 2,200	約 30,000
三重県	約 24,000	約 3,000	約 400	約 50	約 600	約 500	約 26,000
滋賀県	約 700	約 300	-	-	-	約 200	約 900
京都府	約 900	約 600	-	-	約 10	約 1,200	約 2,100
大阪府	約 6,900	約 3,500	約 200	-	約 3,500	約 5,400	約 16,000
兵庫県	約 3,500	約 1,100	約 600	-	約 20	約 1,100	約 5,300
奈良県	約 2,500	約 600	-	約 10	約 10	約 500	約 3,000
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 1,200	約 50	約 1,000	約 400	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,700	約 500	約 10	-	-	約 200	約 1,900
広島県	約 90	約 70	約 70	-	-	約 40	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 15,000	約 2,600	約 900	約 30	約 600	約 400	約 17,000
香川県	約 2,400	約 400	約 100	-	約 10	約 100	約 2,700
愛媛県	約 6,000	約 700	約 100	約 20	約 10	約 200	約 6,400
高知県	約 24,000	約 4,000	約 400	約 80	約 700	約 400	約 26,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 100	約 70	-	-	-	約 70	約 200
大分県	約 400	約 200	約 500	約 10	-	約 80	約 1,000
宮崎県	約 6,400	約 1,000	約 1,200	約 30	約 300	約 300	約 8,100
鹿児島県	約 200	約 70	約 60	-	-	約 20	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 193,000	約 40,000	約 6,600	約 400	約 13,000	約 16,000	約 229,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 20
神奈川県	約 200	約 100	約 50	-	約 10	約 400	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,200	約 400	-	約 10	-	約 200	約 2,400
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 70	約 1,100
静岡県	約 50,000	約 12,000	約 600	約 50	約 4,200	約 2,100	約 57,000
愛知県	約 26,000	約 6,600	約 30	約 20	約 2,300	約 2,200	約 30,000
三重県	約 24,000	約 3,000	約 400	約 50	約 700	約 500	約 26,000
滋賀県	約 700	約 300	-	-	-	約 200	約 900
京都府	約 900	約 600	-	-	約 300	約 1,200	約 2,400
大阪府	約 6,900	約 3,500	約 200	-	約 4,400	約 5,400	約 17,000
兵庫県	約 3,500	約 1,100	約 600	-	約 100	約 1,100	約 5,400
奈良県	約 2,500	約 600	-	約 10	約 10	約 500	約 3,000
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 1,200	約 50	約 1,000	約 400	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,700	約 500	約 10	-	約 30	約 200	約 1,900
広島県	約 90	約 70	約 70	-	-	約 40	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 15,000	約 2,600	約 900	約 30	約 600	約 400	約 17,000
香川県	約 2,400	約 400	約 100	-	約 10	約 100	約 2,700
愛媛県	約 6,000	約 700	約 100	約 20	約 50	約 200	約 6,400
高知県	約 24,000	約 4,000	約 400	約 80	約 900	約 400	約 26,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 100	約 70	-	-	-	約 70	約 200
大分県	約 400	約 200	約 500	約 10	-	約 80	約 1,000
宮崎県	約 6,400	約 1,000	約 1,200	約 30	約 300	約 300	約 8,200
鹿児島県	約 200	約 70	約 60	-	-	約 20	約 300
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 193,000	約 40,000	約 6,600	約 400	約 15,000	約 16,000	約 231,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10
神奈川県	約 100	約 100	約 90	-	-	-	約 200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 50	約 40	-	-	-	-	約 50
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900
静岡県	約 59,000	約 17,000	約 900	約 60	約 200	約 50	約 60,000
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 30	約 40	約 2,000	約 80	約 81,000
三重県	約 59,000	約 9,000	約 600	約 90	約 500	約 20	約 60,000
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000
京都府	約 8,900	約 1,900	-	-	-	約 70	約 9,000
大阪府	約 35,000	約 9,500	約 300	約 10	約 2,100	約 300	約 37,000
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 500	約 20	約 10	約 50	約 17,000
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 10	約 20	約 15,000
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 1,500	約 70	約 600	約 20	約 34,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 14,000	約 1,700	約 10	約 20	約 10	約 20	約 15,000
広島県	約 8,700	約 1,500	約 50	約 30	-	約 20	約 8,800
山口県	約 1,600	約 100	約 60	約 10	-	-	約 1,600
徳島県	約 28,000	約 5,700	約 1,100	約 60	約 300	約 10	約 30,000
香川県	約 19,000	約 1,900	約 100	約 20	約 20	約 10	約 19,000
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 200	約 50	約 300	約 20	約 42,000
高知県	約 43,000	約 9,400	約 700	約 100	約 400	約 20	約 45,000
福岡県	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 300	約 100	-	-	-	-	約 300
大分県	約 3,100	約 500	約 600	約 30	-	-	約 3,700
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,600	約 50	約 100	約 10	約 19,000
鹿児島県	約 500	約 100	約 70	-	-	-	約 500
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 501,000	約 103,000	約 8,500	約 800	約 6,700	約 800	約 517,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10
神奈川県	約 100	約 100	約 90	-	-	-	約 200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 50	約 40	-	-	-	-	約 50
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900
静岡県	約 59,000	約 17,000	約 900	約 60	約 200	約 50	約 60,000
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 30	約 40	約 2,100	約 80	約 81,000
三重県	約 59,000	約 9,000	約 600	約 90	約 500	約 20	約 60,000
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000
京都府	約 8,900	約 1,900	-	-	約 40	約 70	約 9,000
大阪府	約 35,000	約 9,500	約 300	約 10	約 3,000	約 300	約 38,000
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 500	約 20	約 30	約 50	約 17,000
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 20	約 20	約 15,000
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 1,500	約 70	約 700	約 20	約 34,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 14,000	約 1,700	約 10	約 20	約 40	約 20	約 15,000
広島県	約 8,700	約 1,500	約 50	約 30	-	約 20	約 8,800
山口県	約 1,600	約 100	約 60	約 10	-	-	約 1,600
徳島県	約 28,000	約 5,700	約 1,100	約 60	約 300	約 10	約 30,000
香川県	約 19,000	約 1,900	約 100	約 20	約 40	約 10	約 19,000
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 200	約 50	約 500	約 20	約 42,000
高知県	約 43,000	約 9,400	約 700	約 100	約 600	約 20	約 45,000
福岡県	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 300	約 100	-	-	-	-	約 300
大分県	約 3,100	約 500	約 600	約 30	-	-	約 3,700
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,600	約 50	約 200	約 10	約 19,000
鹿児島県	約 500	約 100	約 70	-	-	-	約 500
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 501,000	約 103,000	約 8,500	約 800	約 8,300	約 800	約 519,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	約 10
千葉県	-	-	約 60	-	-	-	約 60
東京都	約 10	約 10	約 10	-	約 10	約 40	約 60
神奈川県	約 200	約 100	約 50	-	-	約 80	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70
山梨県	約 4,000	約 500	-	-	-	約 100	約 4,200
長野県	約 1,100	約 200	-	-	-	約 40	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	-	約 90	約 2,800
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 700	約 20	約 200	約 800	約 69,000
愛知県	約 66,000	約 18,000	約 30	約 20	約 2,400	約 1,500	約 70,000
三重県	約 58,000	約 7,100	約 400	約 40	約 600	約 300	約 59,000
滋賀県	約 5,100	約 900	-	-	-	約 200	約 5,300
京都府	約 5,400	約 1,600	-	-	約 10	約 1,200	約 6,600
大阪府	約 22,000	約 8,300	約 300	約 10	約 2,600	約 3,300	約 28,000
兵庫県	約 11,000	約 2,800	約 700	約 10	約 20	約 800	約 13,000
奈良県	約 9,700	約 1,600	-	約 10	約 10	約 400	約 10,000
和歌山県	約 28,000	約 4,100	約 1,200	約 30	約 800	約 300	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,100	約 1,400	約 10	約 10	約 10	約 200	約 9,400
広島県	約 6,000	約 1,200	約 100	約 10	-	約 400	約 6,500
山口県	約 1,100	約 100	約 80	-	-	約 20	約 1,300
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 900	約 20	約 400	約 200	約 30,000
香川県	約 17,000	約 1,500	約 100	約 10	約 30	約 200	約 17,000
愛媛県	約 36,000	約 4,700	約 100	約 20	約 400	約 400	約 36,000
高知県	約 50,000	約 7,500	約 400	約 50	約 500	約 300	約 51,000
福岡県	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 300	約 100	-	-	-	約 30	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 10	-	約 70	約 2,800
宮崎県	約 16,000	約 2,300	約 1,200	約 20	約 200	約 200	約 18,000
鹿児島県	約 600	約 90	約 70	-	-	約 10	約 600
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 447,000	約 84,000	約 7,000	約 300	約 8,200	約 11,000	約 474,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	約 10
千葉県	-	-	約 60	-	-	-	約 60
東京都	約 10	約 10	約 10	-	約 10	約 40	約 60
神奈川県	約 200	約 100	約 50	-	-	約 80	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70
山梨県	約 4,000	約 500	-	-	-	約 100	約 4,200
長野県	約 1,100	約 200	-	-	-	約 40	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	-	約 90	約 2,800
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 700	約 20	約 300	約 800	約 69,000
愛知県	約 66,000	約 18,000	約 30	約 20	約 2,500	約 1,500	約 70,000
三重県	約 58,000	約 7,100	約 400	約 40	約 600	約 300	約 59,000
滋賀県	約 5,100	約 900	-	-	-	約 200	約 5,300
京都府	約 5,400	約 1,600	-	-	約 30	約 1,200	約 6,600
大阪府	約 22,000	約 8,300	約 300	約 10	約 3,700	約 3,300	約 29,000
兵庫県	約 11,000	約 2,800	約 700	約 10	約 50	約 800	約 13,000
奈良県	約 9,700	約 1,600	-	約 10	約 20	約 400	約 10,000
和歌山県	約 28,000	約 4,100	約 1,200	約 30	約 900	約 300	約 31,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,100	約 1,400	約 10	約 10	約 50	約 200	約 9,400
広島県	約 6,000	約 1,200	約 100	約 10	-	約 400	約 6,500
山口県	約 1,100	約 100	約 80	-	-	約 20	約 1,300
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 900	約 20	約 400	約 200	約 30,000
香川県	約 17,000	約 1,500	約 100	約 10	約 50	約 200	約 17,000
愛媛県	約 36,000	約 4,700	約 100	約 20	約 600	約 400	約 37,000
高知県	約 50,000	約 7,500	約 400	約 50	約 700	約 300	約 52,000
福岡県	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 300	約 100	-	-	-	約 30	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 10	-	約 70	約 2,800
宮崎県	約 16,000	約 2,300	約 1,200	約 20	約 200	約 200	約 18,000
鹿児島県	約 600	約 90	約 70	-	-	約 10	約 600
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 447,000	約 84,000	約 7,000	約 300	約 10,000	約 11,000	約 476,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 10	-	約 20	約 100	約 100
神奈川県	約 100	約 90	約 50	-	約 10	約 200	約 400
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 40	約 40	-	-	-	約 10	約 60
山梨県	約 3,400	約 500	-	約 10	約 10	約 300	約 3,700
長野県	約 1,000	約 200	-	約 10	-	約 80	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	約 10	約 200	約 2,900
静岡県	約 51,000	約 13,000	約 600	約 40	約 1,700	約 1,700	約 55,000
愛知県	約 63,000	約 18,000	約 30	約 30	約 7,500	約 4,100	約 74,000
三重県	約 46,000	約 6,800	約 400	約 60	約 1,500	約 800	約 49,000
滋賀県	約 5,400	約 900	-	約 10	約 50	約 400	約 5,900
京都府	約 6,100	約 1,500	-	-	約 2,200	約 2,800	約 11,000
大阪府	約 25,000	約 8,000	約 200	約 10	約 15,000	約 9,700	約 50,000
兵庫県	約 12,000	約 2,800	約 600	約 10	約 600	約 2,100	約 16,000
奈良県	約 11,000	約 1,600	-	約 20	約 300	約 1,000	約 12,000
和歌山県	約 26,000	約 4,100	約 1,200	約 50	約 1,700	約 500	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,600	約 1,300	約 10	約 10	約 300	約 600	約 10,000
広島県	約 6,000	約 1,200	約 70	約 20	約 20	約 800	約 6,900
山口県	約 1,000	約 100	約 70	-	-	約 40	約 1,200
徳島県	約 23,000	約 4,400	約 900	約 40	約 900	約 500	約 25,000
香川県	約 14,000	約 1,500	約 100	約 10	約 300	約 300	約 15,000
愛媛県	約 30,000	約 4,500	約 100	約 30	約 1,600	約 800	約 33,000
高知県	約 36,000	約 7,200	約 400	約 90	約 1,000	約 600	約 38,000
福岡県	約 10	-	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 200	約 100	-	-	-	約 70	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 20	約 10	約 200	約 2,800
宮崎県	約 13,000	約 2,200	約 1,200	約 30	約 700	約 400	約 15,000
鹿児島県	約 400	約 80	約 60	-	-	約 20	約 400
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 388,000	約 81,000	約 6,600	約 500	約 36,000	約 28,000	約 459,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
千葉県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
東京都	-	-	約 10	-	約 20	約 100	約 100
神奈川県	約 100	約 90	約 50	-	約 10	約 200	約 400
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 40	約 40	-	-	-	約 10	約 60
山梨県	約 3,400	約 500	-	約 10	約 30	約 300	約 3,700
長野県	約 1,000	約 200	-	約 10	-	約 80	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	約 20	約 200	約 2,900
静岡県	約 51,000	約 13,000	約 600	約 40	約 2,100	約 1,700	約 55,000
愛知県	約 63,000	約 18,000	約 30	約 30	約 7,500	約 4,100	約 74,000
三重県	約 46,000	約 6,800	約 400	約 60	約 1,500	約 800	約 49,000
滋賀県	約 5,400	約 900	-	約 10	約 100	約 400	約 6,000
京都府	約 6,100	約 1,500	-	-	約 2,800	約 2,800	約 12,000
大阪府	約 25,000	約 8,000	約 200	約 10	約 16,000	約 9,700	約 51,000
兵庫県	約 12,000	約 2,800	約 600	約 10	約 900	約 2,100	約 16,000
奈良県	約 11,000	約 1,600	-	約 20	約 600	約 1,000	約 12,000
和歌山県	約 26,000	約 4,100	約 1,200	約 50	約 1,700	約 500	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,600	約 1,300	約 10	約 10	約 400	約 600	約 11,000
広島県	約 6,000	約 1,200	約 70	約 20	約 20	約 800	約 6,900
山口県	約 1,000	約 100	約 70	-	-	約 40	約 1,200
徳島県	約 23,000	約 4,400	約 900	約 40	約 800	約 500	約 25,000
香川県	約 14,000	約 1,500	約 100	約 10	約 300	約 300	約 15,000
愛媛県	約 30,000	約 4,500	約 100	約 30	約 2,000	約 800	約 33,000
高知県	約 36,000	約 7,200	約 400	約 90	約 1,200	約 600	約 39,000
福岡県	約 10	-	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
熊本県	約 200	約 100	-	-	-	約 70	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 20	約 30	約 200	約 2,800
宮崎県	約 13,000	約 2,200	約 1,200	約 30	約 700	約 400	約 15,000
鹿児島県	約 400	約 80	約 60	-	-	約 20	約 400
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 388,000	約 81,000	約 6,600	約 500	約 39,000	約 28,000	約 462,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
東京都	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 200	約 200	約 30	-	-	約 10	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 3,100	約 500	-	約 10	-	約 10	約 3,100
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,400	約 300	-	-	-	-	約 1,400
静岡県	約 62,000	約 16,000	約 500	約 70	約 1,000	約 60	約 64,000
愛知県	約 34,000	約 8,300	約 10	約 20	約 300	約 40	約 34,000
三重県	約 33,000	約 3,900	約 500	約 80	約 90	約 10	約 34,000
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	-	約 1,000
京都府	約 1,200	約 700	-	-	-	約 30	約 1,300
大阪府	約 9,100	約 4,200	約 100	-	約 10	約 200	約 9,500
兵庫県	約 4,800	約 1,400	約 300	-	-	約 30	約 5,100
奈良県	約 3,700	約 800	-	約 10	-	約 10	約 3,700
和歌山県	約 23,000	約 2,900	約 1,600	約 60	約 50	約 10	約 25,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,500	約 600	約 10	約 10	-	約 10	約 2,500
広島県	約 100	約 80	約 60	-	-	-	約 200
山口県	約 20	約 10	約 60	-	-	-	約 70
徳島県	約 20,000	約 3,300	約 600	約 50	約 200	約 10	約 21,000
香川県	約 3,400	約 500	約 200	-	-	-	約 3,600
愛媛県	約 8,800	約 900	約 100	約 30	-	約 10	約 8,900
高知県	約 31,000	約 5,200	約 500	約 100	約 200	約 10	約 32,000
福岡県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
熊本県	約 100	約 80	約 20	-	-	-	約 200
大分県	約 600	約 300	約 600	約 10	-	-	約 1,200
宮崎県	約 8,800	約 1,300	約 1,300	約 40	-	約 10	約 10,000
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	-	約 400
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 252,000	約 52,000	約 6,800	約 500	約 1,900	約 500	約 262,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
東京都	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 200	約 200	約 30	-	-	約 10	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 3,100	約 500	-	約 10	-	約 10	約 3,100
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,400	約 300	-	-	-	-	約 1,400
静岡県	約 62,000	約 16,000	約 500	約 70	約 1,300	約 60	約 64,000
愛知県	約 34,000	約 8,300	約 10	約 20	約 400	約 40	約 34,000
三重県	約 33,000	約 3,900	約 500	約 80	約 100	約 10	約 34,000
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	-	約 1,000
京都府	約 1,200	約 700	-	-	-	約 30	約 1,300
大阪府	約 9,100	約 4,200	約 100	-	約 20	約 200	約 9,500
兵庫県	約 4,800	約 1,400	約 300	-	-	約 30	約 5,100
奈良県	約 3,700	約 800	-	約 10	-	約 10	約 3,700
和歌山県	約 23,000	約 2,900	約 1,600	約 60	約 200	約 10	約 25,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,500	約 600	約 10	約 10	-	約 10	約 2,500
広島県	約 100	約 80	約 60	-	-	-	約 200
山口県	約 20	約 10	約 60	-	-	-	約 70
徳島県	約 20,000	約 3,300	約 600	約 50	約 200	約 10	約 21,000
香川県	約 3,400	約 500	約 200	-	-	-	約 3,600
愛媛県	約 8,800	約 900	約 100	約 30	-	約 10	約 8,900
高知県	約 31,000	約 5,200	約 500	約 100	約 300	約 10	約 32,000
福岡県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
熊本県	約 100	約 80	約 20	-	-	-	約 200
大分県	約 600	約 300	約 600	約 10	-	-	約 1,200
宮崎県	約 8,800	約 1,300	約 1,300	約 40	約 10	約 10	約 10,000
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	-	約 400
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 252,000	約 52,000	約 6,800	約 500	約 2,600	約 500	約 263,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 300	約 200	約 20	-	-	約 200	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,500	約 400	-	-	-	約 100	約 2,600
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 40	約 1,000
静岡県	約 61,000	約 13,000	約 500	約 30	約 1,400	約 1,000	約 64,000
愛知県	約 26,000	約 6,700	約 10	約 10	約 400	約 800	約 27,000
三重県	約 29,000	約 3,100	約 300	約 30	約 100	約 200	約 30,000
滋賀県	約 800	約 300	-	-	-	約 80	約 800
京都府	約 900	約 600	-	-	-	約 500	約 1,400
大阪府	約 6,200	約 3,600	約 100	-	約 10	約 1,800	約 8,200
兵庫県	約 3,200	約 1,100	約 300	-	-	約 400	約 4,000
奈良県	約 2,300	約 600	-	約 10	-	約 200	約 2,500
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 1,100	約 30	約 200	約 200	約 20,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,600	約 500	約 10	-	-	約 100	約 1,700
広島県	約 100	約 90	約 100	-	-	約 20	約 300
山口県	約 30	約 10	約 80	-	-	-	約 100
徳島県	約 18,000	約 2,700	約 600	約 20	約 300	約 200	約 19,000
香川県	約 2,900	約 400	約 200	-	-	約 70	約 3,100
愛媛県	約 6,500	約 700	約 100	約 10	-	約 100	約 6,700
高知県	約 32,000	約 4,200	約 300	約 50	約 300	約 200	約 33,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	約 200	約 90	約 10	-	-	約 30	約 200
大分県	約 500	約 200	約 500	-	-	約 30	約 1,000
宮崎県	約 7,400	約 1,100	約 1,000	約 20	-	約 100	約 8,500
鹿児島県	約 300	約 80	約 200	-	-	約 10	約 400
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 221,000	約 42,000	約 5,600	約 200	約 2,700	約 6,400	約 235,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 300	約 200	約 20	-	-	約 200	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,500	約 400	-	-	-	約 100	約 2,600
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 40	約 1,000
静岡県	約 61,000	約 13,000	約 500	約 30	約 1,600	約 1,000	約 64,000
愛知県	約 26,000	約 6,700	約 10	約 10	約 500	約 800	約 27,000
三重県	約 29,000	約 3,100	約 300	約 30	約 200	約 200	約 30,000
滋賀県	約 800	約 300	-	-	-	約 80	約 800
京都府	約 900	約 600	-	-	-	約 500	約 1,400
大阪府	約 6,200	約 3,600	約 100	-	約 50	約 1,800	約 8,200
兵庫県	約 3,200	約 1,100	約 300	-	-	約 400	約 4,000
奈良県	約 2,300	約 600	-	約 10	-	約 200	約 2,500
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 1,100	約 30	約 300	約 200	約 20,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,600	約 500	約 10	-	-	約 100	約 1,700
広島県	約 100	約 90	約 100	-	-	約 20	約 300
山口県	約 30	約 10	約 80	-	-	-	約 100
徳島県	約 18,000	約 2,700	約 600	約 20	約 300	約 200	約 19,000
香川県	約 2,900	約 400	約 200	-	-	約 70	約 3,100
愛媛県	約 6,500	約 700	約 100	約 10	-	約 100	約 6,700
高知県	約 32,000	約 4,200	約 300	約 50	約 400	約 200	約 33,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	約 200	約 90	約 10	-	-	約 30	約 200
大分県	約 500	約 200	約 500	-	-	約 30	約 1,000
宮崎県	約 7,400	約 1,100	約 1,000	約 20	約 20	約 100	約 8,500
鹿児島県	約 300	約 80	約 200	-	-	約 10	約 400
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 221,000	約 42,000	約 5,600	約 200	約 3,300	約 6,400	約 236,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬18時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 200	約 100	約 20	-	約 10	約 400	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,200	約 400	-	約 10	-	約 200	約 2,400
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 70	約 1,100
静岡県	約 50,000	約 12,000	約 400	約 50	約 4,000	約 2,100	約 57,000
愛知県	約 26,000	約 6,600	約 10	約 20	約 2,200	約 2,200	約 30,000
三重県	約 24,000	約 3,000	約 300	約 50	約 600	約 500	約 26,000
滋賀県	約 700	約 300	-	-	-	約 200	約 900
京都府	約 900	約 600	-	-	約 10	約 1,200	約 2,100
大阪府	約 6,900	約 3,500	約 100	-	約 3,500	約 5,400	約 16,000
兵庫県	約 3,500	約 1,100	約 300	-	約 20	約 1,100	約 5,000
奈良県	約 2,500	約 600	-	約 10	約 10	約 500	約 3,000
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 1,200	約 50	約 1,000	約 400	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,700	約 500	約 10	-	-	約 200	約 1,900
広島県	約 90	約 70	約 80	-	-	約 40	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 15,000	約 2,600	約 500	約 30	約 600	約 400	約 17,000
香川県	約 2,400	約 400	約 200	-	約 10	約 100	約 2,700
愛媛県	約 6,000	約 700	約 90	約 20	約 10	約 200	約 6,400
高知県	約 24,000	約 4,000	約 300	約 80	約 700	約 400	約 26,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	約 100	約 70	約 10	-	-	約 70	約 200
大分県	約 400	約 200	約 500	約 10	-	約 80	約 1,000
宮崎県	約 6,400	約 1,000	約 1,000	約 30	約 300	約 300	約 7,900
鹿児島県	約 200	約 70	約 100	-	-	約 20	約 400
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 193,000	約 40,000	約 5,300	約 400	約 13,000	約 16,000	約 228,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 200	約 100	約 20	-	約 10	約 400	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,200	約 400	-	約 10	-	約 200	約 2,400
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 70	約 1,100
静岡県	約 50,000	約 12,000	約 400	約 50	約 4,200	約 2,100	約 57,000
愛知県	約 26,000	約 6,600	約 10	約 20	約 2,300	約 2,200	約 30,000
三重県	約 24,000	約 3,000	約 300	約 50	約 700	約 500	約 26,000
滋賀県	約 700	約 300	-	-	-	約 200	約 900
京都府	約 900	約 600	-	-	約 300	約 1,200	約 2,400
大阪府	約 6,900	約 3,500	約 100	-	約 4,400	約 5,400	約 17,000
兵庫県	約 3,500	約 1,100	約 300	-	約 100	約 1,100	約 5,100
奈良県	約 2,500	約 600	-	約 10	約 10	約 500	約 3,000
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 1,200	約 50	約 1,100	約 400	約 21,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,700	約 500	約 10	-	約 30	約 200	約 1,900
広島県	約 90	約 70	約 80	-	-	約 40	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 15,000	約 2,600	約 500	約 30	約 600	約 400	約 17,000
香川県	約 2,400	約 400	約 200	-	約 10	約 100	約 2,700
愛媛県	約 6,000	約 700	約 90	約 20	約 50	約 200	約 6,400
高知県	約 24,000	約 4,000	約 300	約 80	約 800	約 400	約 26,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	約 100	約 70	約 10	-	-	約 70	約 200
大分県	約 400	約 200	約 500	約 10	-	約 80	約 1,000
宮崎県	約 6,400	約 1,000	約 1,000	約 30	約 300	約 300	約 7,900
鹿児島県	約 200	約 70	約 100	-	-	約 20	約 400
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 193,000	約 40,000	約 5,300	約 400	約 15,000	約 16,000	約 230,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
東京都	-	-	-	-	-	-	約 10
神奈川県	約 100	約 100	約 30	-	-	-	約 200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 50	約 40	-	-	-	-	約 50
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900
静岡県	約 59,000	約 17,000	約 500	約 60	約 200	約 50	約 60,000
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 10	約 40	約 2,000	約 80	約 81,000
三重県	約 59,000	約 9,000	約 500	約 90	約 500	約 20	約 60,000
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000
京都府	約 8,900	約 1,900	-	-	-	約 70	約 9,000
大阪府	約 35,000	約 9,500	約 100	約 10	約 2,100	約 300	約 37,000
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 300	約 20	約 10	約 50	約 17,000
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 10	約 20	約 15,000
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 1,600	約 70	約 600	約 20	約 34,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 14,000	約 1,700	約 10	約 20	約 10	約 20	約 15,000
広島県	約 8,700	約 1,500	約 60	約 30	-	約 20	約 8,900
山口県	約 1,600	約 100	約 60	約 10	-	-	約 1,600
徳島県	約 28,000	約 5,700	約 600	約 60	約 400	約 10	約 29,000
香川県	約 19,000	約 1,900	約 200	約 20	約 20	約 10	約 19,000
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 100	約 50	約 300	約 20	約 42,000
高知県	約 43,000	約 9,400	約 500	約 100	約 400	約 20	約 44,000
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
熊本県	約 300	約 100	約 20	-	-	-	約 300
大分県	約 3,100	約 500	約 600	約 30	-	-	約 3,800
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,300	約 50	約 100	約 10	約 18,000
鹿児島県	約 500	約 100	約 100	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 501,000	約 103,000	約 6,800	約 800	約 6,700	約 800	約 516,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
東京都	-	-	-	-	-	-	約 10
神奈川県	約 100	約 100	約 30	-	-	-	約 200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 50	約 40	-	-	-	-	約 50
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900
静岡県	約 59,000	約 17,000	約 500	約 60	約 200	約 50	約 60,000
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 10	約 40	約 2,100	約 80	約 81,000
三重県	約 59,000	約 9,000	約 500	約 90	約 600	約 20	約 60,000
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000
京都府	約 8,900	約 1,900	-	-	約 40	約 70	約 9,000
大阪府	約 35,000	約 9,500	約 100	約 10	約 3,000	約 300	約 38,000
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 300	約 20	約 30	約 50	約 17,000
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 20	約 20	約 15,000
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 1,600	約 70	約 700	約 20	約 35,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 14,000	約 1,700	約 10	約 20	約 40	約 20	約 15,000
広島県	約 8,700	約 1,500	約 60	約 30	-	約 20	約 8,900
山口県	約 1,600	約 100	約 60	約 10	-	-	約 1,600
徳島県	約 28,000	約 5,700	約 600	約 60	約 400	約 10	約 29,000
香川県	約 19,000	約 1,900	約 200	約 20	約 40	約 10	約 19,000
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 100	約 50	約 500	約 20	約 42,000
高知県	約 43,000	約 9,400	約 500	約 100	約 500	約 20	約 44,000
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30
熊本県	約 300	約 100	約 20	-	-	-	約 300
大分県	約 3,100	約 500	約 600	約 30	-	-	約 3,800
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,300	約 50	約 200	約 10	約 18,000
鹿児島県	約 500	約 100	約 100	-	-	-	約 600
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 501,000	約 103,000	約 6,800	約 800	約 8,400	約 800	約 517,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	約 10
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	約 10	約 10	-	-	約 10	約 40	約 50
神奈川県	約 200	約 100	約 20	-	-	約 80	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70
山梨県	約 4,000	約 500	-	-	-	約 100	約 4,200
長野県	約 1,100	約 200	-	-	-	約 40	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	-	約 90	約 2,800
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 500	約 20	約 200	約 800	約 68,000
愛知県	約 66,000	約 18,000	約 10	約 20	約 2,400	約 1,500	約 70,000
三重県	約 58,000	約 7,100	約 300	約 40	約 600	約 300	約 59,000
滋賀県	約 5,100	約 900	-	-	-	約 200	約 5,300
京都府	約 5,400	約 1,600	-	-	約 10	約 1,200	約 6,600
大阪府	約 22,000	約 8,300	約 100	約 10	約 2,600	約 3,300	約 28,000
兵庫県	約 11,000	約 2,800	約 300	約 10	約 20	約 800	約 13,000
奈良県	約 9,700	約 1,600	-	約 10	約 10	約 400	約 10,000
和歌山県	約 28,000	約 4,100	約 1,100	約 30	約 800	約 300	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,100	約 1,400	約 10	約 10	約 10	約 200	約 9,400
広島県	約 6,000	約 1,200	約 100	約 10	-	約 400	約 6,500
山口県	約 1,100	約 100	約 80	-	-	約 20	約 1,300
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 600	約 20	約 500	約 200	約 30,000
香川県	約 17,000	約 1,500	約 200	約 10	約 30	約 200	約 17,000
愛媛県	約 36,000	約 4,700	約 100	約 20	約 400	約 400	約 36,000
高知県	約 50,000	約 7,500	約 300	約 50	約 500	約 300	約 51,000
福岡県	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	約 300	約 100	約 10	-	-	約 30	約 400
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 10	-	約 70	約 2,800
宮崎県	約 16,000	約 2,300	約 1,000	約 20	約 200	約 200	約 18,000
鹿児島県	約 600	約 90	約 200	-	-	約 10	約 700
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 447,000	約 84,000	約 5,600	約 300	約 8,200	約 11,000	約 473,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	約 10
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	約 10	約 10	-	-	約 10	約 40	約 50
神奈川県	約 200	約 100	約 20	-	-	約 80	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70
山梨県	約 4,000	約 500	-	-	-	約 100	約 4,200
長野県	約 1,100	約 200	-	-	-	約 40	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	-	約 90	約 2,800
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 500	約 20	約 300	約 800	約 68,000
愛知県	約 66,000	約 18,000	約 10	約 20	約 2,500	約 1,500	約 70,000
三重県	約 58,000	約 7,100	約 300	約 40	約 600	約 300	約 59,000
滋賀県	約 5,100	約 900	-	-	-	約 200	約 5,300
京都府	約 5,400	約 1,600	-	-	約 30	約 1,200	約 6,600
大阪府	約 22,000	約 8,300	約 100	約 10	約 3,700	約 3,300	約 29,000
兵庫県	約 11,000	約 2,800	約 300	約 10	約 50	約 800	約 13,000
奈良県	約 9,700	約 1,600	-	約 10	約 20	約 400	約 10,000
和歌山県	約 28,000	約 4,100	約 1,100	約 30	約 900	約 300	約 31,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,100	約 1,400	約 10	約 10	約 50	約 200	約 9,400
広島県	約 6,000	約 1,200	約 100	約 10	-	約 400	約 6,500
山口県	約 1,100	約 100	約 80	-	-	約 20	約 1,300
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 600	約 20	約 500	約 200	約 30,000
香川県	約 17,000	約 1,500	約 200	約 10	約 50	約 200	約 17,000
愛媛県	約 36,000	約 4,700	約 100	約 20	約 600	約 400	約 37,000
高知県	約 50,000	約 7,500	約 300	約 50	約 600	約 300	約 51,000
福岡県	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	約 300	約 100	約 10	-	-	約 30	約 400
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 10	-	約 70	約 2,800
宮崎県	約 16,000	約 2,300	約 1,000	約 20	約 200	約 200	約 18,000
鹿児島県	約 600	約 90	約 200	-	-	約 10	約 700
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 447,000	約 84,000	約 5,600	約 300	約 10,000	約 11,000	約 475,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	-	-	約 20	約 100	約 100
神奈川県	約 100	約 90	約 20	-	約 10	約 200	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 40	約 40	-	-	-	約 10	約 60
山梨県	約 3,400	約 500	-	約 10	約 10	約 300	約 3,700
長野県	約 1,000	約 200	-	約 10	-	約 80	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	約 10	約 200	約 2,900
静岡県	約 51,000	約 13,000	約 400	約 40	約 1,700	約 1,700	約 54,000
愛知県	約 63,000	約 18,000	約 10	約 30	約 7,500	約 4,100	約 74,000
三重県	約 46,000	約 6,800	約 300	約 60	約 1,500	約 800	約 49,000
滋賀県	約 5,400	約 900	-	約 10	約 50	約 400	約 5,900
京都府	約 6,100	約 1,500	-	-	約 2,200	約 2,800	約 11,000
大阪府	約 25,000	約 8,000	約 100	約 10	約 15,000	約 9,700	約 50,000
兵庫県	約 12,000	約 2,800	約 300	約 10	約 600	約 2,100	約 15,000
奈良県	約 11,000	約 1,600	-	約 20	約 300	約 1,000	約 12,000
和歌山県	約 26,000	約 4,100	約 1,200	約 50	約 1,800	約 500	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,600	約 1,300	約 10	約 10	約 300	約 600	約 10,000
広島県	約 6,000	約 1,200	約 80	約 20	約 20	約 800	約 6,900
山口県	約 1,000	約 100	約 70	-	-	約 40	約 1,200
徳島県	約 23,000	約 4,400	約 500	約 40	約 900	約 500	約 25,000
香川県	約 14,000	約 1,500	約 200	約 10	約 300	約 300	約 15,000
愛媛県	約 30,000	約 4,500	約 90	約 30	約 1,600	約 800	約 33,000
高知県	約 36,000	約 7,200	約 300	約 90	約 1,000	約 600	約 38,000
福岡県	約 10	-	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	約 200	約 100	約 10	-	-	約 70	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 20	約 10	約 200	約 2,800
宮崎県	約 13,000	約 2,200	約 1,000	約 30	約 700	約 400	約 15,000
鹿児島県	約 400	約 80	約 100	-	-	約 20	約 500
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 388,000	約 81,000	約 5,300	約 500	約 36,000	約 28,000	約 458,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
千葉県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
東京都	-	-	-	-	約 20	約 100	約 100
神奈川県	約 100	約 90	約 20	-	約 10	約 200	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 40	約 40	-	-	-	約 10	約 60
山梨県	約 3,400	約 500	-	約 10	約 30	約 300	約 3,700
長野県	約 1,000	約 200	-	約 10	-	約 80	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	約 20	約 200	約 2,900
静岡県	約 51,000	約 13,000	約 400	約 40	約 2,100	約 1,700	約 55,000
愛知県	約 63,000	約 18,000	約 10	約 30	約 7,500	約 4,100	約 74,000
三重県	約 46,000	約 6,800	約 300	約 60	約 1,600	約 800	約 49,000
滋賀県	約 5,400	約 900	-	約 10	約 100	約 400	約 6,000
京都府	約 6,100	約 1,500	-	-	約 2,800	約 2,800	約 12,000
大阪府	約 25,000	約 8,000	約 100	約 10	約 16,000	約 9,700	約 51,000
兵庫県	約 12,000	約 2,800	約 300	約 10	約 900	約 2,100	約 16,000
奈良県	約 11,000	約 1,600	-	約 20	約 600	約 1,000	約 12,000
和歌山県	約 26,000	約 4,100	約 1,200	約 50	約 1,800	約 500	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,600	約 1,300	約 10	約 10	約 400	約 600	約 11,000
広島県	約 6,000	約 1,200	約 80	約 20	約 20	約 800	約 6,900
山口県	約 1,000	約 100	約 70	-	-	約 40	約 1,200
徳島県	約 23,000	約 4,400	約 500	約 40	約 900	約 500	約 25,000
香川県	約 14,000	約 1,500	約 200	約 10	約 300	約 300	約 15,000
愛媛県	約 30,000	約 4,500	約 90	約 30	約 2,000	約 800	約 33,000
高知県	約 36,000	約 7,200	約 300	約 90	約 1,200	約 600	約 38,000
福岡県	約 10	-	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 50	-	-	-	約 50
熊本県	約 200	約 100	約 10	-	-	約 70	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 20	約 30	約 200	約 2,900
宮崎県	約 13,000	約 2,200	約 1,000	約 30	約 800	約 400	約 15,000
鹿児島県	約 400	約 80	約 100	-	-	約 20	約 500
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 388,000	約 81,000	約 5,300	約 500	約 39,000	約 28,000	約 461,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 200	約 200	約 30	-	-	約 10	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 3,100	約 500	-	約 10	-	約 10	約 3,100
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,400	約 300	-	-	-	-	約 1,400
静岡県	約 62,000	約 16,000	約 500	約 70	約 1,000	約 60	約 64,000
愛知県	約 34,000	約 8,300	約 20	約 20	約 300	約 40	約 34,000
三重県	約 33,000	約 3,900	約 400	約 80	約 90	約 10	約 34,000
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	-	約 1,000
京都府	約 1,200	約 700	-	-	-	約 30	約 1,300
大阪府	約 9,100	約 4,200	約 100	-	約 10	約 200	約 9,500
兵庫県	約 4,800	約 1,400	約 100	-	-	約 30	約 5,000
奈良県	約 3,700	約 800	-	約 10	-	約 10	約 3,700
和歌山県	約 23,000	約 2,900	約 800	約 60	約 50	約 10	約 24,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,500	約 600	約 10	約 10	-	約 10	約 2,500
広島県	約 100	約 80	約 60	-	-	-	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 20,000	約 3,300	約 300	約 50	約 200	約 10	約 20,000
香川県	約 3,400	約 500	約 200	-	-	-	約 3,600
愛媛県	約 8,800	約 900	約 300	約 30	-	約 10	約 9,100
高知県	約 31,000	約 5,200	約 300	約 100	約 200	約 10	約 32,000
福岡県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
熊本県	約 100	約 80	約 10	-	-	-	約 200
大分県	約 600	約 300	約 600	約 10	-	-	約 1,200
宮崎県	約 8,800	約 1,300	約 1,400	約 40	-	約 10	約 10,000
鹿児島県	約 300	約 90	約 200	-	-	-	約 500
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 252,000	約 52,000	約 5,600	約 500	約 1,900	約 500	約 261,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 200	約 200	約 30	-	-	約 10	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 3,100	約 500	-	約 10	-	約 10	約 3,100
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,400	約 300	-	-	-	-	約 1,400
静岡県	約 62,000	約 16,000	約 500	約 70	約 1,300	約 60	約 64,000
愛知県	約 34,000	約 8,300	約 20	約 20	約 400	約 40	約 34,000
三重県	約 33,000	約 3,900	約 400	約 80	約 100	約 10	約 34,000
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	-	約 1,000
京都府	約 1,200	約 700	-	-	-	約 30	約 1,300
大阪府	約 9,100	約 4,200	約 100	-	約 20	約 200	約 9,500
兵庫県	約 4,800	約 1,400	約 100	-	-	約 30	約 5,000
奈良県	約 3,700	約 800	-	約 10	-	約 10	約 3,700
和歌山県	約 23,000	約 2,900	約 800	約 60	約 200	約 10	約 24,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,500	約 600	約 10	約 10	-	約 10	約 2,500
広島県	約 100	約 80	約 60	-	-	-	約 200
山口県	約 20	約 10	約 70	-	-	-	約 90
徳島県	約 20,000	約 3,300	約 300	約 50	約 200	約 10	約 20,000
香川県	約 3,400	約 500	約 200	-	-	-	約 3,600
愛媛県	約 8,800	約 900	約 300	約 30	-	約 10	約 9,100
高知県	約 31,000	約 5,200	約 300	約 100	約 300	約 10	約 32,000
福岡県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
熊本県	約 100	約 80	約 10	-	-	-	約 200
大分県	約 600	約 300	約 600	約 10	-	-	約 1,200
宮崎県	約 8,800	約 1,300	約 1,400	約 40	約 10	約 10	約 10,000
鹿児島県	約 300	約 90	約 200	-	-	-	約 500
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 252,000	約 52,000	約 5,600	約 500	約 2,600	約 500	約 261,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 300	約 200	約 10	-	-	約 200	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,500	約 400	-	-	-	約 100	約 2,600
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 40	約 1,000
静岡県	約 61,000	約 13,000	約 400	約 30	約 1,400	約 1,000	約 64,000
愛知県	約 26,000	約 6,700	約 20	約 10	約 400	約 800	約 27,000
三重県	約 29,000	約 3,100	約 300	約 30	約 100	約 200	約 30,000
滋賀県	約 800	約 300	-	-	-	約 80	約 800
京都府	約 900	約 600	-	-	-	約 500	約 1,400
大阪府	約 6,200	約 3,600	約 100	-	約 10	約 1,800	約 8,200
兵庫県	約 3,200	約 1,100	約 200	-	-	約 400	約 3,800
奈良県	約 2,300	約 600	-	約 10	-	約 200	約 2,500
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 500	約 30	約 200	約 200	約 19,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,600	約 500	約 10	-	-	約 100	約 1,700
広島県	約 100	約 90	約 100	-	-	約 20	約 200
山口県	約 30	約 10	約 100	-	-	-	約 100
徳島県	約 18,000	約 2,700	約 300	約 20	約 300	約 200	約 19,000
香川県	約 2,900	約 400	約 200	-	-	約 70	約 3,100
愛媛県	約 6,500	約 700	約 400	約 10	-	約 100	約 7,000
高知県	約 32,000	約 4,200	約 300	約 50	約 300	約 200	約 33,000
福岡県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	約 200	約 90	約 10	-	-	約 30	約 200
大分県	約 500	約 200	約 500	-	-	約 30	約 1,000
宮崎県	約 7,400	約 1,100	約 900	約 20	-	約 100	約 8,400
鹿児島県	約 300	約 80	約 300	-	-	約 10	約 500
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 221,000	約 42,000	約 4,800	約 200	約 2,700	約 6,400	約 235,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 300	約 200	約 10	-	-	約 200	約 500
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,500	約 400	-	-	-	約 100	約 2,600
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 40	約 1,000
静岡県	約 61,000	約 13,000	約 400	約 30	約 1,600	約 1,000	約 64,000
愛知県	約 26,000	約 6,700	約 20	約 10	約 500	約 800	約 27,000
三重県	約 29,000	約 3,100	約 300	約 30	約 200	約 200	約 30,000
滋賀県	約 800	約 300	-	-	-	約 80	約 800
京都府	約 900	約 600	-	-	-	約 500	約 1,400
大阪府	約 6,200	約 3,600	約 100	-	約 50	約 1,800	約 8,200
兵庫県	約 3,200	約 1,100	約 200	-	-	約 400	約 3,800
奈良県	約 2,300	約 600	-	約 10	-	約 200	約 2,500
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 500	約 30	約 300	約 200	約 19,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,600	約 500	約 10	-	-	約 100	約 1,700
広島県	約 100	約 90	約 100	-	-	約 20	約 200
山口県	約 30	約 10	約 100	-	-	-	約 100
徳島県	約 18,000	約 2,700	約 300	約 20	約 300	約 200	約 19,000
香川県	約 2,900	約 400	約 200	-	-	約 70	約 3,100
愛媛県	約 6,500	約 700	約 400	約 10	-	約 100	約 7,000
高知県	約 32,000	約 4,200	約 300	約 50	約 400	約 200	約 33,000
福岡県	-	-	約 20	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	約 200	約 90	約 10	-	-	約 30	約 200
大分県	約 500	約 200	約 500	-	-	約 30	約 1,000
宮崎県	約 7,400	約 1,100	約 900	約 20	約 20	約 100	約 8,400
鹿児島県	約 300	約 80	約 300	-	-	約 10	約 500
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 221,000	約 42,000	約 4,800	約 200	約 3,400	約 6,400	約 235,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 200	約 100	約 20	-	約 10	約 400	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,200	約 400	-	約 10	-	約 200	約 2,400
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 70	約 1,100
静岡県	約 50,000	約 12,000	約 300	約 50	約 4,000	約 2,100	約 57,000
愛知県	約 26,000	約 6,600	約 20	約 20	約 2,200	約 2,200	約 30,000
三重県	約 24,000	約 3,000	約 300	約 50	約 600	約 500	約 26,000
滋賀県	約 700	約 300	-	-	-	約 200	約 900
京都府	約 900	約 600	-	-	約 10	約 1,200	約 2,100
大阪府	約 6,900	約 3,500	約 100	-	約 3,500	約 5,400	約 16,000
兵庫県	約 3,500	約 1,100	約 100	-	約 20	約 1,100	約 4,800
奈良県	約 2,500	約 600	-	約 10	約 10	約 500	約 3,000
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 500	約 50	約 1,000	約 400	約 20,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,700	約 500	約 10	-	-	約 200	約 1,900
広島県	約 90	約 70	約 80	-	-	約 40	約 200
山口県	約 20	約 10	約 80	-	-	-	約 100
徳島県	約 15,000	約 2,600	約 300	約 30	約 700	約 400	約 17,000
香川県	約 2,400	約 400	約 200	-	約 10	約 100	約 2,800
愛媛県	約 6,000	約 700	約 300	約 20	約 10	約 200	約 6,600
高知県	約 24,000	約 4,000	約 300	約 80	約 700	約 400	約 26,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	約 100	約 70	約 10	-	-	約 70	約 200
大分県	約 400	約 200	約 500	約 10	-	約 80	約 1,000
宮崎県	約 6,400	約 1,000	約 800	約 30	約 300	約 300	約 7,800
鹿児島県	約 200	約 70	約 200	-	-	約 20	約 500
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 193,000	約 40,000	約 4,400	約 400	約 13,000	約 16,000	約 227,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10
神奈川県	約 200	約 100	約 20	-	約 10	約 400	約 600
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	約 10
山梨県	約 2,200	約 400	-	約 10	-	約 200	約 2,400
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10
岐阜県	約 1,000	約 300	-	-	-	約 70	約 1,100
静岡県	約 50,000	約 12,000	約 300	約 50	約 4,200	約 2,100	約 57,000
愛知県	約 26,000	約 6,600	約 20	約 20	約 2,300	約 2,200	約 30,000
三重県	約 24,000	約 3,000	約 300	約 50	約 700	約 500	約 26,000
滋賀県	約 700	約 300	-	-	-	約 200	約 900
京都府	約 900	約 600	-	-	約 300	約 1,200	約 2,400
大阪府	約 6,900	約 3,500	約 100	-	約 4,400	約 5,400	約 17,000
兵庫県	約 3,500	約 1,100	約 100	-	約 100	約 1,100	約 4,900
奈良県	約 2,500	約 600	-	約 10	約 10	約 500	約 3,000
和歌山県	約 18,000	約 2,300	約 500	約 50	約 1,100	約 400	約 20,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 1,700	約 500	約 10	-	約 30	約 200	約 1,900
広島県	約 90	約 70	約 80	-	-	約 40	約 200
山口県	約 20	約 10	約 80	-	-	-	約 100
徳島県	約 15,000	約 2,600	約 300	約 30	約 700	約 400	約 17,000
香川県	約 2,400	約 400	約 200	-	約 10	約 100	約 2,800
愛媛県	約 6,000	約 700	約 300	約 20	約 50	約 200	約 6,600
高知県	約 24,000	約 4,000	約 300	約 80	約 800	約 400	約 26,000
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	約 100	約 70	約 10	-	-	約 70	約 200
大分県	約 400	約 200	約 500	約 10	-	約 80	約 1,000
宮崎県	約 6,400	約 1,000	約 800	約 30	約 300	約 300	約 7,800
鹿児島県	約 200	約 70	約 200	-	-	約 20	約 500
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 193,000	約 40,000	約 4,400	約 400	約 15,000	約 16,000	約 229,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	-	-	約 10
神奈川県	約 100	約 100	約 30	-	-	-	約 200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 50	約 40	-	-	-	-	約 50
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900
静岡県	約 59,000	約 17,000	約 500	約 60	約 200	約 50	約 60,000
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 20	約 40	約 2,000	約 80	約 81,000
三重県	約 59,000	約 9,000	約 400	約 90	約 500	約 20	約 60,000
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000
京都府	約 8,900	約 1,900	-	-	-	約 70	約 9,000
大阪府	約 35,000	約 9,500	約 100	約 10	約 2,100	約 300	約 37,000
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 100	約 20	約 10	約 50	約 17,000
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 10	約 20	約 15,000
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 800	約 70	約 600	約 20	約 34,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 14,000	約 1,700	約 10	約 20	約 10	約 20	約 15,000
広島県	約 8,700	約 1,500	約 60	約 30	-	約 20	約 8,900
山口県	約 1,600	約 100	約 70	約 10	-	-	約 1,600
徳島県	約 28,000	約 5,700	約 300	約 60	約 400	約 10	約 29,000
香川県	約 19,000	約 1,900	約 200	約 20	約 20	約 10	約 19,000
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 300	約 50	約 300	約 20	約 42,000
高知県	約 43,000	約 9,400	約 300	約 100	約 400	約 20	約 44,000
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
熊本県	約 300	約 100	約 10	-	-	-	約 300
大分県	約 3,100	約 500	約 600	約 30	-	-	約 3,800
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,400	約 50	約 100	約 10	約 19,000
鹿児島県	約 500	約 100	約 200	-	-	-	約 700
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 501,000	約 103,000	約 5,600	約 800	約 6,800	約 800	約 515,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	-	-	約 10
神奈川県	約 100	約 100	約 30	-	-	-	約 200
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 50	約 40	-	-	-	-	約 50
山梨県	約 4,700	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,800
長野県	約 1,500	約 300	-	約 10	-	-	約 1,500
岐阜県	約 3,900	約 700	-	-	-	-	約 3,900
静岡県	約 59,000	約 17,000	約 500	約 60	約 200	約 50	約 60,000
愛知県	約 79,000	約 23,000	約 20	約 40	約 2,100	約 80	約 81,000
三重県	約 59,000	約 9,000	約 400	約 90	約 500	約 20	約 60,000
滋賀県	約 8,000	約 1,200	-	約 10	-	約 10	約 8,000
京都府	約 8,900	約 1,900	-	-	約 40	約 70	約 9,000
大阪府	約 35,000	約 9,500	約 100	約 10	約 3,000	約 300	約 38,000
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 100	約 20	約 30	約 50	約 17,000
奈良県	約 15,000	約 2,200	-	約 30	約 20	約 20	約 15,000
和歌山県	約 32,000	約 5,100	約 800	約 70	約 700	約 20	約 34,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 14,000	約 1,700	約 10	約 20	約 40	約 20	約 15,000
広島県	約 8,700	約 1,500	約 60	約 30	-	約 20	約 8,900
山口県	約 1,600	約 100	約 70	約 10	-	-	約 1,600
徳島県	約 28,000	約 5,700	約 300	約 60	約 400	約 10	約 29,000
香川県	約 19,000	約 1,900	約 200	約 20	約 40	約 10	約 19,000
愛媛県	約 42,000	約 5,900	約 300	約 50	約 500	約 20	約 42,000
高知県	約 43,000	約 9,400	約 300	約 100	約 500	約 20	約 44,000
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 70	-	-	-	約 70
熊本県	約 300	約 100	約 10	-	-	-	約 300
大分県	約 3,100	約 500	約 600	約 30	-	-	約 3,800
宮崎県	約 17,000	約 2,900	約 1,400	約 50	約 200	約 10	約 19,000
鹿児島県	約 500	約 100	約 200	-	-	-	約 700
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 501,000	約 103,000	約 5,600	約 800	約 8,400	約 800	約 516,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、平均風速）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	約 10
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	約 10	約 10	-	-	約 10	約 40	約 50
神奈川県	約 200	約 100	約 10	-	-	約 80	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70
山梨県	約 4,000	約 500	-	-	-	約 100	約 4,200
長野県	約 1,100	約 200	-	-	-	約 40	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	-	約 90	約 2,800
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 400	約 20	約 200	約 800	約 68,000
愛知県	約 66,000	約 18,000	約 20	約 20	約 2,400	約 1,500	約 70,000
三重県	約 58,000	約 7,100	約 300	約 40	約 600	約 300	約 59,000
滋賀県	約 5,100	約 900	-	-	-	約 200	約 5,300
京都府	約 5,400	約 1,600	-	-	約 10	約 1,200	約 6,600
大阪府	約 22,000	約 8,300	約 100	約 10	約 2,600	約 3,300	約 28,000
兵庫県	約 11,000	約 2,800	約 200	約 10	約 20	約 800	約 12,000
奈良県	約 9,700	約 1,600	-	約 10	約 10	約 400	約 10,000
和歌山県	約 28,000	約 4,100	約 500	約 30	約 800	約 300	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,100	約 1,400	約 10	約 10	約 10	約 200	約 9,400
広島県	約 6,000	約 1,200	約 100	約 10	-	約 400	約 6,500
山口県	約 1,100	約 100	約 100	-	-	約 20	約 1,300
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 300	約 20	約 500	約 200	約 30,000
香川県	約 17,000	約 1,500	約 200	約 10	約 30	約 200	約 17,000
愛媛県	約 36,000	約 4,700	約 400	約 20	約 400	約 400	約 37,000
高知県	約 50,000	約 7,500	約 300	約 50	約 500	約 300	約 51,000
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	約 300	約 100	約 10	-	-	約 30	約 400
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 10	-	約 70	約 2,800
宮崎県	約 16,000	約 2,300	約 900	約 20	約 200	約 200	約 18,000
鹿児島県	約 600	約 90	約 300	-	-	約 10	約 800
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 447,000	約 84,000	約 4,800	約 300	約 8,300	約 11,000	約 472,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	約 10
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	約 10	約 10	-	-	約 10	約 40	約 50
神奈川県	約 200	約 100	約 10	-	-	約 80	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 50	-	-	-	約 10	約 70
山梨県	約 4,000	約 500	-	-	-	約 100	約 4,200
長野県	約 1,100	約 200	-	-	-	約 40	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	-	約 90	約 2,800
静岡県	約 67,000	約 13,000	約 400	約 20	約 300	約 800	約 68,000
愛知県	約 66,000	約 18,000	約 20	約 20	約 2,500	約 1,500	約 70,000
三重県	約 58,000	約 7,100	約 300	約 40	約 600	約 300	約 59,000
滋賀県	約 5,100	約 900	-	-	-	約 200	約 5,300
京都府	約 5,400	約 1,600	-	-	約 30	約 1,200	約 6,600
大阪府	約 22,000	約 8,300	約 100	約 10	約 3,700	約 3,300	約 29,000
兵庫県	約 11,000	約 2,800	約 200	約 10	約 50	約 800	約 12,000
奈良県	約 9,700	約 1,600	-	約 10	約 20	約 400	約 10,000
和歌山県	約 28,000	約 4,100	約 500	約 30	約 900	約 300	約 30,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,100	約 1,400	約 10	約 10	約 50	約 200	約 9,400
広島県	約 6,000	約 1,200	約 100	約 10	-	約 400	約 6,500
山口県	約 1,100	約 100	約 100	-	-	約 20	約 1,300
徳島県	約 29,000	約 4,600	約 300	約 20	約 500	約 200	約 30,000
香川県	約 17,000	約 1,500	約 200	約 10	約 50	約 200	約 17,000
愛媛県	約 36,000	約 4,700	約 400	約 20	約 600	約 400	約 37,000
高知県	約 50,000	約 7,500	約 300	約 50	約 600	約 300	約 51,000
福岡県	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 30
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 100	-	-	-	約 100
熊本県	約 300	約 100	約 10	-	-	約 30	約 400
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 10	-	約 70	約 2,800
宮崎県	約 16,000	約 2,300	約 900	約 20	約 200	約 200	約 18,000
鹿児島県	約 600	約 90	約 300	-	-	約 10	約 800
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 447,000	約 84,000	約 4,800	約 300	約 10,000	約 11,000	約 474,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	約 20	約 100	約 100
神奈川県	約 100	約 90	約 20	-	約 10	約 200	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 40	約 40	-	-	-	約 10	約 60
山梨県	約 3,400	約 500	-	約 10	約 10	約 300	約 3,700
長野県	約 1,000	約 200	-	約 10	-	約 80	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	約 10	約 200	約 2,900
静岡県	約 51,000	約 13,000	約 300	約 40	約 1,700	約 1,700	約 54,000
愛知県	約 63,000	約 18,000	約 20	約 30	約 7,500	約 4,100	約 74,000
三重県	約 46,000	約 6,800	約 300	約 60	約 1,500	約 800	約 49,000
滋賀県	約 5,400	約 900	-	約 10	約 50	約 400	約 5,900
京都府	約 6,100	約 1,500	-	-	約 2,200	約 2,800	約 11,000
大阪府	約 25,000	約 8,000	約 100	約 10	約 15,000	約 9,700	約 50,000
兵庫県	約 12,000	約 2,800	約 100	約 10	約 600	約 2,100	約 15,000
奈良県	約 11,000	約 1,600	-	約 20	約 300	約 1,000	約 12,000
和歌山県	約 26,000	約 4,100	約 500	約 50	約 1,800	約 500	約 29,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,600	約 1,300	約 10	約 10	約 300	約 600	約 10,000
広島県	約 6,000	約 1,200	約 80	約 20	約 20	約 800	約 6,900
山口県	約 1,000	約 100	約 80	-	-	約 40	約 1,200
徳島県	約 23,000	約 4,400	約 300	約 40	約 1,000	約 500	約 25,000
香川県	約 14,000	約 1,500	約 200	約 10	約 300	約 300	約 15,000
愛媛県	約 30,000	約 4,500	約 300	約 30	約 1,500	約 800	約 33,000
高知県	約 36,000	約 7,200	約 300	約 90	約 1,000	約 600	約 38,000
福岡県	約 10	-	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	約 200	約 100	約 10	-	-	約 70	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 20	約 10	約 200	約 2,800
宮崎県	約 13,000	約 2,200	約 800	約 30	約 700	約 400	約 15,000
鹿児島県	約 400	約 80	約 200	-	-	約 20	約 600
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 388,000	約 81,000	約 4,400	約 500	約 36,000	約 28,000	約 457,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）					
茨城県	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	約 10	約 10
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40
東京都	-	-	-	-	約 20	約 100	約 100
神奈川県	約 100	約 90	約 20	-	約 10	約 200	約 300
新潟県	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 40	約 40	-	-	-	約 10	約 60
山梨県	約 3,400	約 500	-	約 10	約 30	約 300	約 3,700
長野県	約 1,000	約 200	-	約 10	-	約 80	約 1,100
岐阜県	約 2,700	約 600	-	-	約 20	約 200	約 2,900
静岡県	約 51,000	約 13,000	約 300	約 40	約 2,100	約 1,700	約 55,000
愛知県	約 63,000	約 18,000	約 20	約 30	約 7,500	約 4,100	約 74,000
三重県	約 46,000	約 6,800	約 300	約 60	約 1,500	約 800	約 49,000
滋賀県	約 5,400	約 900	-	約 10	約 100	約 400	約 6,000
京都府	約 6,100	約 1,500	-	-	約 2,800	約 2,800	約 12,000
大阪府	約 25,000	約 8,000	約 100	約 10	約 16,000	約 9,700	約 51,000
兵庫県	約 12,000	約 2,800	約 100	約 10	約 900	約 2,100	約 15,000
奈良県	約 11,000	約 1,600	-	約 20	約 600	約 1,000	約 12,000
和歌山県	約 26,000	約 4,100	約 500	約 50	約 1,900	約 500	約 29,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 9,600	約 1,300	約 10	約 10	約 400	約 600	約 11,000
広島県	約 6,000	約 1,200	約 80	約 20	約 20	約 800	約 6,900
山口県	約 1,000	約 100	約 80	-	-	約 40	約 1,200
徳島県	約 23,000	約 4,400	約 300	約 40	約 900	約 500	約 25,000
香川県	約 14,000	約 1,500	約 200	約 10	約 300	約 300	約 15,000
愛媛県	約 30,000	約 4,500	約 300	約 30	約 2,000	約 800	約 34,000
高知県	約 36,000	約 7,200	約 300	約 90	約 1,200	約 600	約 38,000
福岡県	約 10	-	約 10	-	-	-	約 20
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 90	-	-	-	約 90
熊本県	約 200	約 100	約 10	-	-	約 70	約 300
大分県	約 2,200	約 400	約 500	約 20	約 30	約 200	約 2,900
宮崎県	約 13,000	約 2,200	約 800	約 30	約 700	約 400	約 15,000
鹿児島県	約 400	約 80	約 200	-	-	約 20	約 600
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10
合計	約 388,000	約 81,000	約 4,400	約 500	約 39,000	約 28,000	約 460,000

一：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】都府県別の揺れによる建物被害に伴う要救助者数（自力脱出困難者数）

(人)

地震動ケース 発災時間帯	基本ケース			陸側ケース		
	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	約 500	約 300	約 400	約 900	約 500	約 700
長野県	-	-	-	約 80	約 50	約 70
岐阜県	約 100	約 80	約 100	約 700	約 400	約 500
静岡県	約 40,000	約 25,000	約 31,000	約 46,000	約 32,000	約 37,000
愛知県	約 14,000	約 8,900	約 12,000	約 49,000	約 31,000	約 40,000
三重県	約 11,000	約 6,000	約 7,900	約 26,000	約 15,000	約 20,000
滋賀県	約 20	約 20	約 20	約 1,300	約 800	約 1,000
京都府	約 60	約 50	約 50	約 1,900	約 1,200	約 1,500
大阪府	約 1,100	約 1,000	約 1,000	約 11,000	約 7,800	約 8,900
兵庫県	約 700	約 400	約 600	約 4,300	約 2,700	約 3,400
奈良県	約 400	約 200	約 300	約 4,800	約 2,800	約 3,600
和歌山県	約 8,600	約 5,400	約 7,100	約 16,000	約 10,000	約 13,000
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 200	約 100	約 100	約 3,100	約 1,800	約 2,300
広島県	-	-	-	約 1,700	約 1,100	約 1,300
山口県	-	-	-	約 200	約 100	約 100
徳島県	約 9,000	約 5,600	約 7,000	約 16,000	約 10,000	約 12,000
香川県	約 300	約 200	約 200	約 5,100	約 2,800	約 3,800
愛媛県	約 1,600	約 900	約 1,200	約 18,000	約 9,900	約 13,000
高知県	約 15,000	約 8,600	約 11,000	約 28,000	約 18,000	約 22,000
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	約 50	約 30	約 40	約 400	約 300	約 300
宮崎県	約 2,300	約 1,400	約 1,800	約 7,500	約 4,400	約 5,700
鹿児島県	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10
沖縄県	-	-	-	-	-	-
合計	約 104,000	約 65,000	約 82,000	約 240,000	約 153,000	約 190,000

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】都道府県別の津波被害に伴う要救助者数

(人)

津波ケース 発災時間帯	津波ケース①			津波ケース③		
	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	約 300	約 300	約 300	約 200	約 100	約 200
東京都	約 300	約 700	約 700	約 200	約 400	約 300
神奈川県	約 1,600	約 1,800	約 1,700	約 200	約 300	約 200
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	約 7,800	約 8,300	約 8,000	約 400	約 400	約 400
愛知県	約 500	約 900	約 700	約 100	約 300	約 200
三重県	約 2,000	約 2,200	約 2,100	約 500	約 500	約 500
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	約 30	約 100	約 90	約 700	約 800	約 800
兵庫県	約 400	約 500	約 500	約 3,800	約 9,100	約 7,800
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	約 1,800	約 1,900	約 1,800	約 4,400	約 4,900	約 4,700
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10
広島県	約 1,300	約 1,400	約 1,400	約 1,100	約 1,200	約 1,100
山口県	約 100	約 300	約 200	約 100	約 200	約 200
徳島県	約 900	約 1,100	約 1,000	約 3,900	約 4,400	約 4,100
香川県	約 70	約 80	約 70	約 200	約 200	約 200
愛媛県	約 1,600	約 1,600	約 1,600	約 1,400	約 1,400	約 1,400
高知県	約 3,300	約 3,600	約 3,400	約 8,300	約 9,400	約 8,800
福岡県	約 300	約 500	約 400	約 300	約 500	約 400
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	約 60	約 100	約 80	約 80	約 100	約 90
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	約 1,900	約 2,300	約 2,000	約 2,100	約 2,600	約 2,300
宮崎県	約 8,800	約 8,700	約 8,600	約 7,000	約 7,000	約 6,900
鹿児島県	約 100	約 100	約 100	約 100	約 100	約 100
沖縄県	約 100	約 200	約 200	約 100	約 200	約 200
合計	約 33,000	約 37,000	約 35,000	約 35,000	約 44,000	約 41,000

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(人)

津波ケース 発災時間帯	津波ケース④			津波ケース⑤		
	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	約 200	約 200	約 200	約 200	約 200	約 200
東京都	約 200	約 300	約 300	約 200	約 200	約 200
神奈川県	約 70	約 200	約 200	約 70	約 100	約 100
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	約 300	約 300	約 300	約 300	約 300	約 300
愛知県	約 100	約 200	約 200	約 70	約 100	約 100
三重県	約 400	約 400	約 400	約 500	約 600	約 500
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	約 500	約 700	約 600	約 200	約 400	約 400
兵庫県	約 2,600	約 4,500	約 4,000	約 1,700	約 2,600	約 2,400
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	約 2,600	約 2,900	約 2,800	約 2,400	約 2,500	約 2,500
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10
広島県	約 1,000	約 1,100	約 1,100	約 1,000	約 1,100	約 1,000
山口県	約 200	約 300	約 200	約 200	約 200	約 200
徳島県	約 2,400	約 2,700	約 2,500	約 1,600	約 1,800	約 1,700
香川県	約 400	約 400	約 400	約 400	約 400	約 400
愛媛県	約 1,300	約 1,300	約 1,200	約 1,400	約 1,400	約 1,400
高知県	約 11,000	約 12,000	約 11,000	約 8,300	約 9,500	約 8,800
福岡県	約 300	約 500	約 400	約 300	約 400	約 400
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	約 100	約 400	約 300	約 300	約 900	約 600
熊本県	-	-	-	約 10	約 10	約 10
大分県	約 3,000	約 3,700	約 3,400	約 3,300	約 4,100	約 3,700
宮崎県	約 4,300	約 4,500	約 4,300	約 8,600	約 8,700	約 8,500
鹿児島県	約 200	約 200	約 200	約 400	約 400	約 400
沖縄県	約 100	約 200	約 200	約 100	約 300	約 200
合計	約 31,000	約 37,000	約 35,000	約 32,000	約 36,000	約 34,000

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】全員が発災後避難を開始した場合の都府県別の津波による死者数

(深夜発災の場合は発災後10分、昼間発災の場合は発災後5分で全員避難開始。ただし、設定上の避難開始時間よりも前に津波が襲来する場合には津波襲来とともに避難開始。)

(人)

津波ケース	東海地方が大きく被災するケース (津波ケース①)		近畿地方が大きく被災するケース (津波ケース③)		四国地方が大きく被災するケース (津波ケース④)		九州地方が大きく被災するケース (津波ケース⑤)	
	冬・深夜	夏・昼	冬・深夜	夏・昼	冬・深夜	夏・昼	冬・深夜	夏・昼
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 200	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	約 40,000	約 17,000	約 700	約 50	約 400	約 20	約 200	約 20
愛知県	約 600	約 300	約 100	約 70	約 100	約 60	約 100	約 60
三重県	約 7,500	約 1,500	約 2,700	約 700	約 1,700	約 500	約 1,700	約 600
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	約 30	約 10	約 30	約 10	約 20	約 10
兵庫県	約 50	約 20	約 90	約 50	約 80	約 40	約 60	約 30
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	約 13,000	約 4,400	約 27,000	約 9,800	約 7,700	約 1,400	約 4,500	約 1,200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 10	約 10	約 10	約 10	約 20	約 10	約 30	約 10
広島県	約 50	約 20	約 50	約 20	約 50	約 20	約 60	約 30
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	約 1,500	約 600	約 3,400	約 1,200	約 2,600	約 1,000	約 2,200	約 900
香川県	約 100	約 60	約 200	約 80	約 200	約 90	約 200	約 80
愛媛県	約 1,300	約 500	約 1,200	約 500	約 1,200	約 500	約 1,300	約 500
高知県	約 2,600	約 1,100	約 4,100	約 1,700	約 5,300	約 1,900	約 4,300	約 1,800
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	約 50	約 20	約 50	約 20	約 50	約 20	約 60	約 20
宮崎県	約 2,200	約 300	約 1,500	約 300	約 800	約 200	約 4,600	約 1,100
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 70,000	約 26,000	約 41,000	約 14,000	約 20,000	約 5,800	約 19,000	約 6,500

* 地震動(陸側ケース)に対して堤防・水門が正常に機能し、かつ津波避難ビル等の効果を考慮した場合

* 夏・昼は海水浴客をはじめとする沿岸部での観光客等を考慮していない場合

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。